

シケ女の養子となり明治四十四年七月シケ女死亡に依り家督相續す。十五歳にして東京市淺草區伊勢新吳服店に奉公し格勤九年大正元年無事退店して同四年三月現所に獨立開業す。大正三年二月淺草區駒形町三十八番地大坪臺助氏二女みね女を娶り三男五女を擧ぐ。

【所得稅】 一四八圓 【營業收益稅】 七九圓

【家庭】 妻女みね女 明治二十四年九月七日生。二女タカ女 大正五年十一月十日生。長男金藏氏 大正七年四月九日生。二男二郎氏 大正十一年六月二十六日生。三男勝三郎氏 大正十二年九月二日生。三女すみ子女 大正十四年五月三十日生。四女あさ子女 昭和三年六月四日生。五女とし子女 昭和四年十一月二十四日生。

【主なる親戚】 大坪臺助氏 妻女里方淺草區駒形町三十八番地。

小駒兼次郎氏

明治元年一月二十日生

【營業】 吳服小賣商
【營業所】 東京市下谷區上野町二丁目四番地 電話(下谷區) 〇〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歷】 氏は京橋區新榮町四ノ二小駒兼次郎氏の二男にして淺草區老松町に生れ年少より家業たる吳服太物小賣商に従事し居りしが父の閉店して前記場所を質業を開始するに及び獨立して現所に斯業を開店し熱心經營して順調を辿り今日に至る現時氏は老齡のため店務は長男柳作氏が主として擔當し兄弟之を補佐して大過なき業容を保てり。

【宗教】 眞言宗 【所得稅】 四二圓

【營業收益稅】 五六圓

【家庭】 妻とめ女 明治七年一月十日生淺草區向柳原町一ノ一七松本勘三郎氏二女。長男柳作氏 明治廿七年七月二十八日生。婦とよ女 明治三十五年八月十一日生柳作氏妻。二男愛之助氏 明治三十五年十二月十四日生。三男徳三氏 明治三十八年八月五日生。六男忠七氏 明治四十三年六月二日生孫靜子女 大正十一年六月五日生柳作氏長女。孫政子女 大正十三年十月二十二日生柳作氏二女。孫勝平氏 昭和二年二月十一日生柳作氏長男。婦延子女 明治四十一年十一月二十八日生愛之助氏妻。孫直子女 昭和三年五月一日生愛之助氏長女。孫一郎氏 昭和四年八月八日生愛之助氏長男。孫啓子女 昭和四年十月一日生柳作氏三女。

小和瀬傳次郎氏

明治十三年八月二十五日生

【營業】 吳服太物小賣商三河屋吳服店主
【營業所】 東京市下谷區金杉上町三十六番地 電話(下谷區) 〇〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歷】 氏は群馬縣高崎市本町九本間嘉七氏の息として生れ年少より淺草區北仲町三川屋吳服店に奉公せしが明治三十八年九月先代小和瀬復禮氏の長女しん女と婚姻して婿養子となり後家督を相續して營業を繼承し順調を辿りて今日に至る昭和四年十二月妻女を喪へり。

【趣味】 將 棋 【宗教】 天台宗

【營業收益稅】 七二圓

【家庭】 長女勢以女 明治四十二年二月十一日生。長男壬子郎氏 明治四十五年一月七日生。二女千代子女 大正六年三月四日生。二男二郎氏 大正十三年七月二十六日生。

小峰三郎氏

明治三十一年三月十四日生

【營業又 職名】 羅紗切賣商合資會社 コミネ絨店代表社員
【營業所又 勤務先】 東京市神田區平永町七番地 電話(浪花區) 〇〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 東京市神田區平永町十一番地

【略歷】 氏は小峰金藏氏の三男として東京に生る年少より日本橋區室町羅紗切賣商大瀧商店に入り勤続約十年に及び半は大阪支店に勤務し居たるが退店後義兄に當る田端要平商店に居ること三年回滿退店して大正十一年現所に獨立開業し爾來今日に至れるのにして昭和六年三月資本金五千圓の合資會社 コミネ絨店を設立し其代表社員となれり。

【趣味】 野 球 【宗教】 眞 宗

【家庭】 母みき女 文久二年十二月二十四日生東京府西多摩郡青梅町横川貞八氏三女。妻くに女 明治三十二年七月十日生茨城縣猿島郡杵掛村杵掛木村伊十郎氏二女。

【主なる親戚】 田端要平氏 神田區柳町一羅紗並に同既成品卸商。

小宮山傳七氏

明治十一年三月二十一日生

【營業】 綿織物卸
 【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十九番地 電話(浪花五七九)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 山梨縣中巨摩郡敷島村四十番地

【略歴】 氏は山梨縣中巨摩郡敷島村四〇小宮山徳平氏の長男として生る。明治三十六年甲府市久星伊藤彦七商店に勤務し、後ち東京支店員となり漸次登用せられて同店支配人となりしが主家が震災後の業績に鑑み廢業するに至れるより昭和五年六月十二日現所に獨立し久星商店の稱號の下に綿布販物等の卸業を開始するに至れるものなり。

【趣味】 嗜 酒 【宗教】 曹洞宗

【家庭】 妻しづ江女 明治二十五年六月十六日生。長女富美江女 昭和二年三月二日生。

【主なる親戚】 古屋時平氏麻布區六本木建築請負業は氏の従兄弟に當る。

香 月 芳氏

明治二十三年一月十二日生

【營業又】 百貨店株式会社白木屋取締役兼事業部長
 【は職業先】 東京市日本橋區通一丁目九番地 電話(日本橋三三〇)
 【は勤務先】 府下豊多摩郡千駄谷町原宿百七十番地電話(青山三六六)
 【住所】 府下豊多摩郡千駄谷町原宿百七十番地
 【本籍地】 長崎市壺船町四十五番地

【略歴】 氏は長崎縣人亡須藤三郎氏二男、昭和五年六月廿四日前戸主義弟香月清氏死歿せるため、同年十月十三日選定人として家督相続をなす。是より先き氏は昭和元年東京株式取引所秘書課長たりしが當店社長大村彦一郎氏の懇請を容れ事業部長として樞機に參劃、其後幾何も無く取締役となり今日に至る。温健なる紳士にして前記職務以外に東亞蓄電池製作所代表者たり。

【趣味】 スポーツ、事業 【宗教】 眞 宗

【家庭】 妻女益女 明治二十九年九月二十三日生長崎市壺船町四五七香月福次郎氏長女、昭和五年十月十三日入籍。

近 藤 靜 吉氏

明治十六年八月二十四日生

【營業】 吳服太物小賣商立花屋吳服店主
 【營業所】 東京市日本橋區蠟燭町二丁目十番地電話(茅場町六四)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は日本橋區橋町三ノ十染料商近藤賢一氏の次男として生れ年少より芝區柴井町柴田吳服店に奉公し兵役除隊後明治四十年四月獨立して本郷區弓町二ノ九に本業を開店し大正四年現所に移轉せり。現所は人形町通の繁華地にして店勢相應に活氣あり氏は仲々如才なき活動家にして獨自の手腕を有せり。

【趣味】 園 碁 【所得税】 二二二圓

【營業收益税】 一五四圓

【家庭】 妻キヌ女 明治二十二年一月十四日生日本橋區米澤町一ノ十一高松丑之助氏四女。養子精男氏 大正十年三月二十二日生近藤徳太郎氏四男。

【主なる出身者】 加藤章三氏 深川區猿江裏町一一一立花屋吳服店(其の他同店出身少からざるも省略)

鯉 江 萬 助氏

明治二十九年二月二十七日生

【營業】 羅紗卸業
 【營業所】 東京市神田區連雀町十八番地 電話(神田八六)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 府下荏原郡馬込町九百九十三番地

【略歴】 氏は愛知縣知多郡常滑町字新開四三鯉江福松氏の六男として生る。若年の頃上京して日本橋區通二丁目羅紗問屋小林確郎商店に入り恪勤十年に及び精勵にして主家の信用厚きものありしが昭和三年三月諒解を得て現所に獨立開業せり氏は手腕相當にして人物堅固たり現時店員三名を使用し熱心經營の任に當り居れり。

【宗教】 佛 教

【家庭】 妻アイ女 明治卅七年一月二日生岡田源吉氏三女。長男俊雄氏 大正十三年八月十日生。長女信子女 昭和二年四月十二日生。二女繁子女 昭和三年十月二日生。三女好子女 昭和五年九月十七日生。

【主なる親戚】 義父岡田源吉氏 芝區濱松町三ノ十四。

木暮英二郎氏

明治三十年一月七日生

【營業所】 エプロン子服綿布加工商
【營業所】 東京市神田區江川町十一番地 電話(浪花5251)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代高輔氏の長男として群馬縣澁川町に生れ十五歳の頃上京して日本橋區通油町染糸卸商神谷市五郎商店に入り約三年間斯業を見習ひ圓滿退店神田區向柳原町にて獨立創業し爾來刻苦精勵したれば業容漸次伸展し昭和三年九月現所を買収し店舗を建設して現容を構え斯界に重きをなすに至れり。資性濃厚にして實直なれば對人的信用厚く日益盛大に向ひつゝあり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 天台宗

【家庭】 妻マス女 明治三十一年十一月二十一日生、群馬縣澁川町金物商梅澤義一氏二女。長男健一郎氏 大正十年九月二十九日生。長女節子女 大正十二年二月四日生。二女富美子女 昭和三年五月三十一日生。三男貞三氏 昭和五年六月六日生。

【主なる親戚】 實兄木暮惣左衛門氏 履物商群馬縣澁川町。

義父梅澤義一氏 金物商群馬縣澁川町。

互井仁平氏

大正元年十一月一日生

【營業所】 洋傘及羅紗既製品卸
【營業所】 東京市神田區東龍閑町六番地 電話(浪花5255)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北葛飾郡三輪野江村大字吉屋四番地戸主互井嘉右衛門氏二男たる實父仁平氏の二男にして、昭和四年三月十一日實父死歿に依り實母こう女後見の下に戸主となり同年四月十四日舊名猛義を仁平と改名す。當店は先代仁平氏約二十年前開業せるものにして、實父歿後は當然同氏名義を用ひ古參店員大塚角藏氏實務を擔當せり、當主は本年三月京華商業學校を卒業し目下家業見習中なり。

【趣味】 スポーツ 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 三一六圓
【營業收益税】 一〇六圓

【家庭】 實母こう女 明治二十二年九月九日生、埼玉縣北葛飾郡吉川村戸主鹽田清吉氏五女。

【主なる親戚】 伯父鹽田清吉氏 埼玉縣北葛飾郡吉川村農業

えの部

戎野喜太郎氏

文久二年四月二十一日生

【營業所】 足袋生地卸商
【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目三番地電話(浪花5110)
【住所】 千葉縣東葛飾郡市川町
【本籍地】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目三十一番地

【略歴】 氏は大阪府泉南郡樽井戎野喜一郎氏の長男に生れ年少時志を立て郷里を出で北海道に渡り後上京して種々なる苦闘を続け居る折柄同郷某氏の認むる處となり本業を開始す爾來熱心奮闘漸次業績を挙げ日清戰役當時の好況に業礎を作り歐洲後の活況時には一廉の成功者と認めらるゝに至りしものにて立志傳中の人として業界の知る處なり其頃より本業は養子榮三郎氏に委せ氏は種々なる公職又は和泉紡織吉見紡又はやまと工業等の會社に關係し居りしが震災前榮三郎氏病歿後は榮三郎氏の實兄石原慶太郎氏に一切を委せしも先頃引退目下喜太郎氏直接營業を擔當せり東京織物問屋同業組合副組長なり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土宗 【所得税】 八八八圓
【家庭】 妻ヨシ女。養子亡榮三郎氏妻ふじ女 明治二十七年十一月十五日生。孫千太郎氏 大正五年三月十三日生。同和子女 大正八年三月三十日生。同泰子女 大正九年十二月二十日生。

【主なる親戚】 亡榮三郎氏未亡人ふじ女の實家埼玉縣忍町行田足袋製造業栗原代八氏。

遠藤喜兵衛氏

安政六年七月十日生

【營業所】 百貨店株式會社ほてい屋吳服店常務取締役
【職名】 東京市四谷區新宿三丁目七番地 電話(四谷5210)
【營業所先】 東京市牛込區看町十一番地 電話(牛込5210)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は三重縣四日市亡小川喜七氏七男にして年少時滋賀縣犬上郡石畑西山吳服店に奉公せしが十八歳の時志を立て上京し四谷區傳馬町ほてい屋吳服店に入り勤続約十三年に及ぶ明治二十二年圓滿退店し主家の援助により牛込區看町神樂坂通に支店として獨立開業し熱心經營の結果業容漸進せし

〔元〕

も夙に主家の信任厚く爲に盡力する所尠ならず自店は婿養子貞三郎氏を迎えて營業を繼承せしめ氏は専心西條家の事業に參劃す大正十五年同店の新宿進出は大いに氏の非凡なる手腕力量に俟つ所多く昭和二年十二月營業を株式組織となすに及び其の常務取締役に推さる實に同店元老として經營の重任を擔ひ西條清兵衛氏歿後は現社長西條千代女を援けて老齡をも顧みず猷身的努力を以て精勵し在り、性溫厚着實にして各方面の印象良く周く信望を加へつゝあり。

【趣味】 謡曲(觀世流) 【宗教】 眞宗 【所得稅】 五五六圓
【家庭】 遠藤貞三郎氏(牛込區肴町一―ほてい屋吳服店)の項參照。

【主なる親戚】 二女サダ女婿萩原周平氏 府下澁谷驛前榮屋百貨店半襟部。

遠藤貞三郎氏

明治十九年二月五日生

【營業】 吳服太物小賣商布袋屋吳服店々々主
【營業所】 東京市牛込區肴町十一番地 電話(牛込)四五〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡豊郷村宇石畑亡木村小三郎の三男にして治三郎氏の弟なり夙に年少上京し日本橋區富澤町織物間屋神野清五郎商店に入りて奉公忠勤怠らず見込まれて明治四十二年十二月遠藤喜兵衛氏長女マツ女に入夫婚姻し家督を相續す爾來養父の業を繼承して店務に當り熱心經營の結果着進展の實を擧げ以て今日の業礎をなす大正十四年三月養父喜兵衛氏老齡を以て店務を退き株式會社ほてい屋吳服店取締役として同店の經營に任ずるに及び専ら自家の營業を擔當し現時同業組合區部長として業界に重きをなし各方面の印象佳良なり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得稅】 四七七圓

【營業收益稅】 一九六圓

【家庭】 養父喜兵衛氏 安政六年七月十日生株式會社ほてい屋吳服店取締役。養母イマ女 慶應三年九月十五日生。妻マツ女 明治二十六年八月十六日生。長男敬一氏 明治四十四年五月二十四日生日商業補習科在學。長女弘子女 大正元年十二月一日生東京府立第二高女卒。二女順子女 大正四年十月二十三日生。二男陽三氏 大正八年一月十八日生東京府立一商在學。三男約三氏 大正十年一月二十日生。三女勝子女 大正十二年一月十三日生。四男成三氏 大正十四年六月

二十六日生。五男貞昭氏 昭和四年二月十三日生。

【主なる出身者】 松岡正孝氏 茨城縣那珂郡港町雜貨商、北村米吉氏 東京府下吾嬭町請地神樂屋吳服店。

遠藤種三郎氏

明治二十一年一月五日生

【營業】 吳服太物小賣商合資會社相模屋吳服店代表社員
【營業所】 府下荏原郡品川町北品川宿六十五番地 電話(高輪)五七〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣足柄上郡南足柄村弘西寺四九六遠藤若三郎氏の四男にして年少より土地の奥津吳服店に奉公し二十歳の頃伯父なる横須賀市吳服小賣商田中民三方に轉ぜしが後朝鮮に渡りて吳服商を開業せしも失敗に終りたれば歸りて上京し日本橋區新材木町織物問屋澤兵商店に入り勤務約二年の後現所に來たりて獨立開店し漸伸して今日に至る、昭和元年七月營業を合資會社となし代表社員となれり。

【宗教】 眞宗 【所得稅】 三三二圓
【營業收益稅】 二二二圓
【家庭】 妻クニ女 明治二十五年十月一日生神奈川縣足柄下

郡前羽村前川椎野勝太郎氏妹。

遠藤松五郎氏

明治二十六年七月九日生

【營業】 風呂敷卸
【營業所】 東京市日本橋區新材木町十一番地 電話(浪花)三〇〇
【住 所】 東京市日本橋區濱町二丁目七十七番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣足柄下郡岩村五六一番地遠藤善吉氏の五男なり幼時上京同店の別家なる風呂敷商深田米吉商店に奉公しありたが主家病歿後本家なる日本橋區通油町中村三平商店に轉じ爾後恪勤怠らず先代中村三平氏の信任次第に加はり遂に支配人に擧げらる昭和六年八月退店現所に獨立開業をなすに至れり性溫和着實にして物價の比較研究等に趣味を有し家庭には三男一女あり。

【宗教】 禪宗 【所得稅】 五〇圓
【家庭】 妻しげ女 明治三十六年三月十三日生深川區西町一八渡邊德太郎氏長女。長女博江女 大正十二年二月二十三日生久松小學校通學中。長男清氏 大正十四年十月十七日生。二男務氏 昭和二年十一月二十一日生。參男文三氏 昭和四

【元】 年三月五日生。
【主なる親戚】 渡邊徳太郎氏（深川區西町一八）は妻女の里なり。

江口金三郎氏

明治二十年九月三十日生

【職業又
は職名】 毛斯綸洋反物卸商青木五兵衛商店支配人
【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區田所町九番地
電話 浪花 九〇・九〇・四三〇
【住 所】 府下豊多摩郡落合町上落合五百七十八番地
【本籍地】 東京市日本橋區大傳馬鹽町三番地

【略歴】 氏は故江口房次郎氏の三男にして淺草區田島町毛斯綸小賣商江口秀造氏の實弟なり十四歳の時より毛斯綸洋反物卸商青木五兵衛商店に入りて奉公し恪勤多年に及び其の手腕を認められ累進して大正十年同店支配人となり現に其の要職にあり是より先大正六年二月分家して一家を成す。性温厚着實にして氏は熱心然も業界に徳望あり店主の信認頗る厚く同店營業を擔當して今日の業容をなすに與りて力あり傍ら業界に盡す所尠ならず昭和五年東京織物問屋同業組合より表彰せられたり。

【趣味】 讀書 【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻愛子女 日本橋區岩代町一番地故駒場鐵五郎氏二女、明治二十九年四月八日生。二女榮子女 大正十一年三月二十二日生。長男廣一氏 大正十二年四月二十八日生。三女よね子女 大正十五年七月四日生。二男清治氏 昭和三年五月三十日生。

【主なる親戚】 江口秀造氏 淺草區田島町九〇毛斯綸小賣商中村眞實氏 日本橋區久松町大七商店支配人。

江南長七氏

明治二十二年八月十七日生

【營業 業】 風呂敷卸商
【營業所】 東京市日本橋區橋町三丁目十六番地 電話（浪花）三三〇
【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣神崎郡能登川村大字北須田六百八十五番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡能登川村大字北須田六八五戸主江南長五郎氏の二男として生る通稱を長七郎と稱す夙に上京日本橋區風呂敷問屋中村三平商店に奉公し勤続多年大正六年退店の上若松町八に現業を開始し後村松町に轉じ大正十一年現所に再轉したるものなるが氏は資性快活機を視るに頗る敏本業の傍らアンゴラ兎の有望なるに着目し飼育を開始しある等

多趣味の人なり大正十二年六月十二日生家より分家して今日に至る。

【趣味】 飼 兎 【營業收益税】 七五圓

【家庭】 妻しず女 明治三十一年三月七日生滋賀縣人亡西川留藏氏三女。長男嘉一郎氏 大正七年八月十四日生府立第三商業生。二男靜夫氏 大正十三年三月十三日生久松小學校生。

【主なる親戚】 江南長五郎氏（本籍地居住實兄）西川留藏氏（滋賀縣神崎郡）妻女の生家。

江藤喜三郎氏

明治十年八月一日生

【營業 業】 吳服太物小賣商阿波屋吳服店主
【營業所】 府下豊多摩郡中野町本通四丁目三十一番地 電話（四谷）三〇三
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代喜三郎氏（現名幸次郎）の長男にして舊名春吉と稱し明治三十七年先代の隠居により家督を相續して襲名す年少時より家業に従事し先祖傳來の店格を繼承して老舗の名を辱しめず經營堅實を持し土地に於ける第一位の有力店として知らる相當の資産を有し且つ名望家として現に株式會

社中野銀行監査役たり。

【家庭】 妻くら女 明治十四年一月十五日生。長女こう女 明治三十三年八月十三日生。三女まさ女 明治四十一年二月十五日生。婿養子龍太郎氏 明治三十一年九月十八日生こう女夫。孫喜久子女 大正十二年十二月十一日生。父幸次郎氏 天保十三年三月十三日生先代喜三郎。

【主なる親戚】 清水權藏氏 市外中野町五二五、妻女里方。鈴木喜太郎氏 市外野方町二五六婿龍太郎氏實家。

ての部

寺島五兵衛氏

明治十二年六月十日生

【營業】 風呂敷、中形、裏地卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町七番地 電話(浪花四七)
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡葉枝見村大字服部二百九十四番地

【略歴】 氏は五郎兵衛氏の三男として出生幼少の頃上京久松町西彦商店に奉公し勤続十年廿五歳の時退店獨立本業を經營す始め新乗物町十一番地に在りしが昭和二年現所に移轉せり。資性明敏にして堅實而して使用人に對する待遇其他に付ては常に相當の配慮をなし合理的に能率増進を計る等舊套を脱し新味を加ふるの經營に心掛け居り萬事進歩的人物なりと稱さる。

【宗教】 眞宗 【所得税】 七一〇圓
【營業收益税】 二三八圓
【家庭】 妻しづ女 明治十八年九月十四日生滋賀縣神崎郡能登川村字能登川一七八林六右衛門氏長女明治三十九年十二月

八日婚姻入籍。二女富佐子女 明治四十二年八月十五日生私立家政學院卒家居。長男五良平氏 大正元年十月十五日生私立中央商業學校卒業從事。二男福太郎氏 大正元年十月十五日生私立中央商業學校修業家業從事。三男祐太郎氏 大正四年三月八日生。三女悦子女 大正七年一月三日生私立日本橋高等女學校在學。

寺島政次郎氏

明治二十七年十二月十五日生

【營業】 雜綿布足袋地卸商
【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町二丁目六番地電話(浪花三三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣北足立郡草加町吉笹原二一四二武内庄藏氏四男にして前名尊藏と稱す大正八年十月先代政次郎の二女きみ女と婚姻し婚養子となり昭和四年六月先代の歿するに及び家督を相續して襲名す爾來養父の業を繼ぎて經營の任に當り無難平凡を辿れり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 三八五圓
【營業收益税】 一六八圓

【家庭】 養母とみ女 明治二年十月九日生。妻きみ女 明治三十四年三月十五日生。長男政一氏 大正九年六月十九日生。長女政子女 大正十二年十月一日生。二男康博氏 大正十五年五月十七日生。三男隆氏 昭和三年七月十四日生。妹光子女 明治四十四年三月三日生。

寺澤すゝ女

明治二十二年四月二十六日生

【營業】 呉服太物小賣日吉屋呉服店主
【營業所】 東京市本所區石原町四丁目四十二番地電話(墨田二〇〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 名古屋市東區鍋屋町三丁目三十一番地

【略歴】 同女は名古屋市東區鍋屋町三丁目三十一番地六寺澤はま女の長女にして宇都宮出身の眞野太一氏に嫁し明治四十二年本所區三目通に本業を開始し兩三年後同町太平橋附近に移り大正十年更に現所に進出せり夫太一氏は元逓信省官吏たりしが現在東電社員にして本業には關係せず。

【所得税】 二〇七圓 【營業收益税】 一六〇圓
【家庭】 養女たま女 明治三十七年八月十六日生大正十五年九月眞野隆一郎氏と婚養子縁組をなす。孫一雄氏 大正十五

年五月十九日生。婚養子隆一郎氏 明治三十三年九月十四日生柄木縣安蘇郡赤見村大字赤見眞野信造氏弟。
【主なる親戚】 坂倉十郎氏 名古屋市東區鍋屋町三丁目三十一番地養女たま女の實父。

手塚治郎氏

明治十一年十一月十四日生

【營業又職名】 洋服裏地商合資會社手塚商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市神田區連雀町十八番地 電話(神田七五)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は山梨縣東山梨郡初鹿野村四二手塚啓甫氏の二男にして彦太郎氏の弟なり年少より甲府市若尾銀行前身に勤務せしが明治四十年獨立して同縣東山梨郡初鹿野村に雜貨商を營み四十二年三月分家して一家をなす後一時從兄に當る谷村町甲斐絹商鈴木與次右衛門商店に勤務せしも意見合はず上京して深川區入船町三三に本業を開始し大正十三年七月營業を合資會社に組織變更するに及び代表社員となり業務を擔當して今日に至る。

【宗教】 淨土宗

【て】

【家庭】 妻ゑい女 明治十三年十月十五日生。長男晴雄氏 明治四十年十月九日生東京商大卒。長女文子女 明治四十四年六月十四日生府立第二高女卒。二女千枝子女 大正三年九月二十六日生青山女學院在學。二男英雄氏 大正七年十月三十一日生。

【主なる親戚】 甥手塚光廣氏 神田區元柳原町一ノ二洋服裏地商。

【主なる出身者】 古屋惠三氏 神田區多町洋服裏地商。吉本桂氏 神田區岩本町三八洋服裏地商。茅沼良友氏 神田區佐久間町三ノ三四洋服裏地商。

寺本 孝氏

明治二十二年十月十七日生

【營業】 吳服太物小賣商越後屋吳服店主

【營業所】 府下豊多摩郡戸塚町源兵衛百五番地

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は新潟縣古志郡柝尾町寺本宗三郎氏の二男として生る年少より北海道函館市今井吳服店に奉公すること約二年にして上京し今井四郎氏の經營せし洋反物卸部に入り同店の

大阪に小賣店を設くるや同店詰たりしが在勤四年にして退店し大正八年三月現所に獨立して本業を開始せり爾來漸次伸展して今日の業容をなし現時落合町目白通池袋驛前及び阿佐ヶ谷の三箇所に支店を設置し店員十名を使用して營業し大過なき業態を持せり。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 一九二圓

【營業收益税】 一四八圓

【家庭】 妻トミ女 明治三十三年四月一日生新潟縣古志郡荷頃村字比禮中村六一郎氏妹。長女芳女 大正九年九月十日生。長男眞氏 大正十三年十一月二十日生。二女慶女 大正十四年八月八日生。三女昭子女 昭和二年十月三日生。二男巖氏 昭和五年五月十四日生。

あ の 部

青木五兵衛氏

明治四年十二月十四日生

【營業】 毛斯綸洋反物問屋

【營業所】 東京市日本橋區田所町九番地電話(浪花丸・丸・三三〇)

【住所】 東京市牛込區市ヶ谷仲ノ町五十八番地電話(牛込三三)

【本籍地】 東京市日本橋區田所町九番地

【略歴】 氏は先代五兵衛氏の長男にして舊名を金太郎と稱す明治三十八年二月先代の死亡により家督を相續襲名し家業たる毛斯綸洋反物卸商を營み今日の業礎を作れり。明治二十三年東京高等商業學校を卒業し家業に従ふ傍ら業界に盡力する所尠ならず夙に東京キヤリコ株式会社専務として盡瘁せしが後推されて東京モスリン紡織株式會社々長となり献身會社經營の任に當り同社の更新に善處せしも健康勝れずして遂に引退す其の間氏の誠實熱心は齊しく認められて信望を加ふるに至り尙ほ業界にありて重きをなす現時營業は店務を支配人江口氏に任せ氏大體を監督し業容また順調を進る性温厚にして人格識見を備へ稀に見る士とせらる。

【趣味】 讀書 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 二九二四圓

【營業收益税】 六二〇圓 【地租】 七二圓

【家庭】 妻はる女 明治十二年五月十四日生千葉縣入市原染吉氏四女。養子育子女 大正六年十二月二十九日生群馬縣國府村大字稻荷臺四〇藤井啓之助氏從妹。

【主なる親戚】 義弟宮坂兵助氏 牛込區神樂町金物商。妹婿家青地多吉氏 小石川區白山御殿町一一〇地主。

【主なる出身者】 大垣角次郎氏 日本橋區堺町八。瀧口孝平氏 日本橋區新乗物町四。倉科勇藏氏 神田區東福田町二 (以上毛斯綸卸商)

青木新九郎氏

明治二十一年八月六日生

【營業又職名】 吳服太物小賣商合名會社伊勢新吳服店代表者

【營業所先】 東京市淺草區茶屋町一番地 (本店) 電話(淺草三三〇)

【勤務先】 東京市淺草區北仲町七番地 (分店) 電話(淺草三六〇)

【住所】 東京市淺草區茶屋町一番地

【本籍地】 東京市淺草區北仲町七番地

【略歴】 氏は福島縣田村郡三春町字仲町三、川又彦十郎氏の六男にして前名謹五と稱す大正七年三月先代長女慶子女と婚して婚養子となり大正十二年十月養父の死亡により家督を相

【あ】

〔あ〕

續し翌十三年二月襲名す爾後營業を擔當して合名會社伊勢新
吳服店代表社員となり資本金を十萬圓に増資せり性着實熱心
にして業務に精勵しあり本支店を合し店員十數名を使用す。

【宗教】 眞宗 【所得税】 三〇四圓

【地租】 三八圓

【家庭】 妻慶子女明治三十二年十二月二十五日生。長女千
枝子女大正十五年三月三十一日生。二女照子女昭和四年
十二月十七日生。

【主なる親戚】 市外目黒町上目黒五八〇川又貞次郎氏元上
毛モス事務取締役、邦樂座取締役。福島縣三春町川又彦十郎氏
木戸川水力電氣取締役、三春銀行取締役、盤城電氣取締役。

青木隆藏氏

明治十八年十月五日生

【營業】 桐生帶地卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町二十三番地 電話(浪花三五)

【住所】 同所

【本籍地】 栃木縣足利郡小俣町百九十六番地

【略歴】 氏は青木要次氏の三男なり。二十歳の頃上京して日
本橋區新材木町松下合名會社に奉公し恪勤十六年の久しきに

涉り大正六年圓滿退店して現業者に獨立せり。爾來堅實地味

なる業歩を辿りつゝ漸次伸展して現業礎を築くに至れるもの
にて人物着實にして溫和なること業界に定評あり因に現在同
店には氏の甥三氏在店して店務從事中なり。

【趣味】 大弓 【宗教】 禪宗 【所得税】 三〇圓

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 戸主實父要次氏嘉永四年五月二十二日生現在本籍
地に住す。隆藏氏妻女すゞ女明治二十年十月二十二日生下
谷區池之端仲町五藥種商岡田忠兵衛氏五女。長女ミツ女大

正四年八月二十八日生忍ヶ岡高等女學校在學中。二女幹子女
大正八年四月十日生。三女百々子女大正十五年七月五日
生。隆藏氏實兄義一郎氏明治九年八月二十七日生農業本籍

地居住。義一郎氏長男欣一氏明治三十年七月廿一日生農業
同二男禎次氏明治三十二年四月十二日生小俣町役場吏員及
び同町青年團々長。同三男鱗三氏明治三十七年二月一日生

現店々務從事。同四男雄四郎氏明治四十年二月二十日生現
店々務從事。同二女ソウ女明治四十二年九月十八日生農業
同三女ムラ女大正三年八月二十四日生農業。同六男大六氏

大正六年六月三十日生農業。同四女モン女大正十年十月
一日生農業。隆藏氏實兄亡治平氏長男太一氏明治四十一年

十月二十五日生農業。同二男丘二氏明治四十三年五月三十
日生現在栃木縣足利郡山前村某機業家に於て見習中。欣一氏
妻女ギン女明治二十九年三月十日生栃木縣足利郡菱村久保
要次郎氏二女。禎次氏妻女チウ女明治三十三年七月十日生
上記久保要次郎氏三女。尙外に欣次氏に三女禎次氏に二男一
女あるも略す。義一郎氏五男善吾氏明治四十五年二月二十
一日生は大正十三年群馬縣境野村青木完四郎氏に養子入籍せ
しが現在現店々務從事。

【主なる親戚】 下谷區池之端仲町岡田忠兵衛氏藥種商。府
下南葛飾郡瑞江村大字東一之江和田鐵五郎氏青物商實妹ス
イ女嫁先。栃木縣足利郡菱村久保要次郎氏無職。

青山幸助氏

明治十年八月十八日生

【營業又】 各種織物問屋株式會社市田商店相談役

【職業名】 東京市日本橋區田所町二十七番地電話(代表浪花五六)

【營業所又】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花三五)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は長野縣下伊那郡飯田町七三三七原五郎平氏四男
にして明治四十一年三月二十六日青山家の養子となる、幼名

を秀雄と稱し明治四十一年六月三十日幸助に改名す元來當店
開祖たる先々代亡市田彌一郎氏は青山家より市田家の養子と
なりし人にして青山家は維新前迄江州彦根藩の御用商人を勤
め來りしものなりと謂ふ而して氏は夙に當店に入り多年實地
を修業する處あり昭和四年當店監査役に就任昭和六年相談役
となり今日に至る濃厚なる紳士なり。

【家庭】 妻壽賀女明治二十二年一月三十一日生亡先代青山
幸助氏二女。長女道女大正二年六月二十九日生。二男榮氏
大正六年九月一日生。二女初枝女大正九年七月七日生。
三男清三氏大正十五年三月四日生。

【主なる親戚】 實兄原五郎兵衛氏長野縣ト伊那郡飯田町七
三三。其他市田彌三郎氏彌參照

青山末吉氏

明治十六年二月十八日生

【營業又】 關東吳服及織物卸商青山合名會社代表者

【職業名】 東京市日本橋區田所町八番地 電話(浪花三五)

【營業所又】 同所

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡豊郷村大字八町九百十五番地

【略歴】 氏は先代新平氏の六男なり年少より家業麻布商に従

【あ】

事せしが明治三十三年家兄與惣吉氏に伴はれて北海道旭川に下り合名組織を以て本業を開始し従業せしが明治四十三年上京して日本橋區久松町に支店名義により店舗を構え翌年新大阪町に大正五年現所に移轉せり大正九年北海道店と分離し別個に合名會社を組織して今日に至る。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一〇一圓

【地租】 八九圓

【家庭】 妻ゆか女 明治二十六年四月三日生滋賀縣神崎郡北五個莊村字宮莊七五高田六右衛門氏長女。長男壽太郎氏 大正三年五月十九日生。二男辰次郎氏 大正六年一月六日生。三男俊三氏 大正八年十月六日生。四男嘉四郎氏 大正十一年一月七日生。五男武吉氏 大正十四年二月十一日生。六男末夫氏 昭和三年四月十三日生。

【主なる親戚】 兄青山與惣吉氏 北海道旭川市三條通七ノ一〇。義兄堤辰次郎氏 東京府八王子市八日町關東織物卸商。

青山藤太郎氏

明治十八年五月八日生

【營業】 毛織物卸

【營業所】 東京市日本橋區小舟町二丁目一番地 電話(浪花六八)

【住所】 同所

【本籍地】 京都市下京區魚棚通高倉東入骨屋町五十四番地

【略歴】 氏は亡青山藤吉氏の長男にして二十歳の頃大阪市羅紗商富齊商店に入店す、恪勤多年に及びて主家の信望厚く大正三年東京出張所の開設さるゝやその支配人として上京赴任す。爾來業務の向上に努めしこと多大なりしが大正十二年獨立を志し乃ち圓滿退店して當初區内小舟町一丁目に開業せり而して漸次業務の伸展を計りつゝ業礎を築き昭和三年區調整理と共に現所に店舗を新築して移轉し來れるものなり。氏は資性着實にして温厚の人格者として聞ゆ。

【趣味】 寫眞、繪畫、謠曲 【宗教】 曹洞宗

【所得税】 一〇三圓 【營業收益税】 三六圓

【家庭】 實母ミツ女 元治元年四月十一日生(現在前掲本籍に居住す)。妻つや女 明治二十二年四月二十六日生大阪府北河内郡友呂岐村今井安治郎氏三女大津高等女學校卒業。養女高子女 大正十五年十二月二十三日生實弟虎之助氏二女。實弟龍三郎氏 明治二十六年七月十七日生亡藤吉氏三男(現在小樽市富岡町に居住す羅紗商店員)。實弟虎之助氏 明治二十九年六月十七日生京都藥學專門學校出身藥劑師(現在前掲本籍地に居住す)。

山隆太郎氏 愛知縣鳴海町綿布卸商。

青山平三郎氏

明治二十四年一月三日生

【營業】 毛斯綸小賣商合名會社ふじや商店代表者

【營業所】 東京市淺草區田島町一番地 電話(淺草五三七)

【住所】 同所

【本籍地】 東京市淺草區北松山町八十六番地

【略歴】 氏は青山平吉氏の長男にして曾て日本橋區長谷川町一三に織物卸商を営み居りしが大正十一年現所に移轉して本業を開始し漸次伸展して本郷區駒込神明町一四四及び淺草區千束町二ノ七六に支店を設置し共に業勢順調を辿れり昭和四年四月資本金五萬圓を以て營業を合名會社に組織し氏は其代表社員となり本店業務を擔當し弟喜六氏は神明町店弟豊七郎氏は千束町店を各擔當せり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 天台宗 【所得税】 七六圓

【營業收益税】 二二圓

【家庭】 父平吉氏 萬延元年七月十四日生。母イチ女 慶應三年一月十九日生。妻照女 明治三十八年三月二十六日生。弟豊七郎氏 明治三十七年六月二十二日生。

青山久三氏

明治二十八年四月三日生

【營業】 洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十九番地 電話(浪花三三〇)

【住所】 同所

【本籍地】 愛知縣知多郡龜崎町大字乙川十三番地

【略歴】 氏は本籍地青山忠五郎氏の長男にして十五歳の時より日本橋區富澤町織物問屋神野清五郎商店に奉公し恪勤十八年に及び主家の信用厚かりしも大正十三年四月圓滿退店して同區久松町二十三に獨立開業し更に昭和四年四月現所に移轉して今日に至る。

【趣味】 謠曲、書畫 【宗教】 眞宗 【所得税】 八四圓

【營業收益税】 三三圓

【家庭】 妻サイ女 明治三十九年九月十四日生。長男久一氏 大正十五年一月三十一日生。長女節子女 昭和四年二月十一日生。父青山忠五郎氏 郷里。

【主なる親戚】 妻父櫻井與助氏 神田區佐柄木町七。從弟青

〔あ〕

【主なる親戚】 伯父津久井辰藏氏 埼玉縣大里郡熊ヶ谷宿。岳父福田清八氏 京橋區東湊町一ノ六。弟青山喜六氏 本郷區駒込神明町一四四支店。妹婿山中精一氏 埼玉縣北葛飾郡吉川町吉川一六三二。

青山平太郎氏

明治三十七年十一月二十三日生

【職業】 八王子及兩毛織物卸商堤合名會社東京店支配人

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町二十一番地 電話(浪花三三)

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣犬上郡豊郷村大字八町七百一番地

【略歴】 氏は滋賀縣犬上郡豊郷村大字八町七〇一青山捨次郎氏の長男なり而して氏の實母きを女は氏を産むと間もなく逝去せるより氏は伯母に當る東京府八王子市織物買繼問屋堤辰次郎氏夫人の下に引取られ養育を受け八王子小學校より府立第二中學を卒業すると共に店務に従事し大正十五年同店東京支店の設けらるゝや其業務を擔當し現在に至るものなりされば堤家と氏とは伯父伯母の關係たると共に殆んど父母子の如き間柄なり資性濃厚にして業務に熱心なり。

【宗教】 淨土眞宗

【家庭】 妻と女 明治四十年四月二十七日生滋賀縣彦根高等女學校の出身。

【主なる親戚】 堤辰次郎氏(在八王子市)伯父。青山末吉氏(在 日本橋區田所町)織物商伯父。竹村安太郎氏 在神奈川縣平塚町織物商妻女里方。

荒居庄三郎氏

文久元年十二月一日生

【職業】 關東吳服及綿織物問屋

【營業所】 東京市日本橋區田所町五番地 電話(浪花三三)

【住所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花三三)

【本籍地】 栃木縣安蘇郡田沼町字吉水五十八番地

【略歴】 氏は栃木縣平民荒居源平氏の長男として生れ年少より家業たる兩毛織物の持下りをなし居たるが西南役後の頃上京して姉婿源兵衛氏と共に日本橋區葦屋町に本業を開始し多少の起伏ありて後單獨にて同區通油町に移轉獨立し漸次伸展を示して更に現所に移り大過なく今日に至る氏は既に老齡なれば業務は長男宗助氏をして擔當せしめ居れり現時資力業勢共に中堅店として名聲あり。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 一五七〇圓

【營業收益税】 五五〇圓

【家庭】 長男宗助氏 明治十七年十一月二十七日生。二男隆亮氏 明治二十二年十月二十日生。五男徳亮氏 明治三十二年六月五日生。婦ハナ女 明治二十三年一月五日生宗助氏妻孫賢太郎氏 明治四十四年一月十三日生宗助氏長男。孫萬治郎氏 大正元年八月二十七日生宗助氏二男。婦季子女 明治三十四年六月十四日生隆亮氏妻。孫登美江女 大正十一年十一月十五日生隆亮氏二女。孫義富氏 大正十四年一月一日生隆亮氏長男。

【主なる親戚】 嫁父内野萬藏氏 東京府北多摩郡中藤村三八五。嫁父田口益次郎氏 栃木縣下都賀郡間々田村字間々田一四五。

荒井秀次氏

明治二十八年八月十四日生

【職業】 綿ネル毛斯輪織綿布卸株式會社荒井商店取締役社長

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町五番地 電話(浪花五六)

【住所】 東京市本郷區西片町十番地

【本籍地】 府下豊多摩郡戸塚町諏訪町八十七番地

【略歴】 氏は亡先々代荒井駒太郎氏二男に生れ大正十四年六

月小林君子女と婚姻す、元來同店は先々代駒太郎氏創業に係り同氏の不屈不撓の努力により業界に覇を唱ふるに至りしも大正九年一月一族社員を以て資本金三十萬圓の株式會社を設立し社長には駒太郎氏長子故辰雄氏就任し駒太郎氏は顧問相談役の名稱の下に業務の大綱を握り指圖監督し來れるものなり然るに大正十五年夏駒太郎氏病歿し嗣子辰雄氏相續襲名せりも間もなく突如病歿せる爲め實弟たる現秀次氏繼承し現在に至る頗る堅實の人なり。

【趣味】 謠曲 【宗教】 淨土宗 【所得税】 五〇圓

【家庭】 妻君子女 明治三十八年二月十五日生埼玉縣大宮町六二七七小林重平氏二女。長女博子女 大正十五年十月九日生。長男康夫氏 昭和三年十一月九日生。

【主なる親戚】 山本元三郎氏 日本橋區長谷川町加工綿布商義姉從兄。同清次郎氏 日本橋區蠟殼町三丁目加工綿布商義姉里方。小林宇平氏 埼玉縣大宮町運送店妻女里方。同店取締役荒井忠三郎氏 實弟。荒井はる女 義姉亡辰雄氏未亡人【主なる出身者】 内藤和吉氏 神田區松枝町十番地雜綿布卸西島政治氏 日本橋區大傳馬町同上。故秋田豊造氏 京橋區本湊町資産家。

〔あ〕

天野半七氏

明治三十四年二月十一日生

【營業所】 中形裏地加工部
【營業所】 東京市日本橋區堺町七番地 電話(代表浪花四四)
【住 所】 千葉縣東葛飾郡市川町
【本籍地】 東京市日本橋區堺町七番地

【略歴】 氏は先代半七氏の長兄天野市兵衛氏の四男に生れ明治四十三年四月二十二日當家に養子とされるものにして早稲田實業學校を卒業す而して昭和二年一月十日先代半七氏病歿に因り直に家督相續を爲し前名録造を改め襲名す同四年妻嘉代子女を迎へたり、元來同店は先代半七氏が名古屋瀧定合名を退店後上京し日本橋區大傳馬町に八王子物の買繼を爲せしが明治三十七年現業に轉じ以來順調に今日に推移し來れるものなり。

【趣味】 謠 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 二二六三圓
【營業收益稅】 五〇四圓
【家庭】 先代未亡人喜久子女 明治三十一年九月二十日生(濱町別宅)。妹博子女 大正八年十二月二十五日生(右同)。妻嘉代子女 明治四十二年六月三日生千葉縣立高等女學校卒業。長男泰一氏 昭和五年二月十三日生。

【主なる親戚】 市内淺草區藏前片町帽子卸山本吉太郎氏。市内京橋區本八丁堀一丁目一内田得之助氏 妻女實家。市内淺草區田原町帽子卸山口喜八氏(先代先妻の兄)

【主なる出身者】 市内日本橋區葺屋町中形加工卸管見善内氏

天野秀七氏

明治二十年五月二十一日生

【營業所】 毛織物既製品卸商
【營業所】 東京市神田區岩本町三十三番地 電話(浪花三三)
【住 所】 大阪市東區谷町二丁目二十九番地 電話(東三五)
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代鹿藏氏の二男なり、本姓を英雄と稱し愛媛縣溫泉郡素鷲村の出身にして年少の頃上阪して大阪市東區谷町二丁目毛織物商田中又助商店に入り斯業を見習ひ大正五年圓滿退店して現所に獨立創業し爾來刻苦精勵したれば業容漸次伸展し過ぐる震災後現所に東京支店を設置し東西相呼應して斯界に重きをなし年次隆盛に向ひつゝあり資性濃厚にして商才あり同業者間に入望厚きものゝ如し。

【趣味】 謠 曲 【宗教】 神道
【家庭】 妻ナヲ女 明治三十一年九月二十日生奈良縣人農櫻

根倉吉氏三女。長女昌女 大正六年八月二十一日生大阪市夕陽丘女學校在學中。二女英子女 大正十年三月二十八日生。三女壽子女 大正十一年九月二十九日生。四女和子女 大正十三年八月二十二日生。長男英太郎氏 大正十五年十二月二日生。二男雄一郎氏 昭和三年十月十一日生。

【主なる親戚】 櫻根倉吉氏(農)奈良縣北葛城郡浮孔村。

【主なる出身者】 長谷川徳之助氏 洋服商大阪東區大手町一丁目。

新井福太郎氏

明治十三年十月五日生

【營業所】 中形加工卸商株式會社小梅染織所代表取締役
【職業名】 同上
【營業所】 東京市日本橋區新材木町十番地電話(浪花三五)
【住 所】 同 所
【本籍地】 同 所

〔あ〕

【略歴】 氏は父新井喜兵衛の長男にして神田區通新石町に生る日本橋區長谷川町織物卸舊下田商店に入り勤続二十年に及び大正二年同町二十に獨立開店し近在縞物縮類卸商を始めたるが後現業に轉じ今日に至る是より先明治三十一年新井里宇の養子となり四十三年養母の死亡により家督を相續す始め營

業は氏の個人經營たりしが昭和三年七月株式會社小梅染織所を設立し代表取締役となる現時店員八名を使用し自ら經營の任にあり深川區御舟藏前町には自家工場を有し製品小梅染高級中形及び同更紗は斯界に認めらる性濃厚にして手腕あり以て今日の業礎を成す。

【趣味】 讀 書 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一八圓

【營業收益稅】 一三圓

【家庭】 妻カネ女 明治二十四年三月十日生。長女喜代女 明治四十三年一月十九日生。長男幸一郎氏 大正元年八月二日生京北中學卒。二女とく女 大正三年八月五日生日本橋高女在學。二男英二郎氏 大正六年九月十九日生府立三商在學。三男清三郎氏 大正九年一月二日生。三女しず女 大正十五年四月二十二日生。

【主なる親戚】 妻父鹽田伊之助氏 大阪南區横堀七ノ七

新井半七氏

明治二十一年十一月二十五日生

【營業所】 毛織物既製品卸商
【營業所】 東京市神田區東龍閣町二番地 電話(浪花四八)
【住 所】 同 所

〔あ〕

【本籍地】 東京市神田區岩本町五番地

【略歴】 氏は先代龜吉氏の長男なり、群馬縣高崎市中紺屋町三十四番地に生れ十三歳の時上京して神田區東龍閑町四番地古着卸商高山市平商店に入り恪勤十二年間大正元年圓満退店神田區岩本町五番地にて古着卸商を獨立創業したるが爾來幾多の波瀾曲折を経て遂に現容を構えるに至れり、性は採算に強く仁侠に富み斯界に於ける成功者として知られ居れり。

【趣味】 將棋 【宗教】 淨土宗 【所得税】 四六二圓

【營業收益税】 二五二圓
【家庭】 母たか女 文久二年十月二十二日生。妻モト女 明治二十二年十月七日生。群馬縣群馬郡國府村字引間村一九農秋谷常次郎氏二女。二女貞子女 大正四年一月一日生。長男治平氏 大正六年六月二十三日生。三女靖子女 大正十年七月二十八日生。四女知子女 大正十三年一月十七日生。五女靜子女 大正十五年三月三十一日生。二男洪次氏 昭和四年五月十三日生。

【主なる親戚】 義兄新井壽作氏 洋服既製品商高崎市中紺屋町。
【主なる出身者】 高橋清次郎氏 洋服商仙臺市大町。熊井綾次郎氏 同麻布區網代町。松尾刀一郎氏 同淺草區田島町。

高橋榮二氏 同長野縣小諸町。

新井小三郎氏

明治十八年四月十五日生

【營業又】 中形裏地加工卸天野半七商店支配人

【職業名】 東京市日本橋區堺町七番地 電話(代表浪花四四一)

【營業所又】 東京市日本橋區濱町三丁目六番地

【住 所】 同 所

【略歴】 氏は長野縣下伊那郡飯田町百二十六番地亡澤柳久平氏の三男にて新井家に入籍新井姓を名乗る、十六歳より上京市内日本橋區堺町中形裏地加工卸天野半七商店に勤め先代を補佐忠勤し同店が今日の業礎を固めたる氏の力に俟つ事大なり、先代の歿するや現主と共に先代の遺業を守り益々業容の發展に努む、資性濃厚にして着實商手腕に富み好箇の支配人たり。

【趣味】 讀書 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻女つる女 明治二十六年九月九日生。長男隆氏 大正八年一月八日生。市立第一中學一學年生。長女美代子女 大正十年四月十七日生。濱町小學校在學。二女千代子女 大正十三年一月二十一日生。濱町小學校在學。三女喜代子女 昭和

宿三三七。白石甚兵衛氏欄參照

淺野兼吉氏

明治九年二月二十三日生

【營業又】 綿織物卸商株式會社淺野兼吉商店取締役

【職業名】 東京市日本橋區橋町二丁目四番地 電話(浪花四四一)

【營業所又】 同 所

【住 所】 同 所

【本籍地】 茨城縣稻敷郡龍ヶ崎町三百七十八番地
【略歴】 氏は茨城縣龍ヶ崎の出身父を惣七氏と稱し氏は其長男なり年少より市内日本橋區新大阪町榎島祐八商店に勤務し、二十一歳の時久松町に中形加工販賣を開始す後ち日露戰役に従軍して勳七等に叙せらる除隊後現業を復興し震災前現所を買収し目下氏は大體を監督し店務は長男幸祐氏に委ねあり昭和六年二月株式會社(資本金三萬圓)に組織を變更せり。

【趣味】 作曲、園藝 【宗教】 天台宗

【所得税】 一五五圓 【營業收益税】 八四圓

【家庭】 父惣七氏 嘉永四年八月三日生。龍ヶ崎町久保田佐治氏二男。母さき女 安政三年七月拾日生。祖父淺野五郎右衛門氏長女。妻たけ女 明治十六年七月十五日生。龍ヶ崎町五六二番地長岡喜助氏長女。長男幸祐氏 明治三十五年三月二十九

淺野重次郎氏

明治十一年六月十一日生

【營業又】 毛斯綸洋反物卸商株式會社白石甚兵衛商店常務取締役

【職業名】 東京市日本橋區新乗物町二十番地

【營業所又】 電話(浪花六三・五七六・一七)

【住 所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地

【本籍地】 同 所
【略歴】 氏は千葉縣長生郡一宮町二九七八番地淺野金五郎氏の二男として生れ夙に白石甚兵衛商店に入りて恪勤する事多年現時同店常務取締役たり、氏は溫和なる中に多年洋反物界に在りて練られたる手腕今や全く圓熟し業容店格共に備はれる同店の最高幹部として内外の信頼大なり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 二二二圓

【家庭】 妻てる女 明治十九年六月十六日生。二女せつ女 明治四十三年十月二十七日生。長男榮一郎氏 大正元年八月十六日生。

〔あ〕

【主なる親戚】 妻女實家利田三郎氏 東京市外品川町南品川

〔あ〕

日生慶應理財科出身店務に従事。長女春江女。明治四十三年一月十九日生。日本橋高等女學校卒業。三男三郎氏。大正七年十月二十六日生。久松小學校在學。二女千代子女。大正十二年一月十七日生。久松小學校在學中。

【主なる親戚】梅屋金太郎氏(在東京作曲家)従兄弟。鈴木小春峰(在東京戯作家)。

【主なる出身者】長岡信次郎氏在龍ヶ崎吳服商。

浅野 萬助氏

明治十六年十二月二十七日生

【營業】廣幅織物卸商

【營業所】東京市日本橋區桶町四丁目十番地 電話(浪花三三三)

【住所】同所

【本籍地】東京市小石川區諏訪町十九番地

【略歴】氏は岐阜縣稻葉郡日置江村字日置江一五淺野久八氏三男にして久五郎氏の弟なり年少時上京して現所株式會社潮谷商會に奉公し後創業者たる淺野百藏妻百合女の養女即ち二代目百藏氏の長女と婚して入婿し同商會の破綻後蝶矢商會營業部長の任にありしが大正十二年三月獨立開業して今日に至る。

【趣味】讀書、旅行 【宗教】門徒宗

【所得稅】二九六圓 【營業收益稅】三六圓

【家庭】妻せん女。明治二十六年七月一日生。養子英雄氏。大正十年十月一日生。茨城縣富岡璋雄氏四男。

【主なる親戚】岳父淺野百藏氏。神奈川縣小田原町。従兄富岡璋雄氏。茨城縣鹿島郡夏海村字神山七七。

浅岡 文藏氏

明治十年十二月二十日生

【營業又】關東吳服並に各種織物問屋株式會社森五商店取締役

【は職名】東京市日本橋區本石町二丁目 電話(日本橋自三三三)

【營業所又】十三番地

【住所】府下豊多摩郡澁谷町豊分十九番地

【本籍地】滋賀縣愛知郡西押立村大字北菩提寺六百七十一番地

【略歴】氏は滋賀縣人。浅岡忠平氏三男にして、大正五年三月八日分家戸主となる、夙に當店に入り斯業を見習ふこと多年、忠實温健なる氏の性格は漸次店主の信認を受け、曩に同店支配人たりしが今次株式會社となるや推されて取締役となる職務以外に興味無く只管主家隆昌のために努力しつゝあり。

【宗教】淨土宗

【家庭】妻まさ女。明治十七年五月三日生。同縣人。亡西村喜七郎氏長女、明治四十五年六月二十一日婚姻入籍。

【主なる親戚】實兄淺岡傳藏氏。同縣同郡同村同字二十三番屋敷。義弟西村長治郎氏。同縣神崎郡御園村大字上二二二の一妻まさ女實弟。

浅妻 唯吉氏

明治元年一月二十五日生

【營業】吳服太物小賣商淺妻吳服店主

【營業所】府下豊多摩郡澁谷町上通二丁目三番地電話(青山三三)

【住所】同所

【本籍地】同所

【略歴】氏は福井縣三方郡南西郷村大藪淺妻文四郎氏の三男にして延太郎氏實弟なり年少時市内某吳服店に奉公し明治二十六年獨立して神田區表猿樂町二に開店せしが大正四年現所に移轉熱心經營の結果漸仲して業礎を堅め無難を辿りて今日に至る、赤坂區青山南町四の一同店支店は長男文之助氏の經營たり。

〔あ〕

【宗教】眞宗 【所得稅】一二七圓

【營業收益稅】一一四圓

【家庭】長男文之助氏。明治三十一年十一月三日生。五男五郎氏。大正二年六月三十日生。二女ゑん女。大正四年十一月二十一日生。三女のお江女。大正七年十一月二十九日生。四女たま女。大正十年一月二十九日生。文之助氏妻久子女。明治三十八年三月二十七日生。千葉縣山武郡福岡村上谷二五五六日暮道太郎氏二女。文之助氏長女初惠女。大正十四年五月十四日生。同二女美惠子女。昭和二年三月十九日生。

阿藤 久太郎氏

明治十六年九月一日生

【營業又】京吳服關東吳服卸合名會社藤安商店東京店代表社員

【は職名】東京市日本橋區元濱町十二番地 電話(浪花三三)

【營業所又】は勤務先

【住所】同所

【本籍地】滋賀縣愛知郡愛知川町大字長野二千三十八番地ノ二

【略歴】氏は滋賀縣愛知郡葉枝見村大字田附亡安居久右衛門氏の二男にして、十六歳の時上京東京市日本橋區新大阪町西村伊亮商店に奉公する事約四ヶ年後叔父にして且つ養父たる阿藤清七氏の經營せる茨城縣取手町の同店の實務に就き實兄たる安居吉太郎氏と共に同店の業勢伸展に努力すところあり大正十一年七月清七氏死亡に因り家督を相續す、是より先大

〔あ〕

正十年上掲取手町より東京に店舗を移し同年九月安居氏と二人にて合名會社藤安商店を創立す、(現在資本金三十萬圓)現時同業の中堅店として資力信用共に備はる、資性濃厚堅實にして商手腕あり、各方面の印象良好なる人なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五〇圓

【家庭】 養母すて女 明治七年十一月二十五日生亡清七氏妻女郷里に在り。妻女せつ女 明治二十三年二月十一日生滋賀縣愛知川町大字長野二百八番屋敷藤居惣三郎氏長女。長男又次郎氏 大正三年十月十一日生滋賀縣立八幡商業學校五年生。長女ヒサ女 大正五年四月二十九日生滋賀縣淡海女學校卒業後家庭にあり。二男清造氏 大正八年二月八日生八幡商業生徒。三男久七氏 大正九年十一月十三日生久松小學校在學。四男清七氏 大正十一年十月二十二日生愛知川小學校在學。二女清子女 大正十五年十二月十九日生。五男行雄氏 昭和五年二月十五日生。

【主なる親戚】 滋賀縣愛知郡愛知川町大字長野藤居惣三郎氏(妻女里方)。京都市室町御池下の阿藤清八氏(従兄弟)。滋賀縣愛知郡葉枝見村大字田附安居吉太郎氏(實兄)。

【主なる出身者】 千葉市市場町近江屋吳服店木瀬喜三郎氏。神田區東龍閑町布團蚊帳卸商石井捨吉氏。

阿藤綱次郎氏

明治二十五年六月九日生

【職業名】 京吳服卸商阿藤清兵衛商店東京店代表者

【營業所】 東京市日本橋區通油町二十二番地 電話(浪花四二六)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡愛知川町字長野二千三十六番地ノ五

【略歴】 氏は滋賀縣坂田郡醒井村字枝折五六二伊藤増次郎氏の三男として生れ十五歳の折京都市室町三條下の京吳服帶地問屋山口源兵衛商店に入店し恪勤約十五年に及びたり而して大正十一年阿藤清八氏に見込まれて其の長女君子女の養子として入籍し爾來阿藤商店京都本店に補佐役となりて勤務し昭和二年東京店設置せらるゝや之が擔當者として轉勤今日に至る氏は濃厚にして商才に富み相當古き歴史を有する阿藤商店の柱石として面目を維持し居るものなり。

【趣味】 謠 【宗教】 眞宗 【所得税】 六四三圓

【營業收益税】 三〇八圓

【家庭】 妻君女 明治三十五年九月二日生。長男隆三氏 昭和三年一月十九日生。二男任徳氏 昭和五年十月二十二日生以上本籍地に居住し居れり。

【主なる親戚】 田中源治氏 滋賀縣愛知川町田源商店代表者。阿藤久太郎氏 東京市日本橋區元濱町吳服問屋藤安商店東京店擔當者。生家伊藤豊吉氏 滋賀縣坂田郡醒井村字枝折農業。

秋場三松氏

文久元年十一月四日生

【營業】 結城紬豊田紳卸商

【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目五番地 電話(浪花二四三)

【住 所】 茨城縣結城郡水海道町百五十番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は本籍地の醫師故秋場秀柱氏の二男にして明治十七年一月家督を相続す年少時より同郡結城町越野彦平商店に奉公し恪勤數年の後上京して明治三十四年現所に斯業を開始す當初微々たる業容なりしも刻苦精勵の結果漸次業容を伸展し今日の業礎を築くに至る而して大正六年より郷里の紬工場を本店とし東京を支店として三男潤二氏に之を擔當せしめ大正十四年更に大阪支店を設け今日に至る、東京店擔當者潤二氏は濃厚にして着實各方面の信望厚く且つ商手腕に富み銳意經營の任に當りつゝあり。

【宗教】 淨土宗 【營業收益税】 一九八圓
【家庭】 妻すみ女 慶應三年八月二十五日生。次男醫學博士秋場隆一氏 明治二十二年三月一日生神奈川縣鎌倉町大町九二八。三男潤二氏 明治二十四年十二月十二日生(東京店)。婦利志女 明治三十年九月三十日生潤二氏妻。孫毅一郎氏 大正七年四月十七日生潤二氏長男。婦鶴子女 明治三十三年一月二十二日生隆一氏妻。孫泰二氏 大正十年三月十五日生潤二氏二男。孫知氏 大正十一年三月十日生隆一氏長男。孫祐氏 大正十二年二月十二日生潤二氏三男。孫悦子女 大正十五年三月二十日生潤二氏長女。
【主なる親戚】 村田茂吉氏 京橋區木挽町二ノ一三婦利志女父。長瀬麟太郎氏 麴町區飯田町六ノ一三婦鶴子女叔父。
【主なる出身者】 長谷川芳三氏 日本橋區高砂町一四結城紬卸。中山梅吉氏 日本橋區村松町。

秋山孝三郎氏

明治十九年六月九日生

【營業】 木綿染織物捺染耕卸商

【營業所】 東京市日本橋區久松町十一番地 電話(浪花五九九)

【住 所】 同 所

〔あ〕

【本籍地】同 所

【略歴】氏は山梨縣中巨摩郡落合村農秋山金左衛門氏の二男として生る、十四歳の時上京市内日本橋區富澤町木綿金中間屋辻金之助氏商店に奉公し勤続十九年に亙り大正六年八月當業を以て現所に獨立開業し爾來順調に經過し大正十二年の震災には同店も相當の損害を蒙りたるも何等の支障なく現所に再起以後奮闘努力遂に今日の業礎を築きしものなり。

【趣味】魚釣 【宗教】天主教 【所得税】八九圓

【營業收益税】八四圓

【家庭】妻靜女 明治二十五年五月二十八日生、東京市下谷區御徒町一丁目七番地戸主廢家の上大正三年孝三郎氏と婚姻す佛英和高女卒。長男弘太郎氏 大正四年二月七日生曉星中學五年在學。長女澄子女 大正六年一月二十日生佛英和高女三年在學。四男晴央氏 大正十五年二月十八日生。五男裕美氏 昭和四年二月二十四日生。三男惠三氏 大正十一年一月十五日生、母方再興の爲落合家を再興し落合姓を稱え居れど共に家庭にありて曉星小學在學。菊島龍太郎氏 明治三十六年二月八日生。藤卷富平氏 明治三十八年九月二日生共に氏の甥にして店員として開業以來忠實に勤務し居れり。

【主なる親戚】勝伯爵家執事天野正義氏 赤坂區氷川町四番

地(靜子女叔父)。秋山金左衛門氏(實父當八十五歳にして健全)郷里落合村。

秋澤 太平氏

明治二十年五月二日生

【營業】毛織物既製品卸商

【營業所】東京市神田區岩本町十二番地 電話(浪花六五)

【住 所】同 所

【本籍地】栃木縣上都賀郡鹿沼町百五十三番地

【略歴】氏は秋澤與平氏の長男なり、栃木縣鹿沼町に生れ十歳の時上京して神田區東龍閑町古着卸商高山市平商店に入り恪勤十三年間圓満退店し神田區岩本町十五番地にて獨立開業し爾來地味堅實なる方針を辿りたれば内容充實し地の利を背景とし餘裕ある營業を持続し居れり、性格は機敏にして商才に富み對人的信用厚き人物なりと。

【趣味】俳句 【宗教】曹洞宗 【所得税】一一〇圓

【營業收益税】一〇六圓

【家庭】妻ハル女 明治二十七年六月二日生福島縣棚倉町吳服商佐川亥之五郎氏妹。長男義彦氏 大正十年九月十三日生二男勝彦氏 大正十三年十月二十六日生。長女千代子女 昭

和二年九月二十三日生。二女包子女 昭和五年七月三十日生弟宗平氏 明治三十二年七月二十三日生目下實兄を補佐して家業に精勵中性質濃厚なり。

【主なる親戚】弟秋澤繁吉氏 古着卸商神田區東龍閑町。義兄佐川亥之五郎氏 吳服商福島縣棚倉町。

【主なる出身者】加賀健記氏 古着商神田區岩本町三一。

秋本仁三郎氏

明治八年十月一日生

【營業】吳服小賣商佐野仁吳服店主

【營業所】東京市下谷區上野町二丁目三番地 電話(下谷三〇〇)

【住 所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代仁兵衛の長男にして前名榮太郎と稱す明治二十四年先代の隱居により家督を相續して仁三郎を襲名せり明治三十三年古着商を開業し後現業に轉じて今日に至る、現時氏は隱居し營業は婿養子信氏擔當せり、店員數名を使用し着々商内して業容大過なきを恃せり。

【趣味】映畫 【宗教】淨土宗 【所得税】一三〇圓

【營業收益税】九八圓

【家庭】母なみ女 安政三年十二月二十二日生。妻ムメ女 明治十二年三月十三日生。婿養子信氏 明治三十二年二月二十四日生。三女定女 明治三十五年五月二十七日生信氏妻。長男清太郎氏 明治三十八年五月二十日生。二男長次郎氏 明治四十年十月十三日生。三男榮三郎氏 明治四十三年十月卅日生。孫信一郎氏 大正十年十二月十三日生。弟幸平氏 明治三十年十一月十八日生。弟妻きく女 明治三十五年十二月十五日生。孫仲子女 大正十四年五月二十五日生。婦幸子女 明治四十三年三月八日生清太郎氏妻。孫和子女 昭和五年十月九日生清太郎氏長女。

【主なる親戚】妻父川村政次郎氏 日本橋區馬喰町四ノ二〇 婿兄木川榮氏 淺草區馬道町七ノ五。弟妻父秋本榮三郎氏 千葉縣行徳町本行徳五八七。婦父井上金之助氏 深川區靈岸町一二一。

秋山覺太郎氏

明治十九年九月二十七日生

【營業】吳服太物小賣株式會社つるや吳服店取締役

【職業】府下北豐島郡南千住町大字三ノ輪 電話(淺草一九)

【營業所】は勤務先 二百八十一番地

〔あ〕

〔あ〕

【住 所】 東京市下谷區五條町六番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は香川縣小豆郡池田村大字池田三千百九十八番地亡秋山幸三郎氏の二男にして横濱市野澤屋吳服店に入り勤続八年大正元年無事退店して本所區林町に獨立羅吳服商を営みたるが約一年にして下谷區五條町に旭屋吳服店を開業し同十一年前記三の輪町に轉じたり大正十四年同業仙臺屋吳服店と合同し明智安太郎氏と合名會社つるや吳服店を設立して經營したるが昭和五年十月田端屋商店を背景として資本金十萬圓の株式會社となし同時に取締役となりて直接經營の衝に當りつゝあり。

【家庭】 妻ナカ女 明治二十三年六月十二日生淺草區北三筋町五十四番地亡石川茂左衛門氏の四女にして大正十四年婚姻す。長男富太郎氏 明治四十四年五月一日生。長女豐子女 大正三年十月三十日生。

安藤與惣次郎氏

慶應元年八月十五日生

【營業又
は職名】 中形裏地加工並に蚊帳問屋中村合名會社業務執行社員

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區彌生町四番地 電話(浪花)三五〇〇
【住 所】 滋賀縣坂田郡長濱町大字南吳服二十三番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は中村商店中興の祖たる滋賀縣神崎郡石馬寺村二代目中村治郎兵衛氏の長男なるが生家は初代の長男中村鹿太郎氏あるより氏は二代目の生家安藤家に入り明治十年十月五日先代安藤すや女の歿後家督を相続す現に中村合名會社の出資社員たるが業務は養嗣子安藤順造氏に委ね多く郷里にあり。

【趣味】 骨董 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻すてを女 明治元年十月二十六日生滋賀縣東淺井郡大郷村字野寺村横田政之愼氏妹。長女もと子女 明治二十七年五月二十四日生跡見女學校出身安藤順造氏妻。二女たま女 明治三十一年一月八日生福島高等女學校出身福島縣人杉内賢吾氏に嫁し現に福島店に勤務。養子順造氏(安藤順造氏の項参照)。孫權一氏 大正七年十一月二十九日生順造氏長男江州長濱小學校通學中。婿養子賢吾氏 明治三十年九月二十一日生福島縣信夫郡松川村本町七三戸主杉内勘三郎氏三男早稻田大學出身大正九年八月二日安藤家に入籍。孫いつ子女 大正十年九月二日生安藤賢吾氏長女、福島小學校通學中。孫智

枝子女 大正十三年九月十一日生安藤順造氏長女、長濱小學校通學中。孫文子女 昭和四年七月十九日生安藤順造氏二女。【主なる親戚】 宗家中村鹿太郎氏 在江州。中村芳三郎氏 在江州。新保久四郎氏 在新潟。杉内勘三郎氏 在福島縣。

安藤順造氏

明治二十四年十月十日生

【營業又
は職名】 中村合名會社支配人

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區彌生町四番地 電話(浪花)三五〇〇

【住 所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣坂田郡長濱町大字南吳服二十三番地

【略歴】 氏は新潟縣中頸城郡直江津町字直江津四百五十八番地亡新保重治郎氏同チト女の二男として生れ夙に中村合名會社に勤務し同社業務執行社員安藤與惣次郎氏に其人物を見込まれ養子に懇望され順序として一度び安藤家の實家なる中村すか女の養子となり大正六年六月十五日安藤與惣次郎氏の長女もと子女の婿養子となる大正九年十一月十七日幼名卯太郎を順造氏と改名し業務を擔當し來れるが資性着實内外に信望あり同店東京店の營業を主宰せり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻もと女 明治二十七年五月二十四日生は滋賀縣人安藤與惣次郎氏の長女跡見女學校出身。長男權一氏 大正七年十一月二十九日生江州長濱小學校生。長女智枝子女 大正十三年九月十一日生長濱小學校生。二女文子女 昭和四年七月十九日生。其他は安藤與惣次郎氏の項参照。
【主なる親戚】 中村英太郎氏 在江州中村合名代表社員。中村芳三郎氏 在江州中村合名出資社員。新保久四郎氏 在直江津。

安藤莊一郎氏

明治二十三年七月二十日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸商

【營業所】 東京市日本橋區田所町二十二番地 電話(浪花)三三〇〇

【住 所】 同 所
【本籍地】 長野縣東筑摩郡波多村六百十二番地

【略歴】 氏は長野縣人安藤東次郎氏の二男にして十六歳の時上京日本橋區新大阪町洋反物卸商齋藤嘉商店に入り奉公し精勤久しく累進して同店支配人となりしが大正九年二月圓滿退店して區内久松町東綠河岸に現業を開始し努力經營の結果漸次仲展して相當の産を成し業礎を築きて大正十二年震災後現

〔あ〕

所に移轉し以て今日に至る、性潤達にして商機に敏なり且つ採算に長じ經營の才ありて専心業務に精進し堅實なる業務を
持して益々前途發展の途上にあるものなり推されて東京モス
リン同盟會幹事に擧げらる。

【趣味】 讀書 【宗教】 禪宗 【所得稅】 一八八圓

【營業收益稅】 八九圓

【家庭】 妻しやう女 明治三十一年一月二十四日生長野縣東
筑摩郡波多村五九三安藤孫吉氏五女。父戸主安藤東次郎氏 〃
安政三年二月十五日生長野縣東筑摩郡波多村六一二〇。母て
る女 〃萬延元年二月八日生郷里。長兄安藤境氏 〃明治十八年
十月二十日生郷里。長兄妻ひさへ女 〃明治十九年十一月十九
日生。

【主なる親戚】 弟清一氏 〃長野縣東筑摩郡波多村六一二四植
林業分家(朝鮮)。妻兄安藤植次郎氏 〃長野縣東筑摩郡波多村
五九三波多村消防組頭。

【主なる出身者】 相澤光雄氏 〃長野縣東筑摩郡波多村吳服商

赤倉留三郎氏

明治二十一年十一月十四日生

【營業】 半襟小間物洋品小賣中屋雜貨店主

【營業所】 東京市本郷區湯島同朋町十七番地 電話(下谷二七三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は市内淺草區元吉町十三番地水野榮次郎氏の三男
にして同區馬道町半襟商赤倉愛治氏方に奉公したるが赤倉氏
親戚たる赤倉助三郎氏に望まれて大正三年三月同氏の養子と
なり同時に獨立して本業を開始せり大正五年十一月淺草區千
束町二丁目四百二十三番地戸主赤倉康三氏より分家して一家
を成す。

【所得稅】 一六九圓 【營業收益稅】 一一〇圓

【家庭】 妻富美子女 〃明治二十六年四月十五日生亡赤倉治三
郎氏の三女にして大正三年三月十六日婚姻。長男博氏 〃大正
四年十二月二十一日生。二男次郎氏 〃大正十一年四月二十三
日生。

【主なる親戚】 赤倉愛治氏 〃養父親戚淺草區馬道町半襟商。

赤山孝雄氏 (通稱)

明治三十五年二月六日生

【營業】 毛織物卸商

【營業所】 東京市神田區元柳原町十八番地 電話(浪花四三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は和歌山縣那賀郡田中村赤山常吉氏の二男として
生る地元小學校高等科三年修業後十五歳にして大阪市羅紗商
富齊商店に入り翌十六歳の折東京支店に轉勤爾來約十ヶ年恪
勤し大正十五年退店と共に神田區千代田町にて獨立せり當時
殆んど無資本なりしかゝわらず良く奮闘し漸次業容を揚ぐ
るに連れ昭和三年區内五軒町に移轉更に翌四年現所に進出せ
り仕入先は土井丸紅の外尾州方面より直接取引を開始し得意
は土手方面潰屋に主力を置くものにして遣り口堅實なる一面
に機敏の處あり各方面より其の將來を期待されつゝあり尙現
在京濱羅紗商青年會幹事たり。

【趣味】 洋 樂 【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻花子女 〃明治三十九年十月二十三日生。長女禮子
女 〃昭和三年十月二十日生。長男喜彦氏 〃昭和五年三月六日
生。

麻生誠之氏

明治十一年六月二十八日生

【營業又 職名】 百貨店株式會社三誠常務取締役兼經理部長

【營業所又 勤務先】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(日本橋三三)

【住 所】 神奈川縣鎌倉町亂橋材木座八百三番地電話(鎌倉三三)

【本籍地】 埼玉縣北葛飾郡吉田村字惣新田九百五十二番地

【略歴】 氏は本籍地に於て麻生理十郎氏の長男として生れ昭
和二年實父死去に依り家督を相続せり、夙に三越吳服店に入
りて恪勤多年漸次累進現時同店常務取締役兼經理部長たり温
厚にして才腕に富み各方面より信頼大なるものありて二幸商
會取締役を兼任し居れり。

【家庭】 妻聰子女 〃明治十七年四月二十四日生。長男誠夫氏
明治三十八年五月二十五日生。二男豊氏 〃明治四十二年九月
十五日生。三男三郎氏 〃大正元年十二月四日生。長女民子女
〃大正三年十二月十七日生。(以上鎌倉町亂橋材木座に住す)

【あ】 實弟剛氏 明治二十六年二月一日生。同妻貞女 明治三十五年七月四日生。同二女千代子女 大正十五年五月二十八日生。同三女滿智子女 昭和三年六月九日生。(以上市外中野町に住す)

【主なる親戚】 妻女實家梅溪通虎氏 京都市寺町通り今出川上四子爵。實弟妻女實家新井芳友氏 京都市麻布區宮村町四二。

饗庭 要氏

明治二十年六月二十五日生

【營業又】 西陣並に桐生各種帶地卸株式會社渡邊都二商店取締役

【は職名】 東京支店支配人

【營業所又】 東京市日本橋區富澤町二十二番地 電話(浪花)二五三〇

【は勤務先】 東京市日本橋區富澤町二丁目六十六番地

【住所】 東京市日本橋區富澤町二丁目六十六番地

【本籍地】 京都府綴喜郡青谷村大字奈島小字芝新田二番地ノ一

【略歴】 氏は亡饗庭光宣氏の長男にして十六歳の頃京都市元誓願寺大宮東入帶地問屋荒川傳七商店に奉公し格勤十餘年に及びたるが大正三年圓滿退店して獨立帶地機業を開始せり。而して大正十年右機織業を閉止して大正十一年十月現渡邊都二商店に入店せるが大正十二年同店が東京出張所を設くるに及び氏はその主任として赴任、後該出張所が支店に昇格せら

る、や氏はその支配人となり又先年株式會社となるや取締役となり終始關東一般の販路開拓に努め業勢の向上を計りつゝ今日に及ぶ、現關東販路は殆ど氏によりて開拓せられしものと説かれ居るものなり。

【趣味】 元菊栽培の趣味を有せしことあり。 【宗教】 神道

【家庭】 妻あき女 明治二十六年三月二十六日生京都市下京區柳馬場通り四條上ル百田正次郎氏姪。長男格太郎氏 大正五年一月二十八日生府立第三中學在學中。二男光夫氏 大正七年三月五日生府立第三商業在學中。

【主なる親戚】 京都市下京區柳馬場通四條上ル百田龜次郎氏 時計商。京都市元誓願寺千本東入ル田原利崇氏 醫師。滋賀縣滋賀郡膳所町饗庭光妻氏。

【營業】 毛織物卸商

【營業所】 東京市芝區芝口二丁目十三番地電話(銀座)三八・五三〇

【住所】 東京市芝區愛宕下町一丁目二十七番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代辰五郎氏の二男なり、神奈川縣大磯町に生

阿部作太郎氏

明治二十一年六月二十一日生

相澤和助氏

明治五年七月七日生

【營業】 裏地中形卸

【營業所】 東京市日本橋區富澤町七番地 電話(浪花)一〇九

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣猿島郡岩井村一三二番地戸主相澤利八氏二男にして明治十七年三月十八日家督を相続し戸主となる、年少時上京し當初日本橋區堀留町織物問屋前川太郎兵衛商店に奉公し、約一年半にして舊中村利平商店に轉じ同店に約十年在勤の後、明治三十年同區本銀町に店舗を開き同四十五年現所に移轉今日に及び、大正十二年の震災打撃は相當なりしも能く復興し現在婿養子普吉氏を擔當者として、年商約二十萬圓を遂行す、温厚篤實なる紳士なり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 九六圓

【營業收益税】 六五圓

【家庭】 長女むめ女 明治三十一年八月三日生大正八年十二月二十六日秋葉普吉氏と婿養子縁組をなす、趣味生花、茶の湯、婿養子普吉氏 明治二十七年四月八日生本所區龜澤町四丁日秋葉幸三郎氏實弟なり。孫銀右衛門氏 大正九年十一月

れ十八歳の頃横濱市山下町毛織物卸商早川松太郎商店に入り格勤十一年間斯業を見習ひ大正三年圓滿退店し芝區愛宕下町に於て獨立創業し爾來精勵せしかば業容漸次伸展し大正十三年現所に移轉し現容を構えるに至れり、最初は舶來物専門たりしが漸次内地物を加味し現在は年商優に六十萬圓を計上し斯界に重きをなし居れり、資性温厚にして宗教心に厚く堅き信念は營業方針に躍如として現れ眞面目なる人物との定評あり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗 【所得税】 三一八圓

【營業收益税】 二〇四圓

【家庭】 妻モト女 明治二十六年三月十五日生神奈川縣中郡二宮質商市川定吉氏の長女にして謡曲に堪能なり。長男金作氏 大正三年十月八日生藤澤湘南中學在學中。長女道子女 大正五年十一月二十日生精華女學校在學中。二女房子女 大正十年一月六日生。二男澄男氏 大正十一年十一月四日生。三男能弘氏 大正十五年三月二十三日生。

【主なる親戚】 義父市川定吉氏 地主神奈川縣。實兄阿部良藏氏 履物卸商神奈川縣平塚町。

【あ】

【あ】

十日生婿養子音吉氏長男久松小學五年在學。孫敏江女。大正十二年十一月八日生婿養子音吉氏長女久松小學二年。孫宏子女。昭和五年八月二十一日生。

【主なる親戚】甥相澤兼三郎氏。酒造業茨城縣猿島郡岩井町婿養子實兄秋葉幸三郎氏。毛皮卸本所區龜澤町四丁目。

會田佐長氏 (通稱)

明治二十四年二月二十一日生

【營業】毛織物切賣業

【營業所】東京市神田區連雀町十八番地 電話(神田五七)

【住所】東京市下谷區御徒町二丁目六番地

【本籍地】同所

【略歴】氏は三重縣河藝郡豐津村一九〇番地戸主稻垣作太郎氏二男に生れ、三重縣立中學校卒業後朝鮮に渡り、京城市在住の親戚奥田洋行方に約八ヶ月間寄寓せしが、明治四十四年二月上京し神田區柳町羅紗商武神商店輸入部に就職恪勤精勵約十年にして退店、大正十年九月株式會社千代田羅紗店を創立同時に選ばれて同社代表取締役となる、同七年三月二十六日下谷區御徒町二丁目六番地戸主會田治修氏母つね女の六女に當れるミツ女と婿養子縁組をなす、其後昭和三年前記千代

田羅紗店解散と同時に合資會社會田勝亮商店(資本金二萬圓)を設立今日に至る温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】野球 【宗教】神道

【家庭】義兄治修氏。明治二十七年十一月十六日生亡會田與吉氏長男上野美術學校卒業畫家。妻女ミツ女。明治二十一年七月八日生。長男孝氏。大正七年五月二十七日生成城小學校。六年在學。義姉花枝女。明治三十八年四月四日生横濱市神奈川區青木町元町二十七番地戸主小川金子養子昭和五年十月二日會田治修氏と婚姻入籍。二男義徳氏。大正九年十一月二十日生慶應幼稚舎在舍。三男幸男氏。大正十二年五月十一日生慶應幼稚舎在舍。長女照子女。大正十四年六月二十日生。二女惠美子女。昭和五年四月二十一日生。養母つね女。元治元年二月七日生。

【主なる親戚】實兄稻垣作次郎氏。三重縣河藝郡豐津村一九〇番地農業。義弟武神宗三郎氏。横濱市外磯子町合資會社武神商店出資社員。

足立清一氏

明治三十四年一月一日生

【營業又職名】半襟小賣商合資會社紅屋襟店代表社員

【營業所又勤務先】東京市京橋區銀座四丁目十二番地

【住所】同所

【本籍地】東京市京橋區銀座五丁目三番地一號

【略歴】氏は愛知縣中島郡大和村大字福森字郷中亡足立德次郎氏の長男にして明治四十二年四月徳次郎氏死亡に因り家督相続す、夙に岡仙商店に入り後同店東京店の支配人にして令名あり退店後一時日本橋區高砂町に於て半襟卸商を営み居りたるが偶々大正十四年銀座紅屋あり店笹川昌一氏病歿し嗣子若年なりしかば同店親戚たる京都長島氏等の依頼によつて同店支配人として入店し昭和四年七月同店が合資組織となるや其の代表社員となりて今日に及ぶ。

明智安太郎氏

明治二十八年十月七日生

【營業又職名】吳服太物小賣株式會社つるや吳服店取締役

【營業所又勤務先】府下北豐島郡南千住町大字三ノ輪 電話(淺草一六)

-(416)-

【住所】東京市下谷區上根岸町三十番地

【本籍地】同所

【略歴】氏は福島縣石城郡平町字一丁目仙臺屋吳服店明智榮司氏の弟にして亡明智淺吉氏の四男なり生家に於て斯業を見習ひ震災後上京して前記三ノ輪町に獨立開業したるが大正十四年一月同業秋山覺太郎氏と合同し合名會社つるや吳服店を設立經營し昭和五年十月株式會社田端屋商店を背景とする資本金十萬圓の株式會社つるや吳服店に組織を變更し同時に其取締役に就任し直接經營の衝に當りつゝあり。

【所得税】五〇圓

【家庭】妻サダ女。明治三十四年十一月七日生同郷山崎孝之助氏の長女。長男善兵衛氏。大正十二年二月十六日生。二男正二氏。大正十三年九月二日生。長女美津子女。大正十五年一月十日生。三男幸三郎氏。昭和三年一月十二日生。二女孝子女。昭和四年十一月二十一日生。

【主なる親戚】長兄福島縣石城郡平町仙臺屋吳服店明智榮司氏。弟北豐島郡南千住一ノ四八つるやモスリン店明智徳平氏

-(417)-

【あ】

東 幸 吉 氏

明治二十二年三月二十九日生

【營業】 毛斯綸小賣商松葉屋吳服店主

【營業所】 東京市下谷區北大門町八番地 電話(下谷三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡豊岡村畑田六百七十九番地

【略歴】 氏は本籍地故東儀助氏の三男として生れ北海道小樽市吳服兼質業川村商店に奉公すること多年の後大正二年上京して本郷區湯島天神町に質屋業を営み質流品の古着商をなせしが漸次羅吳服商となり大正十三年震災後より本業に轉じて今日に至る此より先大正三年一月父儀助氏の死亡により家督を相続せり。

【趣味】 將棋 【宗教】 眞宗 【所得税】 四八圓

【營業收益税】 五〇圓

【家庭】 妻惠美女 明治二十六年七月二十五日生滋賀縣神崎郡北五個宮村宮莊六六三松居忠七氏長女。養子重三氏 明治四十三年一月十二日生本郷區湯島天神町一ノ一七東しま女子

さ の 部

薩 摩 治 兵 衛 氏

明治十四年十二月四日生

【營業又職名】 加工綿布織物卸商株式会社九丁子商店大株主

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區田所町十四番地 電話(浪花三〇・五〇九四) 五〇九五

【住所】 府下代々幡町代々木初臺五十六番地 電話(四谷セ〇)

【本籍地】 東京市神田區駿河臺鈴木町二十一番地

【略歴】 氏は先代治兵衛氏の長男として生れ明治三十三年二月先代の隠居により家督を相続襲名し前名治郎八を改む天保年間の創業以來連綿たる家業木綿卸商を受継ぎて斷然業界に重きをなし大正七年個人營業を株式会社薩摩商店に變更するや取締役社長たりしが昭和四年株式会社丸丁子商店と改稱すると共に其の椅子を退き前大阪支店長にして監査役たる田部金次郎氏を専務取締役となし業務を擔當せしめ氏は背後に於て監督せり性温厚着實にして人格者とせられ且つ資産家として現に東京府多額納税者たり。長男治郎八氏は佛蘭西美術音樂研究者として名あり。

【所得税】 二八六〇圓

【家庭】 妻まさ女 明治十六年九月十三日生先代杉村甚兵衛氏長女。長男治郎八氏 明治三十四年四月十三日生。二女増女 明治四十三年一月十五日生。治郎八氏妻千代女 明治四十年六月一日生山田英夫氏長女。
【主なる親戚】 妻兄杉村甚兵衛氏 日本橋區新材木町一毛斯綸洋反物卸商。山田英夫氏 東京市麻布區筭町三十一伯爵。長女婿千坂親信氏 栃木縣西那須野村三區六三四海軍中將千坂智次郎氏二男。

澤 井 藤 助 氏

慶應二年八月三十日生

【營業】 加工綿布及毛斯綸問屋

【營業所】 東京市日本橋區田所町七番地電話(浪花七五・八三・六三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡豊椋村大字小田町一三七に生る當主は先代の長男前名を鶴吉氏と稱せり而して先代はもと國産織物をもつて東海道持下りをなし居りたるが漸次進展東京に店舗を開設するに至れり、明治十六年七月先代病歿せるより當主家督を相続し併せて先代を襲名す夙に營業を擔當専心經

〔き〕

營の任に當り年次業績を収めて店勢伸展の實を擧げ今日の業礎を築き東京同業問屋間の中堅店にして大阪支店と共に兩々相呼應して堅實なる營業を遂行しつゝあり、郷里江州に邸宅を有しあるが多く在京監督し本店は息榮治郎氏大阪支店は婿養子一太郎氏各店務を擔當せり、性着實にして温情の美德を備へ私財を以て育英の事業に盡力せる外店員の獨立に就きては深甚なる援助をなす所あり出身店員は丸ト會を組織し氏其の會長たり蓋し業界稀に見る徳望家にして推されて東京織物問屋同業組合第二部長の任にあり又郷里に於て丁吟商店小林吟右衛門氏と共に並び稱せられ名望を背ひ同村信用組合を起し永く理事長たりしが近年後進に委ね引退したり。

【趣味】 園藝 【宗教】 眞宗 【所得税】 一三三七圓

【營業收益税】 二八〇圓 【地租】 一三三圓

【家庭】 婿養子一太郎氏 明治二十七年二月二十七日生大阪市東區備後町一一大阪支店擔當者。長女ふぢ女 明治三十一年四月二十六日生千代田高女卒(一太郎氏妻)。二男榮治郎氏 明治三十三年一月十三日生京北中學卒。三男捨次郎氏 明治三十九年八月二十五日生早大卒。

【主なる親戚】 黃地金左衛門氏(亡妻女里方)區内新大阪町風呂敷問屋。澤井徳太郎氏(亡實弟榮吉氏息)芝區高輪車町帝大

學生。中村清左衛門氏(亡榮吉氏未亡人里)神奈川縣子安町醬油醸造。横田禎之氏(養子一太郎氏實弟)區内富澤町洋反物問屋。羽田治平氏(二女つね女姻嫁先)滋賀縣愛知郡日枝村吉田京吳服卸。村川彦左衛門氏(養子一太郎氏實家)滋賀縣八木莊村大字番之莊。

【主なる出身者】 西村武兵衛氏 日本橋區新和泉町七綿布卸商。大橋三郎氏 府下中野町桃園吳服小賣商。西谷寅藏氏 日本橋區新材木町十三綿布卸山西商店主。中島伊三郎氏 日本橋區新大阪町七半襟卸商。大橋平三郎氏 日本橋區大傳馬町二ノ九綿布卸商。小寺和吉氏 日本橋區新大坂町三綿布卸。石田喜作氏 日本橋區新材木町一三綿布洋反物卸商。西村寅治郎氏 日本橋區大傳馬町二ノ一六文庫紙商。増田治三郎氏 京橋區本湊町二二吳服小賣商。成瀬伊平氏 足利市雪輪町織物卸商。百々太郎氏 江州。黃地太七氏 新大阪町地風呂敷店補佐。以上丸登會會員。辻定次郎氏 日本橋區田所町二二綿布卸商。

【營業又】 百貨店株式會社松坂屋銀座店營業部次長

【職名】 本場關戸蚊帳株式會社東京支店長

【營業所又】 東京市京橋區銀座六丁目一番地ノ一

【勤務先】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花)七五六

【住 所】 同 所

【本籍地】 廣島縣佐伯郡五日市町大字五日市二千七十五番地

【略歴】 氏は廣島縣人亡中井孝助氏の二男にして大正十四年十二月叔父澤井太一郎氏長女キヌヨ女と養子縁組を爲す、同家は五日市町に於ける地主並に胡粉製造業として名ある舊家にして同氏は廣島中學を卒業後大正五年本場關戸蚊帳株式會社の前身たる朝日蚊帳株式會社に入社し同社々長三宅兼一氏の秘書役として信任を得たり、大正十二年關東大震災後同東京支店長に就任し能く業務の更新を計り復興したるものにして温厚なる手腕家として同業に名あり。

澤井節雄氏

明治三十一年九月二十八日生

澤田東作氏

明治二十年十一月十二日生

【營業又】 蚊帳毛布風呂敷卸並に莫大小雜貨現金卸

【職名】 本場關戸蚊帳株式會社東京支店長

【營業所又】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花)七五六

【勤務先】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花)七五六

【住 所】 同 所

【本籍地】 廣島縣佐伯郡五日市町大字五日市二千七十五番地

【略歴】 氏は廣島縣人亡中井孝助氏の二男にして大正十四年十二月叔父澤井太一郎氏長女キヌヨ女と養子縁組を爲す、同家は五日市町に於ける地主並に胡粉製造業として名ある舊家にして同氏は廣島中學を卒業後大正五年本場關戸蚊帳株式會社の前身たる朝日蚊帳株式會社に入社し同社々長三宅兼一氏の秘書役として信任を得たり、大正十二年關東大震災後同東京支店長に就任し能く業務の更新を計り復興したるものにして温厚なる手腕家として同業に名あり。

【趣味】 讀書 【宗教】 眞宗 【所得税】 一五〇圓

【家庭】 養父(戶主)澤井太一郎氏 明治八年八月二十九日生妻女キヌヨ女 明治三十一年七月二十三日生廣島山中高等女學校卒業。長女壽美子女 大正十四年十二月二日生。

〔き〕

〔さ〕

澤田政七氏

明治二十一年七月二十五日生

【營業】加工綿布卸商
【營業所】東京市日本橋區新乗物町十番地 電話(浪花三六九)
【住所】同所
【本籍地】滋賀縣愛知郡豊原村字小田町三百五十三番地

【略歴】氏は滋賀縣蒲生郡玉緒村字柴原南五八林金治郎氏の二男にして前名仁助と稱す年少より日本橋區新乗物町一〇澤田政七商店に奉公せしが明治四十五年一月先代政七氏長女もと女と婚して婿養子となり大正三年四月先代の歿するに及び同年十二月政七を襲名す現戸主は先代の二男龜之助氏にして未だ弱年なり爲に従前より氏専ら營業を擔當して今日に至る

【宗教】淨土宗 【所得税】二九一圓
【營業收益税】一一二圓
【家庭】戸主妻弟龜之助氏 明治四十二年一月七日生。妻もと女 明治二十一年十月十六日生。二男政二郎氏 大正三年七月四日生。四男元吉氏 大正八年十月十一日生。

澤田小平氏

明治十九年八月二十八日生

【營業又】中形裏地加工卸商合資會社澤兵商店代表社員
【職務先】東京市日本橋區新材木町十一番地 電話(浪花三七七)
【住所】同所
【本籍地】同所

【略歴】氏は栃木縣安蘇郡大伏町字宮岡三八關根英太郎氏の四男として生れ大正二年一月望まれて澤田兵太郎氏の婿養子となり養父の業を授けて精勵し店勢の伸張に努むる所ありしが大正十二年三月營業を合資會社となし兵太郎氏の隱居するに及びて其の後を繼ぎ代表社員として業務を擔當し漸進して今日に至れり氏は性採算に生じ商機敏なるものあり。

【趣味】圍碁將棋 【宗教】天台宗
【家庭】養父兵太郎氏 明治元年九月九日生 埼玉縣入間郡南古谷村澤田齊次郎三男。養母りい女 明治四年四月二十四日生 日本橋區新材木町高橋久兵衛二女。長女つわ女 大正二年一月九日生 神奈川縣橫濱實科女學校卒。長男兵藏氏 大正三年二月十五日生 東京府立一商卒。妻喜代女 明治二十六年十月二十六日生 埼玉縣鳩ヶ谷町故保坂喜八氏長女。

【主なる親戚】兄馬場内庫三氏 宇都宮市宮島町吳服小賣商。妻故實父保坂喜八氏 埼玉縣鳩ヶ谷町吳服小賣商。妻妹姉杉山魯九郎氏 日本橋區濱町綿布卸商。
【主なる出身者】鈴木八十郎氏 日本橋區新材木町綿布卸商 中村清吉氏 日本橋區大傳馬町二ノ八綿布卸商。内島安次郎氏 下谷區竹町製箱業。遠藤種三郎氏 府下品川町北品川宿吳服小賣商。

澤田佐久平氏

明治十年七月十五日生

【營業】吳服太物小賣商澤田屋吳服店主
【營業所】東京市本郷區駒込動坂町百五番地 電話(小石川三八八)
【住所】同所
【本籍地】同所

【略歴】氏は福井縣大野郡勝山町袋田の出にして澤田末吉氏の長男なり三十一歳の時上京し日本橋區橋町中形裏地卸石川安太郎商店に入り勤続十三年に亘りしが店主と意見を異にし爲に退店して大正十年三月現所に獨立開業して今日に至る。

【所得税】四四八圓 【營業收益税】二一五圓
【家庭】妻たか女 明治二十五年一月十六日生 深川區古石場

澤本岩吉氏

慶應二年二月二日生

【營業又】羅紗切賣商合資會社澤本羅紗店代表社員
【職務先】東京市京橋區銀座西五丁目三番地ノ三 電話(銀座三七七)
【住所】同所
【本籍地】同所

【略歴】氏は東京府人亡澤本嘉助氏の長男にして約三十年前本業を開始す近年老境に入りたれば資本を制限する意味に於て大正十二年八月營業を資本金百萬圓の合資會社に改め自ら代表社員となり居るも實務は長男嚴氏統轄し居るものなり、目下神田區花房町三番地に支店を出し兩店相俟つて業績を擧げつゝあり

〔さ〕

〔さ〕

【宗教】 淨土宗 【所得税】 九一七圓
【地租】 一八七圓

【家庭】 妻カヨ女 明治五年五月八日生は神奈川縣人林彌兵衛氏三女。長男嚴氏 明治二十五年八月八日生慶應義塾理財科卒業後渡英リ、ズ大學に學び羅紗に關する造詣深し。三男三郎氏 北海道大學農科生。二女澤子女 明治三十六年四月十八日生三輪田高等女學校卒。三女かく子女 明治四十年五月六日生。五男五郎氏 明治四十年五月六日生早大卒店務に従事す。六男辰雄氏 明治四十一年五月一日生立大生。七男孝久氏 明治四十五年一月二十七日生松本高工生。
【主なる親戚】 林彌兵衛氏 妻女の生家神奈川縣鎌倉郡中川村字岡津八四。

澤崎定治氏

明治七年八月十五日生

【營業又職名】 雜綿布綿ネル卸商合資會社澤崎商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區久松町一番地 電話(浪花)三三〇〇
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は福井縣南條郡日野村清水澤崎仁太郎氏の三男

德三氏 府下小岩町綿布仲立業。前田健太郎氏 神田區東松
下町一六綿布卸商。

齋藤嘉吉氏

萬延元年七月二十三日生

【營業又職名】 毛斯綸洋反物卸合名會社齋藤嘉吉商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區新大阪町十番地 電話(浪花)自三〇〇〇
【住所】 府下豊多摩郡戸塚町諏訪百三十九番地電話(牛込)三三三三
【本籍地】 東京市日本橋區新大阪町十番地

【略歴】 氏は東京府人幼名を井元信助と稱せり夙に日本橋區新大阪町洋反物問屋齋藤嘉吉商店に勤務し明治二十九年五月九日同家の養子となる同年五月十九日先代の未亡人齋藤チエ女の隠居するに及び家督を相續し併せて嘉吉を襲名す、爾來熱心努力怠らず業容亦順調にして大正五年四月店舗を合名會社となし同業中業容の堅實資力の充實せるをもつて知らる。

【宗教】 禪宗 【所得税】 五、八七四圓
【營業收益税】 四、〇九一圓 【地租】 三二六圓
【家庭】 妻ゆう女 明治五年一月七日生鳩ヶ谷町齋藤辰之助氏長女。長女喜久子女 明治三十一年七月二十九日生跡見女學校出身戸塚町一二九林學士笠尾二郎氏に嫁す。二女貴代子女 〔さ〕

にして勘助氏の弟なり十六歳の時上京し日本橋區通油町石田萬兵衛商店に奉公し恪勤多年に及ぶ其の間徴兵せられて日清日露の兩役に従軍し勳七等を授けらる明治四十五年四月圓滿退店して村松町に本業を開始し順調を辿りて大正六年現所に移轉せり大正十二年十二月營業を合資會社となすに及び代表社員となりて今日に至る氏は正直にして誠意あり目下店員十名を使用して熱心従業し堅實なる經營を持し居れり。

【趣味】 旅行 【宗教】 眞宗 【所得税】 一六〇圓
【營業收益税】 五九圓
【家庭】 妻なつ女 明治十三年一月三十日生。長男憲一氏 明治三十七年十一月十日生早稻田實業卒。三男周平氏 明治四十二年九月二十日生滿洲守備隊在營。五男榮助氏 大正二年七月三十日生京都商業卒。長女喜世子女 大正四年七月六日生東洋家政在學。二女登世子女 大正六年二月五日生日本橋高女在學。三女貞子女 大正八年七月十五日生。四女さわ子女 大正十年七月九日生。六男定雄氏 大正十二年四月十八日生。
【主なる親戚】 義父川又寅太郎氏 茨城縣銚田町吳服太物小賣商。
【主なる出身者】 岸本澤太氏 府下小岩町羅紗仲立業。平野

明治三十六年八月十九日生日本橋高等女學校出身銀座三ノ一東海堂書店川合晋氏と婚姻。長男房助氏 明治卅七年十二月十二日生學習院優等卒業後京大經濟部を卒業目下店務に携はる。四女種子女 明治四十四年六月三十日生跡見女學校出身。
【主なる親戚】 根岸伴七氏(曾山)甥。井元政吉氏(齋藤嘉商店支配人)婿養子。齋藤藤次郎氏(鳩ヶ谷吳服商)妻女の里川合晋氏東海堂書店娘婿。笠尾二郎氏(戸塚町娘婿)、石森宗二氏鶴巻町娘婿。
【主なる出身者】 松井米吉氏(先代)大阪洋反物卸。板倉平吉氏同上。中野作次郎氏東京洋反物卸。安藤莊一郎氏同上。平澤碩二氏同上。樋口好之助氏在川崎吳服商。白鳥鐵之助氏在武藏小山同上。井元正次郎氏在池袋同上。吉野正一氏在與野町同上。柴田良吉氏芝井町吳服店主。石川三之助氏武藏小山吳服屋。

齋藤市助氏

明治五年九月十日生

【營業】 關東及京吳服卸
【營業所】 東京市神田區岩本町四番地 電話(浪花)六〇〇〇
【住所】 東京市本郷區駒込林町九十二番地

【本籍地】 東京市神田區岩本町三十一番地

【略歴】 氏は高崎市田町一〇六先代市助氏の三男にして幼名を寅吉と稱し明治二十三年十二月先代歿するに及び相續襲名す明治三十一年絹布卸商を開業し熱心經營の結果漸次伸展して遂に今日の基礎を成せり現時は業容既に定まり順調に経過しつゝあり氏は既に隱居して店務は妻女及び長男福太郎氏に任せて自らは經營の大綱を監督するにすぎず、妻女は情理兼備の人福太郎氏は溫和善實にして商才あり専心營業に精進し居りて業勢堅實に推移し益々發展の途を辿り居れり。

【趣味】 書畫、刀劍 【宗教】 門徒宗 【所得税】 七六九圓

【營業收益税】 三二二圓 【地租】 四二圓

【家庭】 妻まき女 明治七年四月七日生埼玉縣北足立郡與野町與野望月金右衛門氏五女。長男福太郎氏 明治三十一年四月十二日生。妹リヒ女 明治四年八月二十日生先代市助氏女。婦壽美女 明治三十七年八月六日生埼玉縣山口金藏氏長女。孫依久子 昭和三年二月十八日生福太郎氏長女。孫公男氏 昭和五年二月二十八日生福太郎氏長男。

【主なる親戚】 養子婿渡邊作三氏 芝區源助町一五。婦父山口金藏氏 埼玉縣兒玉郡本庄町九四。甥松田伊三郎氏 下谷區谷中初音町四。甥高桑雄吉氏 東京府下瀧の川大原九二七

【主なる出身者】 神保政弘氏 神田區東龍閑町一。中島敬祐氏 神田區岩本町三。

齋藤甚八氏

明治九年三月七日生

【營業】 中形裏地加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區橋町二丁目十番地 電話(浪花三〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は群馬縣桐生市買織商齋藤正七郎氏先々代の四男にして年少より日本橋區橋町安源商店に奉公し在勤約十五年にして圓滿退店し當初同區久松町一四に獨立開業せしが大正八年九月現所に移轉し今日に及べり、氏は頗る堅實主義の人にして採算巧なり創業以來三十數年手堅く經營して大過なく伸展し着々業礎を固め内容充實せる店容をなし相當年商を遂行す。

【趣味】 謠 曲 【宗教】 淨土宗 【所得税】 三二〇圓

【營業收益税】 一九六圓

【家庭】 妻コウ女 明治十五年一月十五日生栃木縣足利市金井周作氏二女。養子貞子女 明治四十五年五月二十二日生群

馬縣桐生市齋藤正七郎氏二女。

【主なる親戚】 甥齋藤正七郎氏 群馬縣桐生市新町三二三買織商。

【主なる出身者】 西田米太郎氏 日本橋區濱町二ノ一二綿布卸商。横山清一郎氏 群馬縣太田町三丁目吳服商。

齋藤輝之助氏

慶應二年三月二十七日生

【營業】 絹、染絹並に銘仙卸商齋龜合資會社代表社員

【營業所】 東京市日本橋區堀江町一丁目五番地 電話(浪花三七)

【住 所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣秩父郡横瀬村四百七十七番地

【略歴】 氏は先代龜作氏の長男に生れ年少より父に従ひて業を習得し明治十七年先代の隱居後家督を相續して營業者となる父業を繼ぎて熱心經營し漸次伸展して業容を堅め大正十二年九月營業を一族より成る資本金五萬圓の齋龜合資會社に改め更に昭和四年二月現在の資本金八萬圓に増資せり尙氏は秩父に於て買織商を營み東京店は婿征二氏に擔當せしむるが交五に往來して一切を監督し居り長男濱太郎氏は本籍地に於て機業を經營す其の堅實なる經營は既に相當の産をなし西武銀

行秩父倉庫監査役たる外推されて秩父絹織物同業組合代議員及び所得税調査委員たり。

【趣味】 盆 栽 【宗教】 曹洞宗

【家庭】 妻ハル女 明治二年一月十七日生埼玉縣秩父郡三田川村齋藤寛吾氏妹。長男濱太郎氏 明治二十四年五月十八日生本籍地機業經營。二女壽子女 明治四十一年一月八日生女子職業卒。婦マツ女 明治三十一年十一月十八日生埼玉縣秩父町新井勝藏氏三女。孫龜作氏 大正十四年十月十九日生濱太郎氏長男。孫昭助氏 昭和三年二月十日生濱太郎氏二男。孫保廣氏 昭和六年二月一日生濱太郎氏三男。

【主なる親戚】 長女婿齋藤征二氏 日本橋區堀江町一ノ五齋龜合資會社營業擔當者。従弟井上重一郎氏 埼玉縣秩父町大宮齋龜合資會社員西武銀行秩父木材各取締役秩父絹織物共同販賣監査役埼玉縣會議員。

【主なる出身者】 小峰直義氏 神田區松下町一五絹布卸商。守屋豊吉氏 神田區東紺屋町吳服小賣商。笠原正輔氏 府下日暮里町金杉吳服小賣商。

〔さ〕

齋藤誠治氏

明治十五年四月九日生

【營業】 吳服卸商
【營業所】 東京市神田區松枝町八番地 電話(浪花三三〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 新潟縣高田市大町四丁目七十五番戸

【略歴】 氏は高田市上小町山崎録太郎氏の次男明治十九年士族故齋藤武明氏の養子となる年少の頃上京し日本橋區長谷川町岡田商店に入り恪勤多年中途兵役に服し除隊後主家に再勤明治四十一年神田區東紺屋町に獨立爾來奮闘の結果業礎を確立す大正十二年の震災後現所に移轉し引續き京吳服及關東吳服を取扱ひ堅實主義の間屋として一般に知らる資性着實圓滿の紳士なり。

【趣味】 園藝、謡曲 【宗教】 門徒宗 【所得税】 二一〇圓
【營業收益税】 一五七圓

【家庭】 妻龜女 明治二十二年十月三十日生東京府下日暮里町字金杉十族多田廉次郎氏次女。長女喜代女 明治四十四年九月十日生千代田高女卒業。長男誠一氏 大正四年九月二十日生錦城商業學校在學中。次男治男氏 大正六年九月二十九日生東京市立第二中學校在學。三女通子女 大正八年九月二

ちか女 明治四十二年三月十七日生先代山三郎氏二女。

齋藤嗣氏

明治二十六年八月十二日生

【營業】 吳服太物小賣商ふじや吳服店主
【營業所】 東京市本郷區駒込淺草町十七番地 電話(小石川二七三)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市本郷區駒込蓬萊町三十一番地

【略歴】 氏は先代久太郎氏の長男にして中學校卒業後東京高等商業に學び中途退學す大正十一年四月父久太郎氏の死歿により家督を相續し營業者となりたるも元來より興味薄く店務は古參店員織井義數氏に擔當せしむ現時店員七名を使用し附近に於ける老舗にして着實經營し居れり。

【營業收益税】 一五一圓 【地租】 五圓

【家庭】 母とり女 明治六年六月十一日生。妻たか女 明治三十年七月九日生芝區琴平町八田口米作二女。二男久英氏 大正九年九月廿五日生。弟健次 明治三十四年一月二日生。弟正久氏 大正二年二月二十三日生。三男久哉氏 大正十四年一月十一日生。二女邦子女 大正十五年八月三十一日生。三女佳子女 昭和四年七月十八日生。健次氏妻たけ女 明治

日生。三男幸雄氏 大正十二年四月二日生。四女千代女 大正十四年三月十五日生。五女八重子女 昭和二年十月二十二日生。六女喜美子女 昭和四年九月十八日生。

【主なる親戚】 兄山崎篤氏 本所區龜澤町に於て莫大小業。弟伊藤幹三郎氏 日本橋區通鹽町にて眼鏡煙管商を經營す。

齋藤由三郎氏

明治三十三年三月十五日生

【營業】 吳服太物小賣商三河屋吳服店主
【營業所】 東京市赤坂區新町一丁目十番地 電話(青山四四)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣安房郡鴨川町貝渚二七五二横山伊平氏の二男にして舊名伊兵衛と稱す年少より姻戚たる當家に入りて營業を見習ひ精勤怠らず先代山三郎氏二女ちか女と婚姻婿養子となり昭和五年八月養父の隱居によりて家督を相續し追て襲名せり、性着實にして採算に長じ營業熱心にして經營堅實に大過なき業容を持せり。

【趣味】 骨董 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五六圓
【家庭】 養父翁氏 安政六年六月十一日生先代山三郎氏。妻

四十一年一月十五日生。健次氏長女禮子女 昭和五年九月九日生。

齋藤吉五郎氏

明治九年八月二十二日生

【營業】 吳服太物小賣商田中屋吳服店主
【營業所】 府下荏原郡世田ヶ谷町太子堂四百三十八番地
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣都筑郡山内村石川一九八四故齋藤喜三郎の長男にして年少より高津町溝の口多奈加家吳服店に奉公し業務を見習ひて明治三十一年退店獨立し本業を營む傍ら馬糧買糶商をなし居たるが震災後専ら吳服商として漸次發展を示し今日に至る現時は營業外に高歩金融を營み多少の家作を有せり。

【所得税】 七〇圓

【家庭】 妻アイ女 明治十三年五月五日生神奈川縣高津町溝ノ口鈴木キク三女。長男滿之助氏 明治三十五年五月三日生。二男勇氏 明治三十七年七月十五日生。二女貞女 明治四十一年二月十五日生。三男三郎氏 明治四十三年八月十一日生

四男四郎氏 大正二年三月九日生。五男孝氏 大正七年八月十日生。六男忠氏 大正九年八月二十八日生。三女知子女 大正十二年六月二十日生。滿之助氏妻みね女 明治四十一年四月三日生東京府下駒澤町下馬五七四梅澤桑次郎氏二女。滿之助氏長男吉之氏 昭和四年二月二十八日生。

【主なる親戚】 長女婿福田正一氏 四谷區傳馬町一ノ一五。

佐藤太三郎氏

慶應三年十二月二十二日生

【營業又職名】 毛織物問屋株式會社佐藤太三郎商店取締役社長

【營業所又勤務先】 東京市麴町區麴町十丁目四番地電話(九段)三三・長(三三) (三三・長(三三))

【住所】 東京市麴町區下六番町四十一番地 電話(九段)K(九段)K(九段)

【本籍地】 東京市麴町區麴町十丁目四番地

【略歴】 氏は愛知縣中島郡下津村平民住田藤八氏長男に生れ明治三十年四月十五日佐藤通吉氏養子となり、同四十三年一月七日佐藤家を相続戸主となる、十八歳の時名古屋市内某洋品店に奉公したるも間も無く退店、明治二十一年頃多少の路銀を携へて上京し、亡養父佐藤通吉氏の紹介にて麴町五丁目二番地羅紗問屋高羽商店に入店す、斯くて精勵恪勤約十年にして氏が三十四歳の時即ち明治三十三年間滿退店麴町九丁目

九番地に獨立洋服裁縫請負業者となり、大正二年毛織物及廣巾綿布卸業に轉換同十三年十二月資本金百萬圓の株式會社に改め取締役社長となる獨立開業當時の年商約二千五百圓資金千五百圓に比すれば實に隔世の感なくんば非ず、東京羅紗界の雄鎮たるに至りし同店今日の業礎は投機を卻けて正業を守り、丹念と誠實に終始一貫したる不撓不屈の努力に依るものにして立志傳中の白眉と稱すべし、濃厚篤實なる老紳士にして横濱佐藤貿易社長、豊濱織物株式會社取締役たり、尙ほ店務は婿養子たる嘉三郎氏専務として擔當し居るが同氏は資性濃厚篤實にして情誼に厚く一般の印象頗る良好にして業勢進展に努力しつゝあり。

【趣味】 書畫、謠曲觀世) 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 一一一三圓

【家庭】 妻女ため女 明治八年十月三日生愛知縣知多郡龜崎町七三八番戸平民岩本齊氏長女明治三十四年六月十一日婚姻婿養子嘉三郎氏 明治二十七年九月二十六日生愛知縣知多郡龜崎町大字乙川字新居一四五番地の二戸主中島虎次郎氏二男大正八年五月八日佐藤太三郎氏長女故津多女と婿養子縁組、當店専務取締役たり。孫爲太郎氏 大正八年十二月三日生麴町番町小學在學。孫英子女 大正十年二月七日生鎌倉小學在

學。

【主なる親戚】 中島山太郎氏 愛知縣知多郡龜崎町大字乙川字新居一四番地の二農業。

【主なる出身者】 洋服裁縫業金子平八氏 牛込區市ヶ谷八幡町九。羅紗卸加藤清氏 京橋區寶町二丁目。洋服裁縫業新見武勳氏 赤坂區新町二丁目。綿布卸伊藤角造氏 名古屋市西區長島町三丁目。羅紗仲立業小川義造氏 神田區岩本町洋服裁縫業立田番三郎氏 本所區石原町三丁目六番地。

佐藤延次郎氏 (通稱 平)

明治二十九年十二月十八日生

【營業】 廣幅綿市卸

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町十六番地 電話(浪花)六〇六

【住所】 同所

【本籍地】 茨城縣東茨城郡磯濱町百九十七番地

【略歴】 氏は佐藤常次郎氏の五男にして年少の頃上京し日本橋區田所町三作商店(現存せず)に奉公し、勤續約十三年餘に及びたるが震災の結果主家廢業の止むなきに至りたれば大正十三年二月退店して獨立す。

【趣味】 散策 【宗教】 天台宗

【家庭】 妻女梅子女 明治三十六年十月十四日生淺草區淺草町九村上仁兵衛氏五女淑德高等女學校卒業。長男和勇氏 昭和三年十二月五日生。長女友美女 昭和五年三月廿七日生。

【主なる親戚】 小石川區表町村上コト女 無職。

佐藤捨次郎氏

明治二十二年三月二十四日生

【營業又職名】 裏地中形加工卸商株式會社柏吉石川商店支配人

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區新和泉町五番地 電話(浪花)三三六(三三六)

【住所】 府下荏原郡世田ヶ谷町若林六百四十八番地

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は東京府人亡佐藤德太郎氏二男なるが明治三十四年十一月廿四日東京市日本橋區新和泉町五番地中形裏地加工卸商柏吉石川商店に奉公し勤續多年前前支配人藤貫民十郎氏の後を承けて同店支配人となり今日に至る資性溫和着實をもつて知らる。

【宗教】 淨土眞宗 【所得稅】 一六八圓

【家庭】 母のぶ女 慶應元年三月五日生杉戸町字米山村次氏長女。妻クニ女 明治二十二年三月九日生亡手塚兼太郎氏長女。長女周子女 大正五年七月十九日生精華高女在學中。二

〔さ〕

女淳子女 大正十年一月十二日生 荏原小學校。

【主なる親戚】 酒井虎吉氏 日本橋區若松町二十二 吳服卸商
島村平次郎氏 中形販賣本所區吾嬬町。

生。三男達雄氏 昭和五年二月四日生。

【主なる親戚】 妻父杉田勘太郎氏 深川區門前仲町一家具商

佐藤庄造氏

明治二十三年十一月五日生

【營業】 吳服太物小賣商合資會社大黒屋吳服店代表社員

【營業所】 東京市麻布區網代町二番地 電話(高輪五〇)

【住所】 同所

【本籍地】 長野縣上伊那郡高遠町字西高遠千六百七十二番地

【略歴】 氏は本籍地佐藤孫四郎氏五男にして安吉氏の弟なり
實家はモスリン小賣商なるが年少時上京し京橋區八丁堀大黒
屋吳服店に奉公し勤続十二年店主の信任を受け同店深川支店
の主任たりしも大正十年十月主家の後援によりて獨立開業し
多少の曲折を経たる後今日に至る尙昭和五年深川區門前仲町
に金門商會を開店し經營の任にあり、因に本年八月二十七日
合資會社を組織し代表社員に就任す。

【所得稅】 一一七圓 【營業收益稅】 二四八圓

【家庭】 妻ひさ女 明治三十四年八月十日生。長男榮一氏 大正十四年一月十二日生。二男慶次郎氏 昭和二年六月六日

佐野久親氏

明治十六年十二月十二日生

【營業又】 洋反物卸商株式會社村田商店專務取締役

【營業所又】 東京市日本橋區新大町十番地 電話(浪花 三六)

【住所】 東京市神田區駿河臺鈴木町七番地 電話(神田 三六)

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は京都府綴喜郡有智郷村大字戸津一三五七佐野勘
一郎氏の四男として生れ年若くして村田商店に入り恪勤する
事多年漸次累進し大正七年五月主家資本金五拾萬圓全拂を以
つて株式組織に改むるや氏は之が專務取締役に就任せり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 眞宗 【所得稅】 九二八圓

【家庭】 妻女カネ女 明治二十三年三月十八日生。
【主なる親戚】 妻女實家榎浪佐兵衛氏 大阪市南區途坂上町
一〇五〇無業。

佐野周吉氏

明治二十年五月三十日生

【營業又】 關東吳服並に各種織物卸株式會社龜忠商店支配人

【營業所又】 東京市日本橋區長谷川町十四番地

【住所】 府下豊多摩郡澁谷町八幡通二丁目二十三番地

【本籍地】 東京市牛込區若松町一番地

【略歴】 氏は牛込區若松町平民田村福松氏次男にして明治二
十七年十二月姻戚たる佐野勇次郎氏の養子となり佐野姓を名
乗る十四歳の時入店し爾來累進して今日に至る多年主家の爲
め盡すところあり曩に勤続三十年の推奨として織物問屋組合
より金牌を受領したり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 眞言宗

【家庭】 妻千代女 明治三十年三月六日生。長女都久子女 大正八
年二月一日生 精華女學校在學。二女和壽枝女 大正十
三年一月一日生 澁谷小學校在學。三女啓子女 大正十五年五
月二十二日生。四女聰子女 昭和三年六月二十四日生。五女
容子女 昭和五年七月八日生。

【主なる親戚】 田代勇次氏 市外戸塚町諏訪二百四十七(妻
女里方)。飯田武也氏 市外世田ヶ谷町上北澤安田保善社理

事(妻女伯父)。田村利平氏 千葉縣安房郡相の濱米穀商(實
父本家)。小高岩次氏 館山町米穀商(實父姻戚)。

佐野清太郎氏

明治十年十月九日生

【營業】 毛斯綸洋反物小賣商いづやモスリン店主

【營業所】 東京市四谷區傳馬町二丁目十番地 電話(四谷 四〇)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は靜岡縣田方郡三島町八五佐野忠右衛門氏の二男
にして年少より京橋區南傳馬町三木ネル店(現存せず)に奉
公し明治三十二年圓滿退店して現所に獨立開業し着實經營し
て今日に至る、氏は營業熱心にして只管店務に全力を傾注し
あり喫煙飲酒をせず人物堅固なり。

【宗教】 淨土宗 【所得稅】 一〇四圓

【家庭】 妻つき女 明治十年七月十二日生。三男清氏 大正
二年一月十七日生。長女美惠女 大正八年十一月二日生。
【主なる親戚】 妻兄水谷定吉氏 芝區白金志田町五一。

佐々木富太郎氏

明治二十五年三月十四日生

【營業又】 西陣帯卸合資会社織商東京店代表社員

【職業】 東京市日本橋區通油町二十一番地 電話(浪花一六)

【勤務先】 京都市上京區東堀川通り中立賣上ル 電話(西一五五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡佐々木富吉氏の長男なり。元京都市東洞院三條下ル津田榮太郎商店に勤務せしが大正八年京都市帶問屋六店が合同して織物商業株式會社を設立されし際氏は津田商店を退きて同社に入る。更に大正十二年同社東京出張所支配人を勤め大正十四年同社組織變更して現合資会社織商東京店創立さるゝに及び乃ち氏はその代表社員となり爾來業勢の向上に努めつゝ今日に至る。資性温和にして圓滿なる人格者なり。

【趣味】 讀書 【宗教】 臨濟宗

【家庭】 母マサ女 明治二年一月八日生亡佐々木慶郷氏長女 妻マツ女 明治二十七年五月十日生京都市上京區知恵光院通り笹屋町下ル中島吉次郎氏姉。長男富三氏 大正十年四月三十日生。二男豊治氏 大正十二年六月十六日生。長女登美子女 昭和三年九月五日生。二女道子女 昭和六年二月十一日生。

【主なる親戚】 前記中島吉次郎氏 染物業、京都市上京區舟岡公園前北織喜三郎氏 力織機製造業、京都市今出川大宮東入水口松之助氏 書籍商。

佐賀章一郎氏

明治二十一年一月十三日生

【營業】 綿布卸商淺野商店主

【營業所】 東京市日本橋區通油町二十一番地 電話(浪花六四)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣北相馬郡菅生村菅生佐賀四郎平氏の二男にして年少時より日本橋區大傳馬町中村利兵衛商店に奉公すること數年明治四十年現所淺野菅次郎商店に入り四十四年店主菅次郎氏の歿後幼嗣主を補佐して營業を擔當し次いで大正三年入夫す十四年嗣子襲名して青山店の經營を次ぐや持分を區別して氏は當店營業を繼承し熱心經營して無難に今日に至る。

【宗教】 眞宗 【營業收益税】 五七圓

【家庭】 妻コト女 明治十四年二月十四日生淺野廣兵衛氏二女。長女千佐子女 大正四年三月十八日生府立第一高女在學。

長男泰助氏 大正五年十一月二十三日生府立三商在學。二男正平氏 大正八年七月七日生。

【主なる親戚】 先代子淺野菅次郎氏 赤坂區青山北町四ノ九(吉良屋モス店)。姉山中録女 下谷區入谷町一九(松屋吳服店)。兄佐藤祐七氏 牛込區神樂町三ノ一履物商。
【主なる出身者】 山藤捷七氏 神奈川縣平塚町(十字屋吳服店)。佐賀茂重氏 府下荏原町下蛇窪(松屋吳服店)。濱田袈裟吉氏 府下大井町一本橋通(鶴屋吳服店)。巽三之助氏 府下千駄ヶ谷町千駄ヶ谷(吉良屋吳服店)。

佐久間彦次郎氏

明治二十九年二月二十五日生

【營業】 羅紗切賣商

【營業所】 東京市神田區須田町二十四番地

【住 所】 同 上

【本籍地】 東京市日本橋區通二丁目一番地

【略歴】 氏は下谷區上野町二ノ二五佐久間猪之吉氏の二男にして金太郎氏の弟なり年少時より日本橋區通二丁目島田羅紗店に奉公し恪勤多年に及びしが大正十三年圓滿退店して神田區淡路町二ノ一八に獨立開業し後現所に移轉して今日に至る

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻君子女 明治三十七年三月二十日生神田區通新石町八石井宮三郎氏長女。長男彦一氏 昭和三年八月十七日生。

坂本兼三郎氏

明治七年八月十一日生

【營業】 風呂敷中形卸商

【營業所】 東京市日本橋區新大坂町三番地 電話(浪花八〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は山梨縣北巨摩郡若神子村字豊田一七一坂本奎左衛門氏の三男として生る幼時上京して日本橋區通鹽町半襟卸商下田松之助商店(現存せず)に奉公し恪勤累進して同店支配人となりたるが明治三十八年頃獨立して現業を開始し爾來孜孜として奮闘の結果遂に今日の業礎を築けり。性地味堅實にして營業派手ならず。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 二九四圓

【家庭】 妻ハナ女 明治十四年五月十二日生群馬縣高崎市柳川町三國峰萬吉氏長女。二女きみ女 明治四十四年七月二十四日生三輪田高女修學。

[さ]

【主なる親戚】 長女婿茂原米吉氏 本郷區駒込林町一四二番家。
【主なる出身者】 細田貞雄氏 日本橋區田所町二十二中形裏地卸商。神本京助氏 横濱市中區戸部町。

坂本鐵之助氏

明治二十一年十一月七日生

【營業又職名】 毛斯綸洋反物卸商合資會社坂健商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區田所町二十二番地 電話(浪花三五六)
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は日本橋區新材木町淺井由藏氏四男として生れ年少より當家坂本健藏商店に入り奉公すること多年大正二年店主健藏の歿するや未亡人サキ女を援けて業務を擔當し精勵意らず大正五年當家の養子となり同十三年養母サキ女の隠居によりて家督を相続す。

【趣味】 謠曲 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五七五圓
【營業收益税】 一〇六圓
【家庭】 養母サキ女 元治元年十一月二十四日生。妻徳女 明治三十年八月五日生。埼玉縣飯能町坂本喜一氏養女。養女き

ぬ女 大正四年四月十五日生。埼玉縣南埼玉郡蒲生村蒲生田中民次郎氏二女。養女たけ女 大正八年一月十一日生。埼玉縣飯能町坂本喜一氏三女。

坂田源之助氏

明治十年四月十日生

【營業】 廣幅織物卸商
【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十二番地 電話(浪花三三〇)
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は亡きよ女の二男に生れ日本橋區富澤町にありし洋反物商井上市兵衛商店に奉公し大正八年二月主家廢業により獨立斯業を開始す、爾來順調に進展したるが震災により當打撃を蒙りたるが直後再起し復興に努め來りしものなるが數年來健康勝れず店務は支配人村瀬啓造氏等の古參店員に委せ氏は専ら靜養中において長子義太郎氏は東京市立第一商業學校を卒業し店務を修習中において。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二七圓
【營業收益税】 七〇圓
【家庭】 妻ムメ女 明治二十三年三月四日生。日本橋區新材木

町十六番地中西松五郎氏三女。長男義太郎氏 明治四十二年十月三十日生。東京市立第一商業卒業後家業に従事す。次男二郎氏 明治四十五年十月十七日生。中央商業學校卒業後鐵業森岡平右衛門商店に勤務中。三男三郎氏 大正三年二月十二日生。府立第三中學校在學。二女島女 大正五年三月四日生。千代田女學校在學。三女幾女 大正七年六月十四日生。四女美代女 大正十一年二月十日生。

【主なる親戚】 中西松五郎氏 日本橋區新材木町にて建築請負業を營む。美河鹿次郎氏 横須賀市汐止町肥料問屋。辯護士吉崎吉之助氏。

坂上高氏

明治二十九年二月十六日生

【營業】 毛織物並ニ洋服卸商
【營業所】 東京市麹町區麹町九丁目二番地 電話(九段三三三)
【住所】 同所
【本籍地】 新潟市西大畑町五千二百十六番地
【略歴】 氏は本籍地亡坂上吉次郎の長男として生れ大正三年六月父の死歿により母ミナ女に従ひて分家す明治四十三年上京して神田區岩本町高野彌助商店に約二年麹町區麹町七丁目

小林甚太郎商店に數年修業し大正六年七月退店後羅紗仲買商をなし居たるが漸次仲展して麹町區七ノ十に進出し昭和四年一月更に現所に移轉し營業順調を辿りて今日に至る。

【趣味】 野球、撞球 【宗教】 禪宗 【所得税】 四八圓
【營業收益税】 七〇圓 【地租】 五一圓
【家庭】 妻フク女 明治三十二年二月一日生。長男善一郎氏 大正十年二月二十四日生。長女文子女 昭和二年五月四日生。二女淑子氏 昭和三年八月二十一日生。
【主なる親戚】 姉婿片桐勘次郎氏 新潟市東大畑通一番町公吏。姉婿添田飛雄太郎氏 府下荏原郡目黒町三田三五前代議士横莊鐵道取締役。妹婿小泉卓二氏 新潟市本堀通二番町家具商。妹婿中田秀平氏 石川縣能美郡津村高堂陸軍砲兵大尉。妹婿板倉菊松氏 新潟市旭町通二番町。

坂川榮一郎氏

明治三十三年五月二十三日生

【營業又職名】 關東吳服並に各種綿織物卸株式會社森林商店東京支店支配人
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區久松町一番地 電話(浪花三三三)
【住所】 東京市日本橋區濱町一丁目十番地
【本籍地】 愛知縣一宮市一色字郷中西ノ切四百番地

【略歴】氏は本籍地坂川濱次郎氏の二男にして小學校卒業後大正二年四月一宮市森林商店に入り直ちに東京支店詰として同店総務部に奉公し約一年の後織物部に移る恪勤にして怠らず店主の信認厚く昭和六年四月前支配人たる監査役伊藤東吉郎氏の歿後其の跡を繼ぎて同店支配人の位置に擧げらる性着實熱心にして一意店務に精勵しあり營業は堅實周到なる經營振によりて更に伸展しその店格と相俟つて業容は名實共に備はる同店支配人として各方面の印象頗る佳良なり。

【宗教】眞宗

【家庭】妻すう女 明治三十九年四月十八日生愛知縣中島郡祖父江町三丸淵字七前松岡秀吉氏二女。長男誠氏 昭和四年十二月二日生。二男章氏 昭和四年十二月二日生。

【主なる親戚】父坂川濱次郎氏 本籍地農業。叔父山口谷十郎氏 愛和縣一宮市一宮七六。

【主なる出身者】(森林商店)大島金次郎氏 市内小石川區林町。赤塚清次郎氏 日本橋區通油町一四。岡村常次郎氏 東京府下世田ヶ谷町前吳服小賣商。赤塚京一氏 日本橋區濱町一ノ一二關東吳服仲次業。

酒井要一郎氏

明治十七年十二月十五日生

【營業】吳服太物小賣商おばなや吳服店主
【營業所】東京市下谷區竹町十二番地 電話(下谷三三)
【住所】同所
【本籍地】愛知縣中島郡大和村大字宮地花池字西屋敷七十五番地

【略歴】氏は木村清九郎氏の長男にして年少時大阪市某京吳服卸商に奉公して斯業を見習ふ、後上京して亡酒井理一郎氏の婿養子となり現業に従事昭和二年十月分家せり、人物温和着實にして堅實なる業歩を辿りつゝあり。

【趣味】旅行 【宗教】眞宗 【所得稅】一〇八八圓

【營業收益稅】三三六圓
【家庭】妻くの女 明治二十一年五月四日生亡酒井理一郎氏四女。長女元子女 明治三十八年十月二十八日生京華高等女學校卒業。三女春子女 明治四十二年五月四日生府立第一高等女學校卒業。孫文子女 昭和三年十二月十三日生。

【主なる親戚】淺草區千束町三丁目吳服商木村末次郎氏。麻布區坂下町十番通り吳服商戸田佐一郎氏。
【主なる出身者】淺草區田中町一二吳服商酒井金七氏。市外瀧野川町田端九二吳服商桐山逸太郎氏。市外澁谷町中通り吳

服商園善太郎氏。市外吾嬭町大畑六一吳服商久保田長作氏。

酒井長七氏

明治二十年五月二十一日生

【營業】廣幅綿布卸商
【營業所】東京市日本橋區大傳馬町三丁目三十番地電話(浪花五五)
【住所】同所
【本籍地】東京市日本橋區大傳馬町十九番地

【略歴】氏は千葉縣夷隅郡總元村堀ノ内二七七酒井覺治郎氏の四男として生れ十五歳の時より同縣勝浦町吉野屋吳服店に奉公せしが二十一歳の時主家の蹉跌に遭ひて退店し志を立て

上京明治四十年日本橋區長谷川町小倉服地卸佐々木萬三郎商店に入り精勤十二年に及ぶ其の間氏の刻苦勉勵は認められて大いに主家の信用を博したるも勤儉貯蓄若干の資本を得て大正八年圓滿退店し同年十一月三十一歳の時區内大傳馬鹽町に獨立開業せり、爾來氏の熱心なる經營は其商才機敏なると相俟つて次第に業容の伸展を遂げ業礎を築きて大正十二年震災後新築物町更に昭和二年現所に移轉し順調を辿りて今日に至る既に相當の産を成し十數萬圓を有す蓋し業界に於ける立志傳中の人たり、氏は性着實堅固にして採算の道に長ず現時

店員五名を使用し義弟柴崎貞次郎氏と共に専心業務に精進せり營業は内容の充實せると氏の活動によりて益々進展の途を辿り前途期待に富む所あり。

【宗教】日蓮宗
【家庭】妻まん女 明治二十六年七月四日生。長女ふみ女 大正五年十一月十五日生。三女こう女 大正十一年二月十六日生。四女ふく子女 大正十三年一月二十七日生。五女靜子女 大正十五年十月二日生。長男長一郎氏 昭和四年十月十六日生。

【主なる親戚】叔父日阪妙五郎氏 下谷區入谷町二五質業。同小田倉政太郎氏 神田區和泉町一染物業。妻兄柴崎卯三郎氏 神田區千代田町一四。

酒井富次郎氏

明治十九年三月六日生

【營業】毛織物卸商芝ストック商會主
【營業所】東京市芝區芝口三丁目十一番地 電話(銀座天八三)
【住所】同所
【本籍地】同所

【略歴】氏は先代一造氏の二男なり、茨城縣猿島郡古河町に生れ十三歳の時上京して芝區芝口二丁目毛織物卸商長谷見次

〔さ〕

商店に入り格勤十八年間主家の隆盛に貢献すると共に一面自己の商才を練磨し大正五年間満退店して芝區日蔭町一丁目に於て獨立創業し爾來地味堅實なる方針を邁りたれば業容漸次仲展し今日の業礎を築き芝のストックと稱して斯界に重きをなすに至れり、資性快活にして商才に富み店員を遇するに厚く店員諸氏にして一風の氣品あるは氏の人格の反映ならんか顧客に接して如才なし敢て退縮なさざる點は同店の強味にて逐年盛大に向ひつゝあり、尙特筆すべきは舊主の小影を座室に掲げ朝夕默拜し過去の恩恵を忘却せざる點は業界に於ける美談にて氏の性格の一斑躍如として髣髴たり。

【趣味】 旅行、大弓 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五〇圓

【家庭】 妻雪女明治二十三年十月三日生下谷區豊住町一五
質商貫井辨吉氏長女に生れ上野高等女學校卒業。長女喜美女
大正六年二月二十四日生東京府立第一高等女學校在學中。

二男義雄氏大正八年一月二十二日生。二女光枝女大正十年八月二十日生。三女節子女本正十三年一月二十九日生。四女春枝女大正十五年二月六日生。三男和雄氏昭和三年八月十六日生。

【主なる親戚】 高村善次郎氏 吳服商群馬縣桐生市本町三丁目。相澤兼三郎氏 釀酒業茨城縣猿島郡岩井町。

酒井正藏氏

明治二十五年十一月十五日生

【營業又】 加工綿布並に綿織物卸株式会社九丁子商店取締役

【營業所又】 東京市日本橋區田所町三番地 電話(浪花三〇・五〇四・五〇五)

【住 所】 東京市神田區小川町一番地 電話(浪花二〇・五〇四・五〇五)

【本籍地】 埼玉縣大里郡寄居町大字寄居八百九十八番地

【略歴】 氏は埼玉縣寄居町亡酒井嘉平氏の三男にして明治四十年十月十五歳にして日本橋區田所町舊薩摩治兵衛商店に入店す爾來忠勤怠り無く累進して同店の延長たる株式會社薩摩商店の取締役に擧げられ昭和六年七月株式會社丸丁子商店と改稱さるゝに及びて依然取締役として同店經營の衝に當り以て今日に及ぶ温厚なる人にて各方面の印象頗る良好なり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 五二圓

【家庭】 妻屋壽女明治三十年二月十七日生前橋共愛高女卒業長女美恵子女大正十一年三月三十一日生小川町小學校在學中。長男秀直氏大正十三年十一月十二日生同上小學校在學中。二女慶子女大正十五年一月十二日生。二男正昭氏昭和四年四月二十一日生。

【主なる親戚】 原菊藏氏 妻里方埼玉縣兒玉郡若泉村大字渡

瀨。酒井督治氏 實兄同縣寄居町肥料薪炭商。笠原大八氏 亡母里方同縣秩父郡下吉田村。

西條千代女

明治二十九年二月二十七日生

【營業又】 百貨店株式會社ほてい屋吳服店社長

【營業所又】 東京市四谷區新宿三丁目七番地 電話(四谷三三〇)

【住 所】 東京市四谷區三光町一番地 電話(四谷二一〇)

【本籍地】 同 所

【略歴】 同女は四谷區左門町八五七西條巳之助氏の三女にして大正五年一月廢家の上故西條清兵衛氏と婚姻す家業は四谷傳馬町新一の十にて明治初年の開業に係る吳服商なるが大正十五年十月百貨店として現所に進出し昭和二年三月資本金百萬圓の株式會社を組織するに及び清兵衛氏代表取締役として盡瘁する所あり女は背後にありては内助の功怠らざりしが昭和五年七月夫清兵衛氏の急逝により其の跡を繼ぎて現職に就任す尙家督は二男泰弘氏相續し女は親權者として西條一家を切廻し外に姉妹關係にある合名會社西條弘信社代表社員なり。

【趣味】 謠曲(觀世流) 【宗教】 眞宗 【所得税】 一五九六圓

【家庭】 戸主泰弘氏大正七年三月十二日生故清兵衛氏二男

猿渡賢之助氏

明治十一年一月三日生

【營業】 毛織物卸

【營業所】 東京市神田區柳町二番地 電話(浪花三〇四・五〇五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 神奈川縣橋本郡向丘村長尾千八百十五番地

【略歴】 氏は神奈川縣人猿渡武右衛門氏二男にして明治三十六年十一月二十六日分家戸主となる、是より先き氏は年少時市内京橋區八丁堀質及絨綿布商酒井勝之助商店に入り約十五年間勤続の後明治三十八年圓滿退店京橋區檜町に獨立す。時

母かん女文久元年五月二十三日生神奈川縣橋本郡東長村中山源太郎氏姉。長女絢子女大正九年一月二十五日生。三男敏弘氏大正十四年六月七日生。三女智子女昭和二年四月二十六日生。四男信弘氏昭和四年九月十七日生。

【主なる出身者】 遠藤喜兵衛氏 牛込區肴町一 株式會社ほてい屋吳服店常務取締役、堀日文氏 本郷區駒込淺嘉町一〇 株式會社ほてい屋吳服店取締役兼經理部長。相原直義氏 牛込區新小川町三ノ六金融業。宇佐美勘治氏 府下品川町南品川布袋屋吳服店。須田準平氏 新潟縣柏崎町布袋屋吳服店

〔さ〕

恰も日露戦後の好況時代にて加ふるに同氏の卓抜なる手腕は幾何ならずして業容を整へ既往震災に依り相當打撃を蒙りたりと雖も直後異常なる努力を以て進出復起し現在年商約八十萬圓以上を遂行する市内中堅問屋たるに至れり、機敏活達なる紳士なり。

【宗教】 天台宗 【所得税】 一〇五七圓

【營業收益税】 五四〇圓

【家庭】 妻とく女 明治十二年六月四日生千葉縣安房郡船形町船形二五七福本仁吉氏妹明治三十六年十二月十九日婚姻入籍、二男喜一郎氏 明治三十八年五月十五日生二十二歳の時大倉高商卒爾來店業に従事す、觀世流謡曲、庭球、弓等に趣味あり。三男増雄氏 明治四十年三月二十六日生京華商業三年修了。四男武夫氏 大正二年三月二十一日生本郷中學卒區内岩本町六新井半七商店に奉公中。四女幸子女 大正四年九月二十六日生跡見女學校四年在學、趣味生花。五男忠雄氏 大正五年九月八日生早稻田實業學校三年在學。六男隆雄氏 大正六年七月四日生本郷中學一年在學。

【主なる親戚】 婿泰野泰次氏 東京府下目黒町居住麴町株式會社佐藤太三郎商店取締役長女あき女夫なり。義弟山田銀次郎氏 神田區平永町羅紗切賣業。義弟木島喜右衛門氏 目黒

町澁谷伊達町會社員。實兄權作氏 前記本籍地居住農業。【主なる出身者】 羅紗ブローカー明石嘉助氏 神田區多町二の一四當店に十七年勤続の後昭和五年九月獨立す。

笹島治兵衛氏

明治二十六年十二月十四日生

【營業】 毛織物仕立品洋傘卸

【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目九番地 電話(浪花三興)

【住所】 府下荏原郡大井町五千三百二十七番地

【本籍地】 東京市日本橋區橋町一丁目九番地

【略歴】 氏は福井縣人笹島作藏氏の長男なり夙に慶應大學理財科を卒業し大正十五年四月先代歿後父業毛織物仕立品及洋傘卸を繼承し店務は古參店員大山司氏に委ね大體を監督するのみなり先代は福井縣大野郡上庄村五四笹島崎翠氏の二男夙に上京二十一歳の時洋傘張替業をもつて獨立し爾後貯蓄を得ると共に現業に轉じ次第に業容を整へ遂に現容をなす自らが學業を修むる暇なかりしより子弟の教育を怠らず亦力行勤儉甚だ努めり。

【宗教】 門徒宗 【所得税】 四一圓

【營業收益税】 六七圓二〇

【家庭】 母よね女 慶應元年十月廿七日生綾瀨村元伊藤谷三七三田中權平氏三女。妻ウタ女 富山市柳町四西北島長三郎四女明治三十二年四月二十四日生。長女治子女 大正十年四月十四日生小學生。長男恒輔氏 大正十二年十一月八日生。二女麗子女 大正十五年一月三日生。第六郎氏 亡作藏氏二男慶大出身明治三十五年九月十四日生。弟福郎氏 亡作藏氏三男明治三十八年一月十二日生慶大出身。弟彦次郎氏 明治四十年八月十日生慶應義塾學生。二男穰氏 昭和二年十一月六日生。

【主なる親戚】 田中八百八氏南足立郡綾瀨村元伊藤谷村三七三(母の里)。北島長兵衛氏富山市柳町四四(妻女の里)。

山藤康次氏

明治十五年四月七日生

【營業】 綿布加工卸商

【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十九番地 電話(浪花三興)

【住所】 府下豊多摩郡杉並町阿佐ヶ谷四七番地 電話(荻窪三三)

【本籍地】 栃木縣足利市旭町五百六十六番地

【略歴】 氏は栃木縣足利市旭町五六六山藤三之助氏の二男にして言六氏の實兄なり十八歳の時上京して日本橋區久松町西彦商店に奉公し勤続多年の後同店支配人となりしが大正七年

圓滿退店して同區高砂町に獨立開業し順調に仲展して業礎を築き震災後現所に移轉して今日に及びり性温厚にて着實且商才あり店員六名を使用して一意堅實に營業し居り支障なき業容を保てり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 禪宗 【所得税】 三二九圓

【營業收益税】 一六八圓

【家庭】 母テル女 安政五年十二月三日生。妻敏女 明治二十四年十二月二十八日生淺草區新福井町五小山作太郎氏長女長女峰子女 明治四十五年一月三十一日生日本橋高女卒。二女波江女 大正二年八月十五日生精華高女卒。長男弘之氏 大正四年六月二十七日生成立商業在學。二男隆次氏 大正六年五月九日生成立商業在學。三男平三郎氏 大正八年八月三十一日生。四男正吉氏 大正十一年一月七日生。五男開作氏 大正十四年二月十二日生。六男六男氏 昭和三年五月六日生。三女澄子女 昭和四年十二月二十二日生。

【主なる親戚】 弟山藤言六氏 足利市旭町五六六機業。妹婿關口久一氏 日本橋區堀留町綿布卸商。妹婿黒川興次郎氏 小石川區久堅町九二染色業。

【主なる出身者】 松本財一郎氏 日本橋區濱町三ノ四綿布卸商。

三大寺正一郎氏

明治十八年二月五日生

【職業名】各種織物現金問屋株式會社杉浦商店取締役
 【營業所又】東京市日本橋區本石町四丁目二十三番地
 【は勤務先】電話(浪花)OKB・1074・1075
 【住 所】府下豊多摩郡中野町高根五番地 電話(中野)8317
 【本籍地】京都市中京區富小路通り御池下ル松下町百四十五番地

【略歴】氏は三大寺正八氏の二男にして年少時より同店(當時京都)に入店して恪勤三十有餘年に及びたるが後東京支店詰となりその間吳服仕入部、販賣部主任等を経て大正十二年十二月組織を變更して現株式會社設立さるゝやその取締役に擧げられ、爾來業容の發展に努めつゝ今日に及ぶ。圓轉洒脱の人格者なり。

【趣味】旅行 【宗教】淨土宗 【所得税】二五〇圓
 【家庭】母せい女 慶應元年三月六日生京都市上京區三十組妙滿寺前町川崎彌兵衛氏長女。妻サト女 明治二十七年二月八日生京都市下京區佛光寺通柳馬場西入城山五兵衛氏二女。長男照二氏 大正十三年十二月四日生
 【主なる親戚】前記城山五兵衛氏 材木商。府下中野町氷川三友岡新藏氏 前記杉浦商店専務取締役。京都市新町通り二

條南小澤福三郎氏 元野村台名會社理事。

犀川儀平氏

明治二十四年一月十九日生

【營業】毛織物製造卸
 【營業所】東京市日本橋區富澤町二番地 電話(浪花)888
 【住 所】千葉縣東葛飾郡市川町三千二番地
 【本籍地】金澤市新野町十番地

【略歴】氏は金澤市新野町十番地亡犀川榮次郎氏の二男なり生家はもと吳服屋の傍ら羽二重機業を営み居りたるものなり而して氏は十五歳の時上京日本橋區彌生町毛織物洋反物卸問屋大利商店に奉公し勤続二十年の後退店獨立し當初は他製品等の取扱をなし居りたるが自ら工夫して製織するが製品販賣に際し他店との競争比較的尠なきより最近には原絲を買ひ兩毛方面の特約機業家に製織せしめあり遣り口頗る地味にして取引先の信頼あり。

【宗教】淨土宗
 【家庭】妻とみ女 明治三十六年三月十八日生、京橋區南鞘町二二近藤彌助氏四女。長女富美子女 大正十一年四月十一日生市川小學校生徒。長男義一氏 大正十五年五月二十四日

生市川幼稚園。

【主なる親戚】近藤しづ代女(淺草)妻女の生家。

鮫島勝也氏

明治三十二年十一月四日生

【營業】吳服太物小賣商三勝屋吳服店主
 【營業所】府下北豊島郡西巢鴨町巢鴨二千六十番地
 【住 所】同 所
 【本籍地】府下荏原郡大井町

【略歴】氏は日本橋區浪花町二四に生れ年少より淺草區茶屋町一伊勢新吳服店に奉公し恪勤永年に及び主家の信認厚かりしが大正十二年震災と共に退店し大正十四年現所附近に獨立開業す而して當初は小規模に木綿小賣を營みしも熱心經營の結果漸次伸展をなすに及び現所仲見世通に進出し無難に今日に迫る氏は手腕家にして氣力旺盛なり店員五名を使用し活氣ある商内を爲す蓋し業界の新進たり。

【所得税】九五圓 【營業收益稅】九八圓
 【家庭】妻マサ女 明治三十七年五月一日生。長男正勳氏 大正十四年八月二十日生。母朝女 明治九年九月三十日生。

崎井ウタ女

明治二年十月二日生

【營業】中形裏地加工卸
 【營業所】東京市日本橋區高砂町十五番地 電話(浪花)505
 【住 所】同 所
 【本籍地】東京市日本橋區元濱町六番地

【略歴】同女は大坂の人崎井甚助氏の長女にして明治三十九年十一月爲七氏を婿に迎へ斯業を開始したるものにして大正十五年四月爲七氏病歿せしかば女は營業を繼承し店員池田新氏をして補佐せしめ經營を續けつゝあるものなるが是等の事情にて業容も漸次縮少状態にあり。

【宗教】眞宗 【所得税】三七圓
 【營業收益稅】二五圓

きの部

幾度 永氏

明治五年三月九日生

【**職業**又】 百貨店株式会社三越常務取締役兼仕入部長
 【**は職名**又】 同上
 【**は勤務先**又】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(日本橋三三二)
 【**住**所】 東京市牛込區喜久井町三十四番地 電話(牛込五七)
 【**本籍地**】 東京市麹町區紀尾井町六番地

【**略歴**】 氏は長崎縣下縣郡嚴原中村町士族幾度守修氏の二男として生れ明治十四年亡幾度謙三氏の養子となり直に相續せり、夙に三越吳服店に入り恪勤漸次累進して現時常務取締役兼仕入部長の重職に在り二幸商會取締役を兼任す。

【**所得税**】 一一、二〇三圓

【**家庭**】 妻照女 明治十四年六月八日生。二女カズ女 大正二年一月八日生。長男寛氏 明治三十一年十月十九日生。三男治氏 大正九年二月十五日生。寛氏妻揚子女 明治三十七年八月七日生。同長男啓氏 昭和五年十一月十四日生。

【**主なる親戚**】 生家幾度清氏(但し氏の二男)長崎縣下縣郡嚴原町字中村。妻女實家志田常人氏 長崎縣下縣郡嚴原町大平

橋六〇。寛氏妻女實家柴岡喜一郎氏 岡山縣岡山市天瀬。

北田内藏司氏

明治十六年一月一日生

【**職業**又】 百貨店株式会社三越常務取締役兼販賣部長
 【**は職名**又】 同上
 【**は勤務先**又】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(代表日本橋三三二)
 【**住**所】 東京市芝區白金今里町五番地 電話(高輪三三三)
 【**本籍地**】 千葉縣山武郡大和村福俣七百十三番地

【**略歴**】 氏は本籍地に於て亡北田直太郎氏の長男にして大正十二年實父死亡に依り家督を相續す夙に三越吳服店に入り精勵する事多年漸次累進して現時同店常務取締役兼販賣部長とし活躍し尙三越の姉妹會社たる株式會社二幸商會の取締役をも兼任し居れり。

【**所得税**】 一一、九八六圓

【**家庭**】 母あさ女 安政三年七月十日生。妻慶子女 明治二十四年八月六日生。長男利平氏 明治四十三年五月二十四日生。二男庸吉氏 明治四十五年二月二十三日生。三男英三氏 大正三年八月六日生。長女美津女 大正六年十一月七日生。二女貞子女 大正九年九月三日生。

【**主なる親戚**】 母實家亡田邊藏之丞氏 千葉縣山武郡水田村

妻女實家石橋彌氏 千葉縣山武郡公平村道庭二九三。

北村 謙藏氏

明治十三年九月六日生

【**職業**又】 毛斯綸洋反物卸
 【**は職名**又】 同上
 【**は勤務先**又】 東京市日本橋區通旅籠町二番地 電話(浪花五八)
 【**住**所】 同 所
 【**本籍地**】 滋賀縣蒲生郡櫻川村大字川合

【**略歴**】 氏は亡北村玄盛氏の長男にして明治十六年八月家督相續同四十三年滋賀縣神崎郡八日市町大字金屋島村卯之助氏長女のぶ女と婚姻す。初め大阪稻西商店に奉公し中年の頃より東京中川平七商店に移り後同店支配人となりたるが大正二年三月主家後援の下に獨立本業を開始せり。

【**宗教**】 淨土宗 【**所得税**】 一一〇圓

【**營業收益税**】 五六圓

【**家庭**】 妻女のぶ女 明治二十五年六月二十四日生。長女芳子女 明治四十四年十二月十七日生。昭和五年日本女子商業學校卒業。二女歌子女 大正三年一月五日生。同校在學中。

【**主なる親戚**】 島村卯之助氏 滋賀縣神崎郡八日市町大字金屋。

北村 秀雄氏

明治三十七年一月十八日生

【**職業**又】 白生地染吳服卸北村秀太郎商店東京支店長
 【**は職名**又】 同上
 【**は勤務先**又】 東京市日本橋區堺町八番地 電話(浪花三三三)
 【**住**所】 府下豊多摩郡千駄ヶ谷町三百五十八番地
 【**本籍地**】 滋賀縣坂田郡米原町大字米原五百十四番地

【**略歴**】 氏は先代北村秀太郎氏の二男にして京都市立商業實習學校卒業後本店の業務に従事しつゝありしが大正八年東京支店に赴任、爾來業勢の向上に努めつゝ今日に及ぶ。

【**趣味**】 觀劇、運動競技 【**宗教**】 眞宗

【**營業收益税**】 一〇九圓

【**家庭**】 妻稔女 明治四十二年十一月二十九日生。滋賀縣神崎郡伊庭村田信太郎氏四女彦根高等女學校卒業。長女總枝女 昭和六年一月二十三日生。

【**主なる親戚**】 義父 村田信太郎氏住所前記。京都市上京區小山堀池町十八湯崎善吉氏。

〔き〕

北村芳五郎氏

明治十六年八月十九日生

【營業】 吳服太物小賣北村吳服店主
【營業所】 東京市神田區下白壁町六番地 電話(神田三三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣高座郡藤澤町西富田四十二番地平民亡北村佐吉氏の長男なるが家業たる質及び古着商は故ありて義兄北村國藏氏に譲り氏自身は明治三十八年頃上京して現業を開始せり而して明治四十一年五月六日分家して一家を創立し以つて現今に及ぶ。

【宗教】 日蓮宗 【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻女シゲ女 明治二十九年四月十四日生、神奈川縣中郡平塚町平塚新宿九百十五番地池田武三氏妹大正十五年二月一日婚姻入籍。長男俊雄氏 明治四十一年六月十二日生。二男秀夫氏 明治四十四年十一月二十一日生。三男清三氏 大正三年十月十六日生。長女喜佐子女 大正十一年二月八日生。四男亮治氏 大正十五年三月二十一日生。二女富美子女 昭和二年十一月二十四日生。

【主なる親戚】 長崎市郎氏 小石川區表町十番地、書籍商。

【主なる出身者】 北田敏治氏 府下瀧の川町西ヶ原、龜屋吳服店主昭和五年十月獨立。

北村英吉郎氏

明治二十八年三月十七日生

【營業名】 京吳服卸北村合資會社代表社員
【營業所】 東京市日本橋區久松町一番地 電話(浪花三三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡秦川村字蚊野千七百三十一番地

【略歴】 氏は亡父七郎氏の二男にして昭和三年八月分家す年少時上京日本橋區富澤町京吳服問屋深田與三兵衛商店に入り勤続約十五年にして大正十三年退店本業を開始し昭和六年三月一族出資による前記合資會社を設立其の代表社員として今日に至る。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻のぶ女 昭和五年一月病歿す。長女禎子女 昭和四年五月四日生。

【主なる親戚】 兄北村宣太郎氏 滋賀縣愛知郡秦川村醫師北村醫院を經營す。弟北村久治郎氏 京都市中京區室町通下る鯉山町京吳服問屋。

北川馬之助氏

明治二十七年十月十五日生

【營業】 風呂敷卸
【營業所】 東京市日本橋區久松町二番地 電話(浪花三三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區長谷川町八番地

【略歴】 氏は滋賀縣蒲生郡金田村字淺小井北川彦兵衛氏の長男として生れ、十二歳にして上京日本橋區長谷川町風呂敷問屋堀常吉商店に奉公せり勤続二十年に及び其女を配せられ大正十三年五月退店す而して當初は同區高砂町に獨立店舗を構へたるが後橋町に移り更に本年二月現所に再轉し來たる。

【趣味】 園藝 【宗教】 天台宗

【營業收益税】 二二圓

【家庭】 母つき女 明治三年三月十五日生。妻女やえ女 明治三十六年七月十四日生、堀常吉氏長女。長女千枝子女 大正十三年三月七日生。次女佳子女 大正十五年八月二十二日生。三女泰子女 昭和四年七月十日生。

【き】 氏の實姉しげ女は京都市御前通り今小路惣糸業仲小路重太郎氏に嫁し、實妹とみ女は東京市京橋區木挽町印刷業青木芳太郎氏に嫁す。

北川新一郎氏

明治二十九年三月二十日生

【營業名】 京吳服卸株式會社安藤商店東京店支配人
【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十一番地 電話(浪花三三三)
【住所】 東京市日本橋區小傳馬町二丁目三番地
【本籍地】 滋賀縣犬上郡西甲良村字小川原三百四十五番地

【略歴】 氏は本籍地亡北川源三郎氏の三男として生れ大正十四年九月實兄新三郎氏より分家して一家を成す十五歳の時より京都市東洞院高辻上ル安藤商店に奉公し大正十四年同店管理部長に昭和元年仕入部長に昭和六年一月更に販賣部長となり同年七月前任岡田輪藏氏の後を襲ひて東京店支配人となり今日に至る。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻たみ女 明治三十七年三月四日生滋賀縣犬上郡千本村大堀亡北川甚四郎氏二女。長女知加子女 大正十四年十月十三日生。

〔き〕

【主なる親戚】 兄北川新三郎氏 本籍地に同じ。
【主なる出身者】 (安藤商店東京店)岡田輪藏氏 日本橋區堀留町三ノ一吳服卸商。乗松俊藏氏 日本橋區箱崎町吳服卸商。田中米藏氏 滋賀縣犬上郡豊郷村。

北西藤吉氏

明治十七年七月二十七日生

【營業又職名】 京吳服及關東吳服卸商合資會社松尾商店代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區通油町十七番地 電話(浪花三三三)
【住所】 東京市本郷區駒込千駄木町五十二番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市下京區堀川通佛光寺下ル吉水町亡北西小八氏の三男にして昭和四年二月分家す年少の時より京都市宮本儀助商店に奉公し後東京店に轉じたるものにして昭和二年十一月合資會社外儀商店より本年更らに現店に變更するや依然氏は無限責任社員として支配人となり經營を擔當し來れり。

【宗教】 淨土眞宗

【家庭】 妻イト女 明治廿七年生 京都市下京區亡中村新七氏次女。長男龍造氏 大正五年二月四日生。長女フジ女 大

正七年三月十四日生。次男伸二氏 大正九年一月十七日生。次女トキ子女 大正十三年十一月廿一日生。三女ヒサ女 昭和二年十一月八日生。

北原數馬氏

明治二十七年五月二十二日生

【營業】 各種綿織物卸
【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地
【住所】 同 所
【本籍地】 長野縣北安曇郡池田町四千三百三十三番地

【略歴】 氏は長野縣池田町亡北原佐一氏の長男にして年少の頃上京し當時日本橋區橋町にありたる瀧富商店に奉公し勤積十二年の後大正十年一月退店獨立せり而して震災前日本教育品工業株式會社の株主となり同社製品たるゴム靴の特約販賣をも兼營なしたるが後該社に種々複雑せる問題生じたれば之が對策として大正十三年十月一族より成る合資會社北幸商店を設立し其の後右問題の落着と共に個人經營に還元せり、明治三十八年十一月九日家督相續し大正十三年二月五日成田たし女と婚姻す。

【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻女たし女 明治三十一年七月十四日生、北海道石狩國上川郡鷹栖村字近文農成田七五郎氏長女。長女妙子女 大正十年十一月十六日生。次女敬子女 大正十三年三月二十五日生。

【主なる親戚】 北原袈婆造氏 大日本相撲協會行司にして木村今朝三と稱す。

木村慶市氏

明治二十七年一月二日生

【營業又職名】 毛織物婦人子供服地及附屬品卸小賣株式會社ストック商會取締役社長
【營業所又勤務先】 東京市神田區柳町一番地 電話(浪花自三〇〇)
【住所】 府下荏原郡大森町山王三千五百六十三番地電話(大森二七九)
【本籍地】 東京市神田區柳町一番地

〔き〕

【略歴】 氏は岐阜縣稻葉郡厚見村出身亡木村猪六郎氏の長男にして昭和三年二月猪六郎死亡せるより家督相續せり。幼少の頃より家業に従事し一時慶應義塾に學びたるも半途退學昭和四年一月營業を株式組織となすや其の取締役社長となりて現今に及ぶ。尙ほ昭和四年中には歐洲各國に遊ぶ事半歳洋服裁斷法を研究す、著書「洋服裁斷研究」あり。

【趣味】 謡曲

【宗教】 眞宗

【所得税】 四九二圓

【家庭】 妻女ゆう女 明治卅四年二月十四日生、神田區松永町二五菓子卸商株式會社増島商店主増島安五郎氏四女。

【主なる親戚】 増島安五郎氏 神田區松永町二五、菓子卸。島村友三郎氏 神田區岩本町六番地、羅紗卸。實弟元治氏 神田區柳町一番地、分家。武藤重太郎氏 秋田市龜ノ丁東土手平町三五元治氏妻女ミサ女從兄。實弟篤三氏。同四郎氏 神田區柳町一番地、分家。坂崎安藏氏 日本橋區本銀町四ノ七、弟篤三氏妻女實家麻糸卸。浦島正男氏 神田區三河町二二、弟四郎妻女實家製本業。

【主なる出身者】 福井賢之助氏 羅紗商、神田區連雀町一八天野源松氏 神田區連雀町一、羅紗商。

木村新次郎氏

明治九年五月十五日生

【營業】 吳服太物小賣山形屋吳服店店主
【營業所】 府下豊多摩郡落合町大字下落合五百七十四番地 電話(落合三〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は府下板橋町大字下板橋木村萬次郎氏の三男なり生家は山形屋と稱し足袋商なりしが氏は夙に同町足立屋吳服

〔き〕

店に奉公し七八年の後退店實弟甚三郎氏と共に難吳服を始め努力の結果相當の基礎を得たるより大正元年現所に本業を開始して今日に及ぶ、町會議員其の公的に盡力する處多し。

【所得稅】 三六九圓 【營業收益稅】 一九六圓

【家庭】 妻とめ女〓明治二十二年九月九日生。長女壽子女〓大正五年九月八日生。

【主なる親戚】 荒井山五郎氏〓妻女里方、北豊島郡長崎町。

木村久作氏

明治十三年四月十五日生

【營業】 吳服太物小賣下久吳服店主

【營業所】 東京市神田區連雀町二十九番地 電話(神田三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歷】 氏は亡木村久作氏二男に生れ、大正十二年二月十日家督相續をなし、同年同月二十三日舊名信一郎を改めて久作に襲名す、同店は明治四年頃先代久作氏の創業に係り同氏も年少より家業に従事せるが、奮闘努力の人にして幾度か曲折を経て今日に至る。温厚なる紳士なり。

【宗教】 日蓮宗 【所得稅】 一九一圓

【營業收益稅】 一一二圓

【家庭】 妻女まき女〓明治三十五年三月二十九日生、神田區表神保町十、平岡音藏氏二女、大正十一年十一月十七日婚姻入籍。長男久彌氏〓明治四十三年七月廿七日生、京華商業卒業後目下家事に従事す。實弟義太郎氏〓明治廿七年一月十二日生。

【主なる親戚】 義父平岡音藏氏〓東京市神田區表神保町一〇 建具製造請負業。

木村英氏

明治二十七年七月二十七日生

【營業】 吳服太物小賣商武藏屋吳服店主

【營業所】 東京市牛込區通寺町八番地 電話(牛込三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 埼玉縣北葛飾郡杉戸町大字請地千三百二十五番地

【略歷】 氏は埼玉縣北葛飾郡杉戸町大字請地一三二五番地戸主木村重俊氏の叔父に當り年少時上京小石川區初音町近江屋吳服店高崎兼吉氏方に奉公せり、在店約十六年に及び大正十一年九月間滿退店の上現所に獨立し昭和五年四月には府下大井町本町通りに支店を設け自店出身者江口孝一氏をして經營

の任に當らしめあり、營業以外には何等の關係事業無く唯先年知人某等と共に若干株式に手を染めたる事ありしも結局失敗に歸したれば爾後は營業本位に復し以て今日に及べり。

【宗教】 眞言宗 【所得稅】 一四五圓

【營業收益稅】 一二六圓

【家庭】 妻女喜久女〓明治三十年十月十日生、牛込區通寺町六十九番地鯉節商蛭川吉之助氏の妹にして昭和三年三月二日木村氏と結婚す。長男豊氏〓昭和三年三月二十五日生。

【主なる親戚】 蛭川吉之助氏〓牛込區通寺町六十九番地、鯉節商。

【主なる出身者】 江口孝一氏〓府下荏原郡大井町本通り、吳服商。

木下長次郎氏

明治十九年五月二十日生

【營業】 加工綿布卸商山本元三郎商店副支配人

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十番地 電話(浪花三〇)

【住所】 東京市日本橋區濱町二丁目十二番地

【本籍地】 同 所

【略歷】 氏は茨城縣結城町大字結城三百五十六番地戸主木下

綾三郎氏の三男なるが幼時上京日本橋區長谷川町中形裏地加工卸商山本元三郎商店に入り勤勉怠らず先代及當主の二代に仕へ現に辻支配人を補佐し同店中堅の人物として内外に信望あり。

【趣味】 碁、將棋、講談 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻ツル女〓明治二十七年十月十七日生日本橋區住吉町二十二番地神谷兼太郎氏三女。長男浩氏〓大正六年十二月二十三日生府立第三中學校通學中。長女邦子女〓大正九年四月八日生久松小學校通學中。二女治子女〓大正十一年十月二日十一日生久松小學校通學中。二男健二氏〓大正十三年十月四日生。久松小學校在學。三女英子女〓昭和二年三月二十九日生三男恭三氏〓昭和四年四月五日生。

【主なる親戚】 結城町木下綾太郎氏(生家)。日本橋區住吉町神谷兼太郎氏(妻女の里)。

岸音五郎氏

明治二十八年四月二十二日生

【營業】 吳服セル卸商

【營業所】 東京市神田區松枝町八番地 電話(浪花四〇)

【住所】 同 所

〔き〕

【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代晋五郎の長男にして前名七十郎と稱し年少より家業に従事せしが大正九年五月先代の死亡によりて家督を相続襲名して營業を繼承す、店員一名を使用して良く先代の業を守り敢て怠らず着實にして地味なる經營により業勢無難に推移せり、氏は又成价とも稱す。

【宗教】曹洞宗 【所得税】二六六圓

【營業收益税】一〇圓

【家庭】妻キミ女 明治三十二年四月十日生。長男博太郎氏 大正七年五月九日生東京府立三商在學。四男伸好氏 昭和四年二月十九日生。五男源之氏 昭和六年二月十九日生。

【主なる親戚】妻叔父佐藤谷五郎氏 東京府西多摩郡成木村北小曾木。弟岸鐵之助氏 市内神田區岩本町三六。弟岸森三郎氏 市内深川區西元町一。妹婿石井莊平氏 市内深川區門前東仲町一七みなと屋吳服店。弟妻父馬場半三郎氏 市内日本橋區北島町二ノ二十九。岩崎道治氏 市内下谷區御徒町三ノ一五。

岸 善 造氏

明治二十六年七月八日生

【營業】中形加工卸

【營業所】東京市日本橋區久松町四十九番地 電話(浪花三六)

【住所】同 所

【本籍地】同 所

【略歴】氏は群馬縣高崎市白銀町二番地亡岸傳氏の五男に生れ十四歳にして上京日本橋區新大阪町榎島織物株式會社に入店す而して大正三年同社取締役たりし里村喜輔氏が會社解散によりて獨立なしたれば之に従ひて同店に入り在勤約五ヶ年にして二十七歳の時退店獨立せり、大正九年四月二十九日兄岸榮太郎氏より分家し同年十二月二十日神奈川縣高座郡藤澤町一四四番地戸主寺田忠七氏妹フジ女と婚姻、昭和三年七月二十六日本籍地を現營業所に移す。

【趣味】圍碁、將棋 【宗教】日蓮宗

【營業收益税】五六圓

【家庭】妻女フジ女 明治三十一年十一月十日生。長女伸子女 大正十年三月十日生。長男善一氏 大正十五年四月十二日生。四女衛子女 昭和三年六月六日生。五女津多江女 昭和五年七月二十七日生。

【主なる親戚】岸源四郎氏 淺草區猿若町一ノ三八番地、藥種商。寺田忠七氏 神奈川縣高座郡藤澤町一四四番地、元吳服商。
【主なる出身者】折原要次郎氏 日本橋區橋町、モスリン既製品卸。

岸 本 ち ぶ 女

明治二十三年八月一日生

【營業】木綿金巾卸商

【營業所】東京市日本橋區橋町一丁目四番地 電話(浪花二六七)

【住所】同 所

【本籍地】東京市日本橋區久松町三十五番地

【略歴】同女は青森縣下北郡田名部岸本庄太郎氏の長女にして生家は同地に於て吳服商を營む、明治四十三年三月東京市日本橋區中村重太郎商店員早崎清太郎氏を養子に迎ふ、清太郎氏は滋賀縣長濱町出身にして中村商店勤続二十三年の久しきに渡り大正三年日本橋區久松町に獨立開業し、後生家は弟庄三郎氏相續し現所に分家をなしたりしが昭和三年一月清太郎氏歿するに及び同女營業を繼承し營業所を現所に移し一婦人の身を以て奮闘努力今日の業礎を築きしものなり。

【宗教】佛教 【營業收益税】八〇〇圓

【家庭】長女まさ女 大正九年四月十四日生久松小學校在學中。弟庄八郎氏 明治四十年十一月三日生。甥森活士氏 明治四十年二月二日生。

ゆの部

湯澤三之助氏

明治四十二年七月三日生

【營業】 半襟卸商

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町九番地 電話(浪花三三)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代湯澤三之助氏の長男にして舊名を徳三郎と稱せしが、大正十三年一月先代死亡により家督を相續し間もなく先代を襲名す京華商業學校の出身なり。

【趣味】 洋樂、運動 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 八五六圓 【營業收益稅】 三七八圓

【家庭】 祖母きん女||嘉永五年九月十九日生日本橋區長谷川町九番地柴田忠兵衛氏長女。母はな女||明治十二年三月三日生、静岡市馬場七二山崎太郎氏妹。妹秋女||明治四十三年九月八日生大磯女子敬業女學校卒業。弟三吉氏||明治四十四年九月十七日生京華商業學校卒業現在日本勸業銀行勤務。妹澄女||大正五年一月七日生武藏野女子學園高等女學校在學中。

【主なる親戚】 府中町鈴木平七氏||製紐工場。

【主なる出身者】 日本橋區長谷川町七半襟商深町秀一氏。日本橋區彌生町六半襟商竹中舛三氏。

湯淺まつ女

明治二年十一月十五日生

【營業】 毛織物既製品卸商

【營業所】 東京市京橋區岡崎町三丁目二十番地 電話(京橋三五)

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 同女は福井縣足羽郡東郷村小路野坂喜太郎氏の實妹にして明治三十五年十一月湯淺芳松氏に嫁す、同氏は大正元年頃病死し同年十月前戸主市左衛門氏の隠居に因りて家督を相續せり湯淺家は明治三十二年頃現所に新古洋服並に洋傘類の小賣を開始し後羅紗仕立物専門となり卸をも兼營するに至りしがまつ女は夫亡き後良く之を維持して現在に及ぶ、目下婿養子清治氏に營業一切を擔當せしめあり。

【所得稅】 三六圓 【營業收益稅】 七〇圓

【家庭】 養女ひさ女||明治三十一年五月十五日生大正十年五月入籍。婿養子清治氏||明治三十一年九月十五日生昭和三年五月入籍、ひさ女夫。

【主なる親戚】 湯淺家増氏||ひさ女實兄、千葉縣印旛郡八生村松崎。平岡太三郎氏||清治氏生家、本所區長崎町一四。

柚口定吉氏

明治二十九年二月二十七日生

【營業】 西陣織物、京吳服卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十三番地 電話(浪花四三〇)

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣甲賀郡水口町大字水口二千八百四十九番地

【略歴】 氏は滋賀縣甲賀郡南柚村大字杉谷一九九七番地戸主竹村藤吉氏の弟にして大正十年八月二十五日同縣同郡水口町大字水口二八四九番地戸主柚口はつ女と入夫婚姻せるものなり、若年にして京都市塚本勘商店に入店し後同店宇都宮支店に轉じ該支店が東京に移さるゝと共に上京して約十五ヶ年間同店關東織物仕入主任として勤続し大正十三年三月退店獨立せり、資性着實の努力家にして業容漸進し最近現所に移轉したるものなり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻の母さつ女||明治九年一月十日生。妻はつ女||明治二十九年十二月五日生。

【主なる親戚】 柚口常次郎氏||日本橋區久松町二十九番地、京吳服加工及白生地卸。柚口六郎氏||同區藥研堀町十八番地京吳服卸。

柚口常次郎氏

明治三十六年十月三十日生

【營業】 京吳服加工及白生地卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町二十九番地

【住所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣甲賀郡大野村大字大野三千五百六番地

【略歴】 氏は滋賀縣甲賀郡大野村大字大野三五〇六番地戸主柚口市三郎氏の三男にして十六歳の時京都市津田常商店に入店し後同店東京支店にありしが昭和二年主家の蹉跌すると共に退店して獨立し市内問屋筋を得意とせり性質温厚營業に努力しつゝあり。

【趣味】 謡曲 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻女ナヲ女||明治三十八年八月二十五日生。

【主なる親戚】 柚口六郎氏||日本橋區藥研堀町十八番地、京吳服卸。柚口定吉氏||同區長谷川町二十三番地、西陣織物京吳服卸。

みの部

宮川忠助氏

明治八年五月五日生

【職業名】 關東吳服及綿織物卸株式会社安源商店取締役社長

【營業所】 東京市日本橋區橋町一丁目六番地 電話(浪花五九)

【住 所】 弘前市大字土手町四十七番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は青森縣南津輕郡浪岡村亡平野清助氏の五男にして明治三十一年四月弘前市素封家宮川家の先代久一郎氏の婿養子となり二女やゑ女を配せられ一男四女を擧げたるがやゑ女は大正十五年九月歿せり。明治四十二年弘前市土手町に分家して養家の家業たる吳服業を開業せるが大正十二年養家相續者たる義兄久一郎氏の營業と合併して株式會社宮川吳服店を設立し其の専務取締役に就任、更に昭和三年十月從來安田源藏氏個人經營たりし安源商店と株式會社宮川吳服店の卸部とを併合して株式會社安源商店を組織しその取締役に社長に就任し今日に及ぶ、以上二店の外、津輕銀行取締役、弘前商業會議所會頭の要職にあり。なほ婿養子良三郎氏は現在安源商店

店常務取締役として業容の進展に努力しつゝあり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二四三八圓

【家庭】 四女きみ女 明治三十九年三月十六日生弘前高女卒業長男忠三氏 明治四十二年五月一日生、専修大學修學現在津輕銀行員。二女ユキ女三女とす女は分家す。婿養子良三郎氏 明治二十四年十一月四日生青森縣西津輕郡木造町高谷慶次郎氏(四男)は養女みね女(明治二十九年五月二十二日生)に配せられ分家す。

【主なる親戚】 弘前市百石町宮川久一郎氏義兄。青森縣南津輕郡浪岡村平野榎五郎氏(實兄)

宮川幸三郎氏

明治八年五月二十日生

【職業名】 關東吳服卸

【營業所】 東京市日本橋區久松町三十五番地 電話(浪花五九)

【住 所】 同 所

【本籍地】 滋賀縣坂田郡南郷里村大字南小足四十四番屋敷

【略歴】 氏は宮川彦兵衛氏三男に生れ明治二十七年八月二十日家督相續す、二十二歳の時上京し日本橋區堺町瀧澤商店(現存せず)に奉公し二十七歳の折獨立開業せるものなり。明治三

十一年滋賀縣長濱町早崎新太郎氏妹すゑ女と婚姻一男一女を擧げしも明治三十八年同女は病歿し其後長男長女共に病歿せり
【所得税】 二二六〇圓
【主なる親戚】 滋賀縣坂田郡南郷里村宮川彦太郎氏 實兄。同縣同郡同村宮川彦次郎氏 實兄。

宮崎庄太郎氏

明治九年十一月十日生

【職業名】 廣幅綿布卸商株式會社宮崎商店代表取締役

【營業所】 東京市日本橋區通旅籠町二番地 電話(浪花自三六三)

【住 所】 府下豊多摩郡中野町小瀧千五百三番地電話(四谷要八)

【本籍地】 東京市日本橋區通旅籠町二番地

【略歴】 氏は滋賀縣東淺井郡湯田村平民宮崎長三郎氏の養子なるが明治十年十月分家せり、十三歳にして上京日本橋區堀留町櫻井平七商店に奉公し明治三十三年頃退店横濱に本業を開始し同三十八年頃本據を東京に移し大正七年には一族店員を以て資本金五十萬圓の株式組織に改めたり嘗て横濱市山下町に支店を置きたる事ありしも震災後之を廢したり。

【趣味】 釣 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 二五三二圓
【家庭】 妻女きくの女 明治十四年十一月二十八日生、本所

區清水町十七番地平民宮田忠寛氏の長女にして明治三十六年十二月七日宮崎氏と結婚す。長女慶子女 大正四年三月十五日生、精華高等女學校在學中。
【主なる出身者】 倉本周平氏 日本橋區小傳馬上町、綿布卸商。

宮本増太郎氏

明治十三年九月三十日生

【職業名】 京吳服西陣織物卸株式會社升宮商店専務取締役

【營業所】 東京市日本橋區富澤町二十七番地 電話(浪花三九〇)

【住 所】 京都市室町通丸太町上ル大門町二百六十八番地 電話(京都上三六〇)

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市下京區下珠數屋町通烏丸東入橋町亡山内武八氏の三男に生れ十四歳の折京都市吳服卸商宮本儀助商店に入り十八歳にして東京賣込員として出張せり、爾來東京に在りて良く奮闘地盤の開拓に務めたる結果明治三十一年支店を設立し之が主任として勤務せり、其の後日露戰役には第二軍に従つて出征し功に依り一等看護長勳七等を賜はれり退役後直ちに店務に歸り恪勤せるものにて氏は宮本儀助氏生家の

〔み〕

婿養子となりてしん女を配せられ長女光子女を擧げたるがしん女は大正七年五月病歿せり、昭和三年五月退店して分家となり同年八月現會社を設立して本業を開始し以つて今日に及ぶ、溫和にて好紳士たり。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻女タマ女 明治三十年六月二十二日生、大正十年結婚。長女光子女 大正二年五月十二日生京都二條高等女學校在學。

【主なる親戚】 本家宮本儀助氏 京都市松原通鳥丸東入、升儀商店主。實兄山内武兵衛氏 京都市間々町上珠敷屋町北入妻女實家前田定次郎氏 京都市神泉苑町御地下ル青物問屋兼中央市場理事。妻女姉縁先内山善吉氏 京都市佛光寺通室町東入金物問屋。

宮井理一郎氏

明治三十三年四月四日生

【營業】 銘仙及モスリン中形小賣めいせんや店主

【營業所】 東京市京橋區南傳馬町二丁目六番地 電話 京橋三〇五

【住所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代定次郎氏の長男にして昭和四年四月先代病歿せるにより家督を相続せるものなり、之より先昭和二年二月頃より同店の一部を區切りてモスリン小賣部をも併設し先代の次息此を擔當し爾來交互に仕入を擔當する等目實弟二名も店務に従事し居りて兄弟協力經營に努力しつゝあり。

【所得税】 一五圓 【營業收益税】 四二圓

【家庭】 母アサ女 明治二十三年七月二十九日生。妻コト女 明治三十五年七月四日生。長男益太郎氏 大正九年二月一日生。長女隆子女 昭和四年八月二十五日生。弟慎三氏 明治四十年一月一日生。妹正子女 大正五年一月一日生。

【主なる親戚】 京橋區南傳馬町二丁目京屋モスリン店主宮井昇治郎氏(實弟)。京都市下京區東九條上殿田町四五藤田辰之助氏(妻女實兄)。

三浦芳造氏

明治十三年十二月五日生

【營業又】 各種縮織物卸合資會社小津木綿店無限代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目二番地電話(浪花一〇八)

【住所】 同 所

【本籍地】 三重縣飯南郡漕代村大字早馬瀬十八番屋敷

三宅俊雄氏

明治二十七年十月九日生

【營業】 吳服太物小賣商紀伊國屋吳服店主

【營業所】 東京市日本橋區蠅殼町二丁目八番地電話(茅場町三七六)

【住所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區蠅殼町二丁目二十一番地

【略歴】 氏は長野縣西筑摩郡檜川村四二七萩原半次郎氏の長男として生れ十四歳の時上京して日本橋區新材木町織物問屋松下合名會社に奉公せしが格勤にして精勵の聞あり二十六歳の時蠅殼町水天宮前越後屋吳服店三宅伸次郎氏の婿養子となりて養父の業を補佐し大正十三年養父の隱居するに及びて其の跡を繼承し營業を擔當して今日に至れり、氏は手腕力量の人にして現時店員七名を使用し熱心經營の任に當り居りて前途益々仲展を期し居れり。

【趣味】 觀劇 【宗教】 眞言宗 【所得税】 三八圓

【營業收益税】 六七圓

【家庭】 妻みや女 明治三十一年二月二十八日生三宅伸次郎氏長女。

【主なる親戚】 弟妻兄久我由松氏 日本橋區新材木町十一

〔み〕

【略歴】 氏は三重縣の出身にして三浦淺次郎氏の次男なり、明治二十七年十四歳にして小津木綿店に奉公し爾來忠勤精勵の結果同店支配人に擧げられ昭和四年一月同店が合資組織となるや其の無限代表社員となり以つて今日に及ぶ、日露戰役には第三師團所屬にて出征し凱旋後勳八等に敘せらる、大正五年四月三重縣飯南郡漕代村池田文友氏長女靜重女と結婚し一男一女を擧げたるも靜重女及び長女芳子女は大正七年共に病歿せり。

【宗教】 淨土宗

【家庭】 家族は皆郷里三重縣に在住す。妻女雅女 明治三十年二月五日生、三重縣飯南郡漕代村醫師志賀友清氏三女にして東京市芝區香蘭高等女學校卒業、大正十年一月三日三浦氏に嫁す。長男武男氏 大正五年四月三日生、松坂工業學校在學中。長女初江女 大正十年一月八日生、二女君江女 大正十四年二月二十七日生。三女愛子女 昭和二年九月二十一日生。

【主なる親戚】 三浦善三郎氏 横濱市中區辨天通二丁目十三番地電燈傘貿易商、芳造氏實兄。

【み】

三原順三郎氏

明治二十六年四月二日生

【營業】 吳服太物小賣商まるはら吳服店主
【營業所】 府下南葛飾郡龜戸町龜戸二丁目電話(隅田五九)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區蛸殼町三丁目十二番地

【略歴】 氏は三原新兵衛氏の三男として日本橋區新材木町に生る十四歳より芝區櫻田本郷町豊田屋吳服店に奉公し二十六歳の時圓滿退店して日本橋區蛸殼町に獨立開業し羅吳服商を營む大正十二年十月現所に移轉して吳服太物小賣商を始め漸次伸展して今に至る屋號をまるはら吳服店と稱し店員六名を使用す、土地の有力店舗として店勢活氣あり、氏は溫和着實なる採算家にして利に敏く仲々如才なき人物なり常に店員に伍して活動し居れり。

【趣味】 書畫 【宗教】 眞宗 【所得稅】 二七七圓
【營業收益稅】 一一二圓

【家庭】 妻たみ女 明治三十四年十二月十四日南葛飾郡瑞江村上今井谷口寅藏氏長女。長女薰子女 大正十一年四月二十六日生。二女昌子女 大正十二年十二月十五日生。長男鍊太郎氏 大正十五年二月十一日生。四女幸子女 昭和四年十一月二十九日生。

【主なる親戚】 鹿島徳太郎氏 赤坂區傳馬町一ノ三。

三上宇三郎氏

明治十五年五月二十三日生

【營業】 風呂敷卸
【營業所】 東京市日本橋區彌生町五番地 電話(浪花五〇)
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區橋町三丁目九番地

【略歴】 氏は滋賀縣神崎郡南五個莊村大字七里三上伊右衛門氏の四男にして明治四十四年九月前戸主三上つ女隱退したるに因り家督相續す年少の頃長兄の勤務先たりし小樽榎本吳服店に奉公し後由良要塞砲兵隊に入營日露戰役に從軍して戰功により金鷄勳章を賜る、凱旋後大阪府南本町洋反物松田宗商店に勤務せしが大正元年上京し三年の後本業を開始して今日に及ぶ。

【趣味】 讀書、旅行 【宗教】 眞宗
【營業收益稅】 一〇〇圓

【家庭】 妻すが女 明治二十五年一月三十日生。
【主なる親戚】 川島定兵衛氏 妻里方、大阪市東區北久太郎奈政雄氏 靜岡縣三島町(妻女の兄)

町一丁目。望月青鳳氏 妻從兄、淺草區菊川町、畫家。塚本猶義氏 妻從兄、神田區多町二丁目荒物商。

三上彌之輔氏

明治三十一年九月二十四日生

【營業】 毛織物仕立品卸小賣
【營業所】 東京市神田區柳原河岸十一號地 電話(浪花五七)
【住所】 東京市神田區柳原河岸十一號地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は淺草區田島町二丁目五十一番地亡三上彌一郎氏の長男にして十四歳の時より神田區柳原毛織物卸商本郷鐵之助商店に入り、勤務十六年の久しきに及び大正十五年一月獨立を許され當初神田區富松町十三番地に現業を開始し昭和四年末龜戸町に小賣部を開設し遂に現容をなす昭和六年六月主家(廢業移轉後)の營業所たりし現所に移轉したるものなり資性着實にして一般印象佳なり。

【所得稅】 五〇圓 【營業收益稅】 七〇圓
【家庭】 母よね女 明治十一年二月十日生。妻民子女 明治三十五年十一月五日生。二女彌枝子女 昭和三年三月三十日生。弟彌三郎氏 明治四十年九月十五日生。弟彌五郎氏 大正六年三月二日生。

水野錦吾氏

明治五年八月十五日生

【營業】 吳服太物子供服既製品卸三川屋吳服店主
【營業所】 東京市淺草區北仲町一番地 電話(淺草三三)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は尾張の人亡水野敬忠氏の長男にして明治十六年上京し下谷區金杉上町三川屋吳服店に入り同二十八年迄在店して淺草區馬道町に獨立最初小規模に經營せしが明治四十一年現所に進出と共に業容を擴張せり。

【所得稅】 二〇二四圓 【營業收益稅】 三三六圓
【地租】 九二圓
【家庭】 妻さく女 明治十年九月十八日生。長男錦治郎氏 明治三十二年三月三日生。錦治郎氏妻美鶴女 明治三十七年二月十六日生。婿養子貳三郎氏 明治三十二年九月十日生。長女喜久女 喜久女夫本郷區本郷三丁目八番地に同業を營む。長女喜久

〔み〕

女 明治三十七年三月十二日生。二男作次郎氏 明治四十三年一月四日生。三男喜三郎氏 大正二年二月十二日生。錦治郎氏 長女ふみ江女 大正十四年七月十八日生。同二女みち江女 大正十五年十月十日生。同長男泉治氏 昭和三年七月二十九日生。

【主なる親戚】 紅谷市右衛門氏 妻女里方、千葉市。飯塚由次郎氏 美鶴女里方、牛込區横寺町七番地。岩田惣太郎氏 貳三郎氏里方、埼玉縣兒玉郡賀美村。高橋金次郎氏 二女ミネ女夫、市外西巢鴨町池袋千七百四十二番地。

水村 浩 治 氏

明治二十一年九月二十八日生

【營業】 モスリン小賣紅屋めりんす店主
【營業所】 東京市四谷區新宿三丁目三番地 電話(四谷1101)
【住所】 同 所
【本籍地】 埼玉縣川越市大字川越三百五十四番地

【略歴】 氏は埼玉縣川越市亡水村岩三郎氏の二男にして年少の頃東京市日本橋區彌生町島田利右衛門商店に奉公し勤続十三年に及びて大正七年退店同區高砂町に合資會社共茂商店を設立しモスリン生地を営みたるが同十年會社を解散して其の

後單獨にて斯業に精勵し翌十一年十二月現所にモスリン小賣店を開業す、川越市に於ける生家家督は長兄卓三氏相續し居りて浩治氏は未だ分家し居らず。

【營業收益稅】 一二六圓
【家庭】 妻女房女 明治三十三年五月三十日生。大正九年五月婚姻す。長女喜美子女 大正十四年三月八日生。
【主なる親戚】 水澤平兵衛氏 妻女里方、山形縣北村山郡高根村大字白鳥。

水谷 光 治 郎 氏

明治二十二年一月四日生

【營業又】 手拭伴經加工卸商合資會社水谷商店代表社員
【營業所又】 東京市日本橋區大傳馬町一丁目十二番地 電話(浪花560)
【住所】 同 所
【本籍地】 三重縣河藝郡神戸町石橋十一番地

【略歴】 氏は先代水谷新兵衛氏の五男にして本籍地に生る十三歳にて上京し市内日本橋區大傳馬町木綿問屋川喜田商店に入り恪勤二十六年に及びたり、大正十二年震災直後主家を圓滿退店すると共に同時に退店せし同輩を雇用し取り敢えず關西より引荷して主家の地盤を辿り斯業を開始して今日に至

る。

【宗教】 眞宗 【營業收益稅】 一二六圓

【家庭】 妻たつ女 明治二十六年十一月生 住町中組八九八山口千太郎氏長女。長女雪子女 大正二年一月生 住潤徳高等女學校昭和五年三月卒業 目下家庭に在り。二女てる女 大正七年八月生、千住尋常小學校六年在學。三女ふみ女 大正十五年十二月生。實兄兼戸主水谷新兵衛氏同妻女せい女の兩氏は本籍地に在りて農蠶具雜貨商たり夫妻の仲に子供なし。
【主なる親戚】 従兄川田伊三郎氏 株式會社長谷川商店重役住宅三重縣津市門前町。義兄牧野清藏氏 三重縣河藝郡神戸町に在りて同町役場助役たり。實弟川田房太郎氏 三重縣津市に在りて百五銀行頭取川喜田久太夫氏秘書役たり。

美濃部 五三郎 氏

明治二十九年六月一日生

【營業】 風呂敷加工卸商
【營業所】 東京市日本橋區通旗籠町十六番地 電話(浪花8031)
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京都市上京區衣棚通り姉小路上る美濃部五郎兵

衛氏の三男にして大正九年十二月分家して一家を成す、十二歳の頃より京都更紗商村田菊次郎商店に奉公し同店整理廢業と共に十七歳の頃上京日本橋區通油町風呂敷卸商中村三平商店に七ヶ年勤続、大正八年同區元本材木町京吳服卸商岩田チヨ女に入夫婚姻せしも翌九年離婚同年本業を開始す。

【所得稅】 一一圓 【營業收益稅】 一八圓
【家庭】 妻アイ女 明治三十七年九月二十七日生。長男五平氏 大正十一年十二月二十一日生。長女家壽子女 大正十三年十月二十一日生。二男八郎氏 大正十五年一月二十六日生。二女友子女 昭和五年三月三十一日生。
【主なる親戚】 芳村順仁氏 妻女里方、京都市上京區東堀川通榎木町上ル五丁目二〇九番地。

溝呂木 嘉助 氏

明治二十七年六月二十日生

【營業又】 吳服太物小賣合名會社稻喜屋吳服店代表者
【職業名】 東京市本郷區駒込動坂町百九十九番 電話(小石川55元)
【營業所又】 同 地
【住所】 同 所
【本籍地】 神奈川縣高座郡茅ヶ崎町茅ヶ崎一萬三千三百三十三番地

【略歴】 氏は神奈川縣茅ヶ崎溝呂木福次郎氏の二男にして十

〔み〕

【み】

二歳の時同縣藤澤町稻元屋吳服店寺田忠七氏方に奉公し約十年間修業なしたるが後上京して深川區門前仲町扇屋吳服店に入りて番頭となり在店三年にして大正十一年六月退店獨立の上現所に開業せり爾後順調を辿りたるが昭和二年四月に至り次弟俊一氏と共に資本金十萬圓の合名會社稻喜屋吳服店を設立し同三年四月には市外龜戸町に更に同四年六月には市外三河島町に夫々支店を設置せり、然るに昭和五年一月には氏の主家筋に當る寺田博氏の經營せる本所區吉田町の稻元屋吳服店を買収し前記合名會社稻喜屋吳服店とは別個に資本金八萬圓の合名會社稻元屋吳服を創立し自身の經營に移して以て今日に及べり。

【宗教】 淨土宗 【所得税】 一一一圓

【營業收益稅】 一一二圓

【家庭】 妻女ハル女 明治三十三年二月十二日生、神奈川縣高座郡茅ヶ崎町茅ヶ崎尾高米次郎氏の二女にして大正十三年五月溝呂木氏と婚姻す。長女繁子女 大正十三年七月二十五日生。長男商太郎氏 大正十五年五月二十二日生。

【主なる親戚】 溝呂木松藏氏 淺草區黒船町自動車業(實兄) 溝呂木俊一氏 市外龜戸町支店擔當(實弟)。溝呂木安治氏 淺草區材木町周旋業(實弟)。辻秀三氏 日本橋區通二丁目悉

皆業(實妹の夫)。

しの部

白石甚兵衛氏

元治元年十二月二十七日生

【營業名】 毛斯綸洋反物問屋株式會社白石甚兵衛商店取締役社長

【營業所又】 東京市日本橋區新乗物町二十番地

【は勤務先】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花三三〇)

【住 所】 東京市日本橋區濱町二丁目十一番地 電話(浪花三三〇)

【本籍地】 東京市日本橋區新乗物町十五番地

【略歴】 氏は先代甚兵衛氏の長男にして明治二十三年家督を相續せり店業は先代の創業に係り夙に洋織物を營み努力精勵當家の基礎を起せしものにして氏は又其遺業を繼ぎ益々家運を恢弘し大正十二年には資本金百萬圓の株式組織に改むるに及び之が社長として今日に及びり現時同店は東西斯業界に於ける一流店として萬人の認むる處なるは元より商勢及び業礎に於て良く其の面目を全し且つ又東京モスリン紡織株式會社の創業に力を盡し現時三男徳三郎氏は同社の常務取締役たり而して有形無形業界の振興に努力せる功は枚擧に暇あらず斯界の長老として推さるゝ亦宜なりと謂ふ可し。

【趣味】 書畫、骨董 【宗教】 禪宗

【所得税】 五〇一〇圓

【家庭】 妻ます女 慶應三年十二月十六日生。二男萬吉氏 明治二十三年三月四日生。同妻嘉津女 明治三十六年十二月十二日生。婿養子四郎氏 明治二十一年五月二十日生。長女信女 明治二十五年五月三十日生(養子四郎氏妻) 三男徳三郎氏 明治三十年一月二十九日生。四郎氏長女榮女 大正七年五月二十七日生。同二男増次氏 大正八年十一月二十四日生。同二女喜海子女 大正十年六月十三日生。萬吉氏三女幸女 大正十三年七月七日生。同四女文女 大正十四年十二月十八日生。四郎氏三男章氏 大正十五年一月七日生。同三女貞子女 昭和二年九月十六日生。萬吉氏長男春太郎氏 昭和二年十一月八日生。徳三郎氏妻好子女 明治三十五年八月十六日生。四郎氏四男經四郎氏 昭和四年六月十三日生。萬吉氏五女圭女 昭和四年十二月二十六日生。徳三郎氏長男裕之助氏 昭和五年七月十五日生。四郎氏四女正子女 昭和六年四月十七日生。

【主なる親戚】 妻女實家利田三郎氏 府下荏原郡南品川二三七。義弟淺野重次郎氏 東京市日本橋區濱町二丁目同店常務取締役。分家白石彦太郎氏 (二女とし夫) 東京市小石川區久堅町六七。杉村甚兵衛氏、白石萬吉氏、白石徳三郎氏各欄参照。

【主なる出身者】 須田鐵次郎氏 東京市日本橋區堀留町洋反

物卸商。

白石萬吉氏

明治二十三年三月四日生

【職業】 毛斯綸洋反物問屋株式會社白石甚兵衛商店副社長

【職務】 東京市日本橋區新乗物町二十番地 電話(浪花六三・五七六・一七)

【住所】 府下豊多摩郡落合町下落合千三百六十七番地 電話(大塚三七)

【本籍地】 東京市日本橋區新乗物町十五番地

【略歴】 氏は白石甚兵衛氏の二男として生れ白石家の相續人たり中學校卒業後父業に就き精勵せる事多年現時株式會社白石甚兵衛商店副社長として内外に重きをなし其の温厚なる風格と優れたる才腕とは同店の業容と相俟つて業界に於ける多大の信望を博し居れり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 五九三圓

【家庭】 妻嘉津女 明治三十六年十二月十二日生。三女幸女 大正十三年七月七日生。四女文女 大正十四年十二月十八日生。長男春太郎氏 昭和二年十一月八日生。五女圭女 昭和四年十二月二十六日生。

【主なる親戚】 妻女實家大塚藤七氏 東京市神田區佐久間町三ノ三素封家。白石甚兵衛氏並に白石徳三郎氏欄参照。

白石徳三郎氏

明治三十年一月二十九日生

【職業】 毛斯綸洋反物問屋株式會社白石甚兵衛商店取締役

【職務】 東京市日本橋區新乗物町二十番地 電話(浪花六三・五七六・一七)

【住所】 東京市日本橋區濱町二丁目十九番地 電話(浪花三三〇)

【本籍地】 東京市日本橋區新乗物町十五番地

【略歴】 氏は白石甚兵衛氏の三男にして東京商科大学を卒業後直ちに父業に就きて父甚兵衛氏並に兄萬吉氏を補佐し同店取締役として家業に勵み居たる外東京モスリン紡織株式會社監査役たりしが最近推されて同社の常務取締役に新任し同社更生の爲め努力しつゝあり温厚優雅なる紳士にして業界の新智識たり。

【宗教】 禪宗 【所得税】 一六九圓

【家庭】 妻好子女 明治三十五年八月十六日生。長男祐之助氏 昭和五年七月十五日生。

【主なる親戚】 妻女實家中村茂八氏 東京市日本橋區小網町一ノ七素封家。白石甚兵衛氏、白石萬吉氏、杉村甚兵衛氏欄参照。

白子省三氏

明治二十九年三月二十六日生

【職業】 毛織物切賣商

【職務】 東京市神田區須田町二十四番地 電話(神田三七)

【住所】 同 所

【本籍地】 神奈川縣三浦郡三崎町字六合

【略歴】 氏は白子豊次郎氏の長男にして東京市四谷區に生れ二歳の折實父死亡に依りて家督を相續せり十三歳の折實母又死去せしかば全くの孤兒として同年上京し尾瀬戸洋服店に奉公在店二年にして主家廢業に際し同店出身先輩たる朝夷洋服店に轉じ二十二歳の折實主尾瀬戸氏の實弟が羅紗ブローカーとして獨立するに當り之に参加、約七ヶ年修業せしが後神田雉子町に獨立し爾來斯業を以つて漸進大正十四年九月現所に進出す。

【趣味】 讀書 【宗教】 淨土宗 【所得税】 七〇圓

【家庭】 妻女滿惠女 明治三十六年十一月二十七日生。夫妻の仲に子供無し。

【主なる親戚】 妻女實家丸山一郎氏 大阪市十三貴金屬時計商。妻女實妹縁先服部慶太郎氏 横濱市神奈川區伯樂青物仲買問屋。

澁谷定七氏

嘉永元年十二月一日生

【職業】 八王子織物買繼及關東吳服セル御澁谷定七商店主

【職務】 (支店) 東京市日本橋區富澤町三番地 電話(浪花五七) (本店) 八王子市大横町百三番地 電話(八王子二七〇・二七〇)

【住所】 八王子市大横町百二番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は神奈川縣高座郡高瀬村故澁谷常司氏の長男にして明治二十二年六月家督相續す年少時より同縣愛甲郡厚木町吳服太物商神崎八兵衛商店に奉公し其の非凡の商才を認められて神崎氏養女ソウ女を配せられ退店後は主家援助の下に八王子織物の持下業を開始し刻苦勉勵明治四十一年頃大阪市故竹尾治右衛門氏に引立てられ八王子市に店舗を設置するに至り爾來奮勵怠らず遂に同市織物業者中有數の資産家と稱さるゝに至り正に業界立志傳中の一人なり、大正三年には甲斐絹買繼兼業の爲め甲州北都留郡上野原町に支店を置き更に大正八年には東京市日本橋區富澤町に支店を設け其後更に甲州二ヶ所に支店を設置する等異數の進展を遂げたり。現時既に老境に入りたるも常に本支店間を往復して店務の監督に寧日無し。

〔し〕

【趣味】 政治 【宗教】 禪宗 【所得税】 五〇八八圓

【營業收益税】 一三〇〇圓 【地租】 二〇〇圓

【家庭】 妻ソウ女ハ文久二年一月十八日生、明治十九年九月婚姻。長女ヨ子女ハ明治十五年十月十日生在八王子市、養妹カツ女ハ嘉永六年一月九日生在八王子市。長男正太郎氏ハ明治二十三年一月三十日生、慶應義塾理財科卒業後本店にて従業。婦繁女ハ明治二十五年三月一日生横濱市中村清兵衛氏四女にして正太郎氏夫人なり。孫静子女ハ正太郎氏長女、大正三年八月十七日生第四高女出身。孫正策氏ハ正太郎氏長男大正四年十二月十七日生慶應中學生徒。孫育三氏ハ正太郎氏三男大正九年三月十九日生。

【主なる親戚】 神崎八兵衛氏ハ神奈川縣厚木町(元吳服商)妻女の生家。中村清兵衛氏ハ横濱市子安町三三一(醬油醸造家)婦繁女の里。澁谷正治氏ハ澁谷商店東京支店擔當。

【主なる出身者】 大山巳之助氏ハ八王子市大横町、甲州物産買繼商。

澁谷 正治氏

明治十九年七月十八日生

【營業又ハ職名】 八王子織物關東吳服セル御澁谷定七東京支店支配人

【營業所又ハ勤務先】 東京市日本橋區富澤町二十三番地 電話(浪花)三三三三

【住 所】 同 所

【本籍地】 八王子市大横町八十五番地

【略歴】 氏は東京府西多摩郡西多摩村羽清水喜三郎氏の三男にして年少の頃より八王子市織物買繼御商土屋留次郎商店に奉公し勤続多年に及びしが明治四十三年其の手腕を認められ同市織物買繼商澁谷定七氏息女フサ女の婿養子となり、大正六年九月分家して一家を創立す妻フサ子女との間に一男一女を挙げ日下澁谷商店東京支店の業務と經營一切を擔當しつゝあり、頗る堅實の人にて商手腕に富み同店東京支店の業客が著しく進めるは氏の努力に俟つ事大なり。

【趣味】 書畫骨董 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻フサ女ハ明治十九年七月十八日生。長男幸司氏ハ

明治四十四年四月二十九日生、府立八王子織染學校生徒。長

女きく子女ハ大正二年十一月一日生八王子市第四高女在學。

【主なる親戚】 養父澁谷定七氏欄参照。清水福松氏(在澁橋)

公吏。

柴田 源七氏

慶應二年五月九日生

【營業又ハ職名】 京吳服別珍半襟卸株式會社九太柴田商店取締役社長

【營業所又ハ勤務先】 東京市日本橋區葺屋町六番地 電話(浪花)三六七

【住 所】 滋賀縣坂田郡六莊村大字室二十六番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は亡柴田九峯氏の長男にして明治十六年家督を相続す、家業は約二百年前の創始にして爾來連綿として續き大正七年十二月一族及古參店員を以て株式會社に組織を改め郷里滋賀縣六莊村に本店を置き東京京都大阪に支店を設く業勢日に旺なり氏は夙に東京法學院に學び家業を統率する傍ら長濱貯金銀行頭取、近江ベルベット及東京ベルベット各監査役として實業界に重きをなし内外の信望を加へ居れり。

【趣味】 書道 【宗教】 眞宗 【所得税】 四一四二圓

〔し〕

【家庭】 妻しう女ハ明治四年十二月二十一日生。三男哲之助氏ハ明治三十四年九月十七日生同社取締役。四男四郎氏ハ明治四十二年八月三日生。五男五郎氏ハ明治四十三年八月三日生、盛岡高等農林學校在學。哲之助氏妻女つる女ハ明治四十

柴田 直吉氏

明治十三年十一月十一日生

【營業又ハ職名】 吳服太物小賣中島屋吳服店大久保合名會社代表社員

【營業所又ハ勤務先】 東京市京橋區八丁堀仲町三番地 電話(京橋)三三三三

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代大久保直吉氏の長男なるが先代の大久保家入婿の際の約束に基き先代生家の柴田姓を名乗る。而して先代の歿後氏を中心として二男藤田直次氏三男大久保多喜次氏の三氏によつて現合名會社を組織し氏がその代表社員として事實上同店の實權を握り順調なる業勢を辿りつゝ今日に至れり。因に氏は約八年間日本橋區元濱町綿物商外山彌助商店に奉公して斯業の經驗を積みたるもの性温厚着實にして内外の

〔し〕

印象頗る良好なり。曩きに東京吳服商同業組合長に推されて就任したり。

【趣味】 盆栽 【宗教】 眞宗 【所得税】 八一圓
【地租】 一五一圓

【家庭】 妻女キン女 明治十九年十一月三日生日本橋區通旅籠町芳賀吉之助氏妹。長男英一郎氏 明治三十九年十二月五日生慶應大學經濟科卒業店務從業。二男誠壽氏 明治四十五年二月九日生慶應大學經濟科在學。二女智恵女 大正五年二月二十一日生。三男育四郎氏 大正六年十二月六日生。

【主なる親戚】 日本橋區通旅籠町織物問屋芳賀吉之助氏。同區富澤町二八無職前田兼七氏。同區堀江町一疊表問屋和田直兵衛氏。

【主なる出身者】 日本橋區蠅殻町二丁目吳服商服部米藏氏。同區人形町通り吳服商川島直之助氏。京橋區木挽町吳服商山田金藏氏。日本橋區富澤町織物問屋大橋安次郎氏。

柴田安吉氏

明治十八年十二月六日生

【營業又職名】 京吳服別珍半襟卸株式会社九太柴田商店取締役東京支店長

〔し〕

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區葺屋町六番地 電話(浪花)三六七
【住 所】 府下荏原郡入新井町新井宿二千六百八十二番地 電話(大森)三四〇

【本籍地】 京都市中京區室町通三條上ル役行者町三百六十六番地
【略歴】 氏は滋賀縣坂田郡六莊村大字大辰巳中川榮助氏の長男にして大正三年一月柴田源七氏の一族柴田初女と入夫婚姻して同時に家督を相続す、夙に丸太柴田商店に入り東京支店の吳服掛として忠勤怠り無かりしが後同店取締役となりて現在東京支店長たり。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二二二圓
【家庭】 妻初女 明治二十八年十二月二十一日生。長男榮一氏 大正七年三月二十日生。二男隆三氏 大正十一年二月二十三日生。三男陽三氏 昭和二年一月二十二日生。
【主なる親戚】 中川安次郎氏 農業實兄。滋賀縣坂田郡六莊村。柴田源七氏欄參照。

柴田清之助氏

明治十四年三月二十一日生

【營業又職名】 關東吳服並に綿織物卸株式会社松下商店事務取締役
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區新材木町十四番地 電話(浪花)九〇三

大助教授。

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市日本橋區濱町三丁目一番地

【略歴】 氏は長野縣人亡柴田寅次郎氏の四男にして明治四十三年六月實兄柴田柴太郎氏より分家して一家をなす、明治二十七年五月松下商店に入りて先代松下岩雄氏の薫陶を受くる事多年忠勤怠らずして信認を受け大正八年四月先代歿後合名組織となるや其の出資社員に加はり昭和五年十一月現組織となるに及びて専務取締役に擧げらる業界稀に見る忠實熱心の人にして始終同店内に起居し店員を督勵して今日に及ぶ。

【趣味】 書畫骨董 【宗教】 眞宗 【所得税】 三九圓
【家庭】 妻やすい女 明治二十七年二月一日生、松本高女卒業長女はな子女 明治四十四年四月九日生、武藏野女子學院卒三女文子女 大正五年七月生、府立家政女學校在學中。四女國子女 大正七年十一月二十五日生、女子職業學校在學中。五女和江女 大正十一年三月十一日生。六女良枝女 大正十三年三月二十七日生。八女智恵子女 昭和三年四月二十日生。

【主なる親戚】 柴田柴太郎氏 實兄、大阪市東區龍善寺町三三。中野象太郎氏 妻里方、長野縣南安曇郡倭村。百瀬一氏 從兄醫博、兵庫縣今津町。荒井實氏 從兄醫博、東京帝

柴田武治氏

明治二十一年十二月七日生

【營業】 毛織物及裏地直輸入販賣柴田絨店主
【營業所】 東京市京橋區銀座二丁目二番地ノ八 電話(京橋)三三六
【住 所】 府下蒲田町北蒲田宮前八百四十六番地電話(蒲田)四六六
【本籍地】 東京市京橋區銀座二丁目二番地ノ八

【略歴】 氏は東京府士族亡柴田光之助氏三男にして昭和三年十月十日家督相続をなす、明治四十二年大倉高等商業學校本科を卒業し現時亡父の遺業を經營せる傍ら株式會社米田屋商店取締役社長たり、稀に見る濃厚篤實なる紳士として知らる

【趣味】 スポーツ、讀書 【宗教】 眞宗
【所得税】 一七〇二圓
【家庭】 繼母まつ女 慶應二年十二月八日生、東京府人亡林彦次郎氏二女、明治二十六年七月十一日婚姻入籍。妻鈴女 明治三十年八月二十三日生、東京府人岡崎橋彌氏三女、大正三年六月二十五日婚姻入籍。長男武俊氏 大正四年十月二十八日生。二女婦美女 大正九年二月二十五日生。三女豐子女 大正十一年九月九日生。

〔L〕

【主なる親戚】 義父岡崎橋彌氏 芝區新幸町一。實弟美佐雄氏 明治二十三年七月十九日生、昭和三年十一月二十三日分家、京橋區銀座二丁目六番地に現住。實弟三之助氏 明治三十年三月三日生、昭和三年十一月十二日京橋區銀座二の六に分家す。實弟益四郎氏 明治三十一年九月二十八日生、昭和三年十一月十九日京橋區銀座二の六に分家。

柴崎三之助氏

明治六年十月八日生

【營業名】 半襟、吳服小賣り四店主

【營業所又】 東京市京橋區銀座四丁目一番地七號 電話(京橋區) 〇六〇

【住 所】 東京市赤坂區青山南町六丁目二十六 電話(青山區) 〇六〇

【本籍地】 東京市京橋區銀座四丁目一番地七號

【略歴】 氏は府下南多摩郡稻城村大丸八三四番地農大久保七郎右衛門氏の三男にして明治三十四年八月七日柴崎家の養子となり同月十五日養母ゑん女の妹にして柴崎家の養女である女と婚姻す而して明治三十九年一月十六日前戸主ゑん女隠居したるにより家督を相続して現在に及ぶ、氏は年少の頃より京橋近江屋呉服店に奉公本業を習得せる人にして性着實温厚にして營業は多り圓の屋號を以つて聞ゆ。

【趣味】 味覺 【宗教】 淨土宗 【所得稅】 四六四五圓

【營業收益稅】 一一七六圓

【家庭】 妻女である女 京都市下京區京極町松村清七氏妹明治十年十月二十一日生明治二十一年一月十二日柴崎家の養女となる。長男吉太郎氏 明治三十七年二月九日生、店務擔當。二男慶次郎氏 明治三十八年十一月二十三日生、大阪商大出住友銀行西支店勤務。四女たか女 明治四十四年四月十三日生跡見高女卒。五女とく子女 大正元年十一月二十日生、跡見高女卒。吉太郎氏妻澄子女 赤坂區青山北町前玉川屋吳服店主小島亮一氏妹明治四十一年一月三日生。吉太郎氏長女禮子女 昭和四年三月五日生。

【主なる親戚】 大久保文吉氏 府下南多摩郡稻城村大丸。小島亮一氏 赤坂區青山北町。松下岩雄氏 日本橋區新材木町十四番地。

【主なる出身者】 望月良三氏 日本橋區葎町、半あり小賣商

柴本鐘吉氏

明治十一年十一月二十二日生

【營業名】 百貨店株式會社高島屋東京支店營業部長

【營業所又】 東京市京橋區南傳馬町一丁目五 電話(代表京橋區) 二五〇

【住 所】 府下豊多摩郡千駄ヶ谷町四百七十番地

【本籍地】 東京市本所區東兩國二丁目二番地ノ六

【略歴】 氏は亡柴山録次郎氏の長男にして明治四十三年六月平野ハナ女と婚し四男三女を擧げたるも大正八年十月妻女は逝去せられ昭和二年二月父録次郎氏の隠居によりて家督を相続す、現時同店營業部長にして人格識見高く各方面に好評あり。

【宗教】 佛教

【家庭】 母ミチ女 安政六年五月十二日生。妻幸女 明治二十三年二月二十八日生本所區小泉町三十二佐竹治氏四女。長女美彌女 明治四十五年六月十一日生。二男錦次氏 大正五年十一月十四日生。二女時子女 大正八年九月二十一日生。三男良三氏 大正十一年八月五日生。三女美佐女 大正十二年十二月二日生。四男修助氏 大正十四年七月三十日生。【主なる親戚】 妻兄佐竹治氏 前掲。伯父金子晋次郎氏 浅草區平右衛門町一。

島田利右衛門氏

明治八年四月一日生

【營業名】 毛織物既製品風呂敷卸株式會社島利商店代表取締役

【營業所又】 東京市日本橋區彌生町二番地 電話(浪花区) 〇〇〇

【住 所】 神奈川縣鎌倉郡鎌倉町海岸通

【本籍地】 東京市日本橋區彌生町二番地

【略歴】 氏は先代利右衛門氏の二男にして明治二十五年二月四日先代の死亡に因り家督を相続し翌年吟次郎を利右衛門と襲名す温厚篤實なる紳士なり、今尙ほ同店が店格ありて有力なる出身者を多數輩出せるは氏の徳望あるが爲なる可し、現在は毛織物に力を入るゝと共に婦人コート既製品卸並に風呂敷小物加工を爲し主として市内百貨店を得意とせしが往年迄は毛織物洋反物の巨商として名ありしものなり、現時營業に關與せず店員小山三郎氏之を繼承し居れり。

【趣味】 碁、讀書 【宗教】 門徒眞宗

【所得稅】 四五二圓

【家庭】 妻リウ女 明治十三年九月十二日生。長男利一氏 明治三十四年六月二十四日生上掲。四女秀子女 明治四十四

〔L〕

〔L〕

年十一月四日生三輪田高等女學校卒業。

【主なる親戚】 細川鎌吉氏 深川區千田町三百七十長女和女婚家、地主。鈴木岩次郎氏 日本橋區久松町大七商店主、二女八重女婚家。佐々木正雄氏 北海道釧路市大字眞砂五六、三女榮子女婚家。皆川芳造氏 市外大井町妻女里方。

【主なる出身者】 鈴木安之助氏 日本橋區元濱町鈴安商店主毛織物既製品卸、高木鶴吉氏 同區久松町モスリン卸、數野豊吉氏 同町毛糸卸、中野彌一氏 同町羅紗卸、犀川儀平氏 彌生町毛織物特殊物製織卸、生井伊四三氏 神田區橋本町、羅紗卸。田中泰藏氏 日本橋區彌生町、羅紗卸。佐藤三郎氏 同、同。松田永松氏 神田區富松町、毛織物既製品卸。鈴木岩次郎氏 上掲姻戚参照。荻原啓助氏 名古屋市西區伊倉町毛糸卸。水村浩治氏 四谷新宿紅屋モスリン店主。今井四郎氏 市内四谷區鹽町花屋モスリン店主。

島田 茂氏

明治三十一年六月一日生

【職業名】 毛織物卸小賣合名會社島田商店代表者

【營業所】 東京市日本橋區通二丁目一番地 電話(日本橋三三三)

【住 所】 東京市日本橋區吳服橋二丁目五番地

【本籍地】 東京市日本橋區通二丁目一番地ノ一

【略歴】 氏は淺草區山谷町四十三番地川村新吉氏の三男にして明治四十三年島田商店に奉公し爾來忠勤意らざりしより囑望せられて大正十五年四月島田家の養子となり同年同月十二日前戸主はな女の隠居によりて家督を相続せり、妻女宇多子女は赤坂區青山北町四丁目九十四番地亡新鐵太郎氏の長女にして大正十五年四月茂氏と婚姻す、營業は大正十五年七月二十日合名會社に組織を變更し資本金五萬圓にして茂氏二萬圓宇多子女三萬圓の出資なり。

【趣味】 釣、旅行 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 會社二、〇三三圓

【家庭】 妻宇多子女 明治三十六年二月十六日生、生花に堪能。長女茂登子女 大正十五年一月三十一日生。二女和子女 昭和三年一月二十二日生。三女孝子女 昭和四年十月七日生。

【主なる親戚】 安達仁造氏 府下田園調布九番地、會社員。

島田卯之助氏 京橋區築地二丁目、貸席業。

【主なる出身者】 佐久間彦次郎氏 神田區須田町毛織物卸。

中村幸吉氏 京橋區銀座西四丁目、毛織物卸。藤崎力藏氏 神田區豊島町、毛織物卸。

島村友三郎氏

明治十四年七月四日生

【職業名】 毛織物既製品卸合資會社島村商店代表社員

【營業所】 東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 東京市神田區東龍閑町九番地

【略歴】 氏は先代友三郎氏の長男なり、神田區東龍閑町九番地に生れ十四歳の時神田區須田町古着卸永濱庄左衛門商店に入り八年間斯業を見習ひたる後圓満退店して家業に従事中大正六年先代病歿せるため家督相續襲名して今日に至る。由來同店は土手の島友と稱せられ潰屋界の老舗にして北海道方面に鞏固たる地盤を有する事は他店の追隨を許さざるところなり、當主の性格は濃厚にして人望厚く従前京濱同盟會副會長及第四部長に就任せし事數回業界に盡碎しある事顯著なり。

【趣味】 觀劇、旅行 【宗教】 眞宗 【所得税】 七四三圓

【家庭】 母屋壽女 文久二年三月九日生。妻いと女 明治二十年十一月三日生。淺草區西仲町質商先代柿沼山兵衛氏長女長女佐枝子女 明治四十二年二月二十四日生。牛込區通寺町五九番地砂糖卸商田村盛吉氏の長男盛一氏と婚姻入籍。三男

島崎 清作氏

明治十年四月四日生

【職業名】 秩父織物買繼柿原萬藏商店東京出張所支配人

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町十二番地 電話(浪花三三三)

【住 所】 東京市赤坂區田町七丁目二番地

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は埼玉縣秩父郡小鹿野町大字小鹿野十六番地亡濱田竹次郎氏の二男なるが明治三十九年九月十一日島崎鐵五郎氏二女はる女の婿養子となり現姓を名乗る而して柿原萬藏商店前々支配人亡濱田久兵衛氏の甥に當る關係上明治二十四年七月秩父柿原本店に奉公し今より約二十五年前東京店詰とな

〔L〕

り震災後柿原商店通旗籠町店と區別するため現所に柿原萬藏商店出張所の設置さるゝや同所の支配人となり今日に至る資性忠實精勤家として知らる。

【趣味】 園芸 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 五〇圓
【家庭】 妻はる女 明治十四年十二月六日生、島崎鐵五郎氏二女。

【主なる親戚】 島崎鐵五郎氏(在赤阪田町)妻女の兄。濱田利助氏埼玉縣小鹿野町(實兄)。

篠原榮吉氏

明治十五年五月五日生

【營業】 風呂敷、手中、別珍小物卸商
【營業所】 東京市日本橋區岩代町一番地 電話(浪花美)〇〇〇
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は秋田縣佐竹の亡篠原正氏の四男にして大正八年一月分家す父正氏は舊佐竹藩士にて維新後結城藩の家老水野氏を頼りて結城町に止まる榮吉氏は夙に上京木綿金巾問屋柏吉石川商店に入り格勤十六年の後明治四十年圓滿退店獨立斯業を開始し爾來順調に進展して今日に至る現在同町會長及

東京青年團理事其他の公職にあり資性温容業界に信望あり。

【趣味】 野球、園芸 【宗教】 禪宗
【所得税】 九九圓 【營業收益税】 九五圓

【家庭】 妻薰女 明治二十六年四月二十二日生。二男昇氏 明治四十五年五月十八日生中央商業學校出身。三男隆氏 大正六年四月十五日生(昭和六年九月病歿)。長女絢子女 大正十年一月十六日生。四男誠氏 大正十一年四月二十七日生。二女昌子女 大正十四年七月十一日生。五男庸氏 昭和四年七月三十一日生。

【主なる親戚】 妻女の實兄山田冬藏氏本所區綠町食料品商。氏の従弟須田善次氏横濱市曙町地主市會議員。妻女の従兄平田四郎氏相州鎌倉小町日本郵船太洋丸船長。

志村賢一郎氏

明治十六年八月一日生

【營業】 吳服卸志村支店
【營業所】 東京市神田區元岩井町二十四番地 電話(浪花三三)〇〇〇
【住所】 同所
【本籍地】 京都市上京區大宮通寺之内下ル東入二丁目四百六番地

【略歴】 氏は岐阜縣稻葉郡三年村亡辻喜一郎氏の五男にして十八九歳の頃上京日本橋區通油町安藤商店に入りたるが同店

在店中明治四十一年五月京都市染物業志村吉兵衛氏に望まれて婿養子となり翌年現所に獨立して今日に至る。

【所得税】 一四五圓 【營業收益税】 一一二圓
【家庭】 妻イト女 明治二十三年五月九日生。長男賢次郎氏 明治四十五年三月二十七日生。長女登志子女 大正四年三月二十八日生。二男惠三氏 大正六年七月十六日生。
【主なる親戚】 辻寶一氏 實家、岐阜縣稻葉郡三年村。

清水滋平氏

明治十六年七月二十一日生

【營業又職名】 半襟服裝品卸清水合名會社代表社員
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區長谷川町三番地 電話(浪花八三)〇〇〇
【住所】 同所
【本籍地】 滋賀縣犬上郡多賀村大字土田八百七十七番地

【略歴】 氏は清水清太郎氏二男に生れ大正十三年一月二十二日實父病歿に因りて家督を相続す、年少より郷里に於て吳服持下商を營み居たる伯父西川増吉氏方に奉公せしが二十一歳の時退店當時高崎市を根據とする持下り業を開始し大正九年長谷川町に店舗を構へたり、而して震災後元濱町に復興資本金三萬五千圓の合名會社を組織し氏は其の代表社員に就任し

昭和五年十一月再び長谷川町に移りて今日に至れり。

【趣味】 義太夫 【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 九二圓
【家庭】 妻トミ女 明治二十六年二月九日生。三女敏子女 昭和三年一月三日生。四女禧子女 昭和四年十二月七日生。
【主なる親戚】 京都市上京區元誓願寺通六軒町西陣機業森虎吉氏 妻女里方。滋賀縣犬上郡多賀村西川直太郎氏(従弟)。同所清水與三五郎氏(伯父)。
【主なる出身者】 滋賀縣蒲生郡八幡町上田虎吉氏(吳服持下商)。

清水新治郎氏

明治二十四年十一月三日生

【營業】 毛斯綸小物加工卸
【營業所】 東京市日本橋區新和泉町二番地 電話(浪花三三)〇〇〇
【住所】 同所
【本籍地】 滋賀縣蒲生郡八幡町孫平治町六十五番地

【略歴】 氏は清水熊吉氏の長男に生る年少時上京して日本橋區田所町半襟卸細田商店東京店に奉公し格勤十六年の後退店大正十年本業を開始す。温厚なる商人なり。

【家庭】 父熊吉氏 文久三年十二月十八日生。母いさ女 萬

〔L〕

〔L〕 延元年二月十日生(昭和六年九月病歿)。妻はるゑ女。明治三十三年四月八日生。長女照子女。大正十四年五月十日生。二女美代子女。昭和二年五月十二日生。二男泰次氏。昭和四年十月二十一日生。

【主なる親戚】 妻父中非常七氏。京都府桑田郡龜岡町旅籠五京都市下京區大黒町二五七安達正藏氏。義兄。滋賀縣神崎郡八幡村西村幸七氏。義弟。島根縣大原郡大東町狩野榮一氏。義弟。

島田千代見氏

明治二十九年三月二十三日生

【營業又職名】 洋反物卸島田東京支店擔當者

【營業所又勤務先】 東京市日本橋區村松町十八番地

【住所】 同所

【本籍地】 福井市大和中町六十二番地ノ一

【略歴】 氏は亡島田圓助氏の八男に生る年少より同地に於て洋反物卸を營む實兄圓次郎氏の下に斯業を見習ひ居りしが震災を機會に上京して當初新乗物町に島田圓東京店名義を以て開業す而して大正十三年十二月九日現妻女を迎へ昭和三年岩代町に移轉し更に現所に轉す。

【家庭】 母むめ女。慶應二年四月八日生。妻しずゑ女。明治三十五年七月二日生。弟繁三郎氏。明治三十八年一月一日生。長女富美子女。大正十四年三月十七日生。婦清子女。明治三十八年十二月二十六日生。繁三郎氏妻。惣英一氏。大正二年七月十二日生。

【主なる親戚】 福井市老松中町四和久本金治氏。妹とめを女夫。福井縣吉田郡松岡村松浦愛三氏。妻女の義兄。

清水彌一郎氏

明治三十六年五月二十八日生

【營業】 綿織物卸

【營業所】 東京市日本橋區堀江町二丁目四番地

【住所】 同所

【本籍地】 京都市衣棚二條上ル堅大恩寺町七百四十一番地

【略歴】 氏は前戸主亡清水彌吉氏長男なり、約三年前上京して日本橋區田所町丸栴市田商店に入り勤続約七年間に亘りしが氏の先輩にして元丸栴商店職員たりし同區長谷川町久留米辨問屋畑龍雄氏が、大正五年九月獨立開店するに及び相次いで圓滿退店し、直ちに畑氏の傘下に入り同店主任格にて約五年間勤続せしも昭和三年實父彌吉氏病歿するに至りしより之を機會に獨立を決意し諸般の準備を整へて同四年五月十五日現

所に獨立せるものなり、性温厚にして着實なる青年紳士たり

【趣味】 野球、將棋

【家庭】 妻はま女。明治四十二年九月十六日生、京都府立高等技藝學校卒業、趣味讀書生花。

【主なる親戚】 従兄清水半兵衛氏。京都市室町二條上ル南入る、織物卸業。

下村嘉吉氏

明治十年十一月十四日生

【營業】 北陸産生地物卸

【營業所】 東京市日本橋區吳服橋二丁目三番地電話(日本橋三三三)

【住所】 東京市芝區高輪南町三十番地 電話(高輪六三三)

【本籍地】 京都市上京區大宮通り元誓願寺北入藥師町三百四七番地

【略歴】 氏は亡下村九兵衛氏の二男にして年少時より京都市某生地物問屋に奉公して斯業を見習ひ約十ヶ年勤続の後退店して家業を繼ぐ、同家は斯業を以て代々の家業となし當時より殆ど三越専門に商内をなし來りしものと説かる、而して大正二年の頃東京に移轉し來りしものなるが當初は日本橋區本材木町に店舗を構へ震災後現所に移轉し現業容を整へり。販路は依然として三越を主としその他一流デパートなるが經營

振り堅實、熱心に從業して徐々に伸展を期しつゝ今日に至れり。

【趣味】 旅行 【宗教】 淨土宗

【家庭】 妻キミ女。明治十一年九月一日生京都市上京區大宮通元誓願寺上ル芥川彦市氏二女。長男秀治郎氏。明治三十一年六月二十三日生同志社大學商科卒業。二男正三氏。明治三十四年十一月二十六日生現在佛國パリに在りて圖案研究中。三男直三氏。明治三十八年五月十三日生慶應大學法科卒業。二女靜子女。明治四十三年二月二十六日生。高女卒。秀治郎氏妻まさ女。明治三十九年三月二十三日生京都市中京區夷川通車屋町東入小將井御旅町今村權七氏妹京都市府立第一高女卒。

【主なる親戚】 京都市片倉三條下ル長野清一郎氏。織物卸。同市烏丸丸太町下ル森脇義一郎氏。織物卸。前記今村權七氏。樂器商。

下島營茂氏

明治二十六年五月十五日生

【營業】 毛織物切賣業

【營業所】 東京市神田區淡路町一丁目一番地 電話(銀座三三六)

〔L〕

【住所】 同

【本籍地】 長野縣上伊那郡中澤村一二五四三番地

【略歴】 氏は長野縣上伊那郡中澤村六七五番地戸主平民下島兼重氏二男に生れ、明治三十六年一月十四日同縣同郡同村一二五四三番地下島晋十氏と養子縁組入籍し同四十四年五月十九日家督相續をなす中年の頃上京し芝區芝口二丁目羅紗切賣商阿部作太郎氏方に入店勤続約七八年の後圓滿退店、大正十三年芝區芝口に獨立し後現所に轉ず、店員約十一名を使用し、自ら第一線に活動しつゝあり、温厚篤實なる紳士なり。

【趣味】 野球 【宗教】 眞宗 【所得税】 三〇圓

【營業收益税】 五六圓

【家庭】 妻女アサ女 明治三十一年六月十一日生、神奈川縣中郡大磯町大磯一五八七番地戸主阿部川辰五郎氏二女、大正十年十月二十一日婚姻入籍。長男榮一氏 大正十年十一月八日生。二男正幸氏 大正十二年十二月二日生。三男信幸氏 大正十四年十一月十八日生。四男照幸氏 昭和二年九月十一日生。

【主なる親戚】 義兄阿部川作太郎氏 芝區芝口二丁目二番地、羅紗切賣業。

城野岩松氏

明治八年十月一日生

【營業又】 雜綿布綿ネル卸合名會社城野商店代表者

【職業先】 東京市日本橋區元濱町西縁河岸二十號電話(浪花会)

【住所】 同

【本籍地】 同

【略歴】 氏は福井縣南條郡湯尾村湯尾城野庄左衛門氏の二男にして明治三十七年二月實兄卯平氏より分家す、中年の頃上京日本橋區濱町蠟燭町及び橋町等に於て本業を營み後現所に移りたるが大正九年恐慌の後資本金一萬圓を以つて合名組織となし自ら其の代表者となれり、明治三十七年早水フサ女と婚姻し五男四女を擧げたるも大正十一年六月フサ女病歿せりより同十三年十二月新潟縣北蒲原郡岡方村大字平林神田常三郎氏妹イヘ女と婚姻す。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 八八圓

【家庭】 妻女イヘ女 明治十九年八月十日生。二男進一氏 明治四十年八月二十八日生、府立第一商業修學。五男庄吉氏 大正六年二月十八日生、京華商業在學中。三女トミ女 大正八年十月十三日生。四女順子女 大正十一年六月十三日生。

一日生。同二女榮女 大正四年十月四日生。

【主なる親戚】 那須氏 母里方、神田區材木町十七番地。

茂田定昌氏

明治三十九年六月二十八日生

【營業】 毛織物既製品卸布福商店主

【營業所】 東京市芝區芝口三丁目十三番地 電話(銀座三〇〇)

【住所】 同

【本籍地】 同

【略歴】 氏は亡茂田定昌氏の二男にして昭和二年七月父定昌氏死亡に因り家督相續し同年八月舊名勝吉を改めて定昌と變更す本業は先代の創業なるも當主たる氏は夙に學業に志し昭和五年日本大學卒業後金原銀行に勤務しありて店務は店員花岡芳男氏をして統轄せしめつゝあり。

【所得税】 二〇五圓 【營業收益税】 一〇九圓

〔L〕

【家庭】 母とよ女 明治五年五月十二日生。義兄一郎氏 明治十九年七月十七日生、群馬縣新田郡木崎町北村氏廢家大正元年十一月啓女と婿養子縁組入籍。姉啓女 明治二十五年二月十五日生上掲一郎氏妻。一郎氏長女ヨネ女 大正二年一月

部の部

樋口春吉氏

明治十四年一月六日生

【職業名】 裏地其他綿布加工卸株式会社樋口商店取締役社長
 【勤務先】 東京市日本橋區田所町九番地 電話(浪花)三三〇
 【住所】 府下豊多摩郡澁谷町南平臺四十番地電話(青山)四〇三
 【本籍地】 東京市日本橋區田所町九番地

【略歴】 氏は先代樋口春吉氏の長男にして前名を辛之介氏と稱す、大正十五年五月十八日先代死亡に因り家督を相続し同年七月春吉を襲名す家業は先代の創業に係るものなるが氏は之を承けて能くその隆盛をなすに至り昭和四年二月資本金二十萬圓の株式會社に改めその代表取締役となりて業勢日に伸展しつゝあり而して其製造發賣にかゝる助六裏地は業界の一權威として定評ある處なり、資性着實細心情理共に備はり實業家の典型たり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 三〇八〇圓

【家庭】 妻タマ女 明治二十一年十二月十五日生先代野本茂兵衛氏二女。長男勝氏 明治四十年五月一日生東京帝國大學

在學。長女芳子女 明治四十二年十二月二十日生府立第一高女卒業。

【主なる親戚】 辻久吉氏(亡父生家相續人)伊勢國多氣郡丹生村。野本善三郎氏芝區高輪南車町。川崎榮助氏日本橋區田所町足袋被服卸商。野本茂兵衛氏(姻戚)本郷區上富士前町。樋口甚之助氏(實弟)千葉縣中山町。山郷泰次郎氏(妹けい女縁嫁先)日本橋區橋町帽子卸商。秋葉隆氏(妹梅子女縁嫁先)醫學博士盛岡赤十字病院長。樋口滋人氏(妹孝子女夫)鐘紡社員。

【主なる出身者】 植木卯平氏杉の森(ミシン加工業)。藤村清太郎氏久松町(綿布加工卸)。橋爪貴一氏新乗物町風呂敷卸商。小倉賢次郎氏蠟燭町綿布加工卸。

平松徳次氏

明治十六年一月十一日生

【職業名】 毛斯輪洋反物並に各種織物卸商株式會社藤武良商店常務取締役

【勤務先】 東京市日本橋區村松町四番地 電話(浪花)三三〇

【住所】 府下北豊島郡高田町雜司ヶ谷四百八十番地

【本籍地】 新潟縣南蒲原郡三條町大字三條相生町九百二十三番地

【略歴】 氏は新潟縣南蒲原郡三條町大字三條相生町九百二十

平井藤太郎氏 (通稱 平兵衛)

明治二十七年九月六日生

【職業名】 半襟服製品卸荒川益次郎商店東京店支配人

【勤務先】 東京市日本橋區長谷川町七番地 電話(浪花)四四〇

【住所】 同 所

【本籍地】 京都市下京區上長者町通室町西入元土御門町番三番地

【略歴】 氏は京都市下京區東中筋通高辻下ル舟屋町平井藤次郎氏の三男にして本名を藤太郎と稱し平兵衛は通稱なり、同店は本店を京都市室町通綾小路角に有し斯界主力筋として名あり昭和二年東京出張所を支店となすに及び氏は支配人として來任し銳意經營の任にあり性溫着にして店主の信用厚く業容順調を辿れり。

【家庭】 妻こま女 明治二十五年九月二十三日生。長女君子女 大正七年五月十日生。長男信一郎氏 大正十三年一月十五日生。二女美代女 大正十四年三月二十三日生。三女照子女 昭和二年二月十二日生。

【主なる親戚】 父平井藤次郎氏 京都市下京區東中筋通高辻下ル舟屋町六二八。妻母中原屋江女 京都市下京區東洞院通六角上ル三文字町二二〇。

三番地平松藤資氏の長男なり夙に同郷出身なる北海道今井吳服店に勤務し精勵怠らず次第に登用せられて東京仕入店支配人小樽支店支配人等を経て同店の姉妹事業たる株式會社藤武良商店の業務取締役並に株式會社今井吳服店の監査役に推さる資性着實にして業務熱心内外に信望あり。

【趣味】 讀書、碁將棋 【宗教】 淨土眞宗

【所得税】 一一九圓

【家庭】 妻癸巳女 明治二十六年十二月二十九日生新潟市人 玉木土用松氏二女。長男英一氏 大正二年二月十六日生早稲田實業學校在學。二男正三氏 大正三年十一月九日生京北實業學校在學。三男謙吉氏 大正七年八月七日生。二女千代子女 大正九年六月二十六日生。四男宏七氏 大正十一年十月二十五日生。三女敏子女 大正十四年三月十日生。五男雄作氏 昭和三年五月二十五日生。弟忠二氏 明治三十六年四月十五日生今井仕入店に勤務中。

【主なる親戚】 玉木二五三九氏(義兄)在印度工學士。玉木九明治氏新潟米穀取引所勤務(義兄)。玉木子三郎氏札幌塗料商(義兄)。大谷三郎氏帶廣吳服店主(伯父)。

平澤 碩 二氏

明治二十五年七月十四日生

【營業】 毛斯綸洋反物卸
 【營業所】 東京市日本橋區新和泉町二番地 電話(浪花壺丸)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 長野縣上伊那郡飯島村大字飯島二千二十三番地

【略歴】 氏は亡甲子三氏の二男に生る年少の頃上京日本橋區新大阪町齋藤嘉商店に奉公すること二十年の久しきに及び大正九年十二月ミチ女を娶り同十四年二月退店當初日本橋區橋町二丁目に獨立開業せるが昭和二年十二月現所に移轉し爾來大過なく現在に及ぶ。

【趣味】 運動、園藝 【宗教】 淨土宗

【營業收益税】 五八圓

【家庭】 妻ミチ女 明治三十一年九月二十五日生。長男保美氏 大正十年五月十五日生。二男嘉雄氏 大正十二年一月十四日生。長女あや子女 大正十四年八月二十五日生。二女八惠子女 昭和三年二月十日生。三男光利氏 昭和五年五月二日生。母やそ女 明治元年七月二十二日生。祖母みつ女 天保二年三月十六日生。弟了三氏 明治三十年二月十七日生。兄洋一氏 明治二十三年七月二十四日生。

【主なる親戚】 長野縣上伊那郡西春近村六八平澤泰壽氏 義弟。

平井 留次郎氏

明治二十年八月十六日生

【營業】 染帶地加工卸平井珍粹店主
 【營業所】 東京市日本橋區通二丁目七番地五 電話(日本橋壺壺)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 滋賀縣滋賀郡雄琴村大字苗鹿百三十五番地

【略歴】 氏は滋賀縣人平井政四郎氏の五男なり京都市吳服商河井長藏商店に在勤すること約十年精勵にして明治四十三年同店の東京店たる京屋主任となり上京して敏腕を振ひしが大正二年獨立して御召卸業を始め同八年より更に帶地を扱ひて特種の高等製品を賣出すことに努め今日に至る氏は自ら珍粹と稱し意匠圖案には特殊の技能あり府下中野町及び大島町に染工場を有し店員七名を使用して商品は市内一流問屋に賣込み業勢は年次發展の域に進みつゝあり人物誠實にして男氣あり内外の信望厚し。

【趣味】 美術品、茶道 【宗教】 天台宗

【營業收益税】 二八圓

三名を使用し得意を市内近縣に有して、堅實なる歩道に在れり。

【趣味】 芝居、義太夫、謡 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 實父藤松氏 五十六歳。實母いつ女 五十五歳。長兄鷺太郎氏 三十三歳。實弟寅一氏 十八歳。長兄妻女きん女 三十四歳。末弟寅作氏 十四歳。實兄長男勇一氏 何れも本籍地に在り農業。

【主なる親戚】 實母實家小林惣助氏。次兄小林鷺三郎氏。長兄妻女實家及實妹かね女婚嫁先平野定八氏。以上何れも本籍地に在り。

平本 彌三郎氏

明治十年二月十日生

【營業】 銘仙小賣、銘仙屋平本合資會社代表社員
 【營業所】 東京市四谷區傳馬町三丁目十八番地電話(四谷壺壺)
 【住所】 府下豊多摩郡大久保百人町三番地電話(四谷壺壺)
 【本籍地】 府下荏原郡調布町大字下沼部二百五番地

【略歴】 氏は廣島縣上保田岩助氏二男にして年少の頃平本瀨助氏の養子となり明治三十六年青木タイ女と婚姻す大正九年九月瀨助氏病歿せしかば家督相續せり若年の頃より斯業に携

【家庭】 妻カツ女 明治二十八年一月一日生栃木縣鹿沼町井上春八氏妹。長男金太郎氏 大正六年九月二十六日生府立第三商業在學。二男幸雄氏 大正七年九月二十日生。二女秀子女 大正九年十月二十七日生。三女英子女 大正十一年一月一日生。四女知子女 大正十一年十一月二十八日生。五女貞子女 大正十五年六月十六日生。

【主なる親戚】 兄平井萬太良氏 滋賀縣滋賀郡雄琴村大字苗鹿七二。

平野 和三郎氏

明治三十五年四月八日生

【營業】 洋傘シヨール卸商
 【營業所】 東京市日本橋區大傳馬町三丁目三番地電話(浪花壺壺)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 新潟縣北蒲原郡松塚村字村松濱

【略歴】 氏は本籍地平野藤松氏の三男として出生小學校卒業後十七歳の折函館市に渡り同地地蔵町綿布卸商外山商店に入りしが約一ケ年にして退店し直ちに上京して日本橋區洋傘シヨール卸商篠善商店に入店せり爾來格勤する事多年主家の破綻に逢ひて大正十五年三月現所に獨立以て今日に至る、店員

〔ひ〕

り経験浅からず明治三十七年牛込區神樂町に開業したるが漸進的に發展し神田及淺草に支店を設置し大正七年六月資本金六萬圓の現組織となし又神田淺草兩支店を閉店し本店を四谷に移し牛込を支店となす等の變遷ありて今日に至る。

【所得税】 二四〇圓

【家庭】 養母ナヲ女 安政五年四月十五日生。妻タイ女 明治二十年三月二十日生。長女満子女 明治四十年三月十五日生。山口縣大島郡油田村三八三藤井健三氏と婚姻す。

【主なる親戚】 山口縣玖珂郡田宇村青木實藏氏 妻女里方。

廣瀬良一氏

明治十二年九月九日生

【營業】 毛織物卸商

【營業所】 東京市日本橋區小傳馬町三丁目二番地 電話(浪花)五〇

【住 所】 府下北豊島郡瀧野川町西ヶ原八百四十一番地 電話(王子)三三〇

【本籍地】 東京市日本橋區小傳馬町三丁目十一番地

【略歴】 氏は愛知縣土族先代兼一氏の長男なり、名古屋市東區飯田町三丁目四十五番地に生れ明治二十六年六月大阪市東區高麗橋三丁目毛織物卸商芝川商店に入り恪勤十八年東京支店の設置さるゝや擔當者として縦横の手腕を振ひ同店今日の

業礎を築きしは氏の奮闘努力に依る處多し、明治四十四年圓

満退店して現所に獨立創業し爾來精勵今日數十萬の資産を作り芝川商店出身者中の成功者と目されあり内部にありては店員の統制宜しく勤続二十年の星島山田茶谷の三氏當主を補佐して活動せる事は同店の強味にて他店の追隨を許さざる所なり、性格は石橋を叩いて渡る主義にて業男稀に見る堅實なる人物との定評を有す。

【宗教】 眞宗 【所得税】 二二二圓

【營業收益税】 二八〇圓 【地租】 一七圓

【家庭】 母こと女 安政四年三月十五日生。妻いく女 明治二十二年四月三十日生。名古屋市しな忠旅館本家都築樂太郎氏長女。長女鈴女 明治四十一年七月十二日生。佐藤高等女學校卒業。次女時女 明治四十四年三月三十一日生。佐藤高等女學校卒業。三女貞女 大正二年一月十日生。佐藤高等女學校卒業。四女節女 大正五年一月七日生。佐藤高等女學校在學中。長男守男氏 大正七年九月十日生。次男友彦氏 大正十四年一月十日生。三男隆一氏 昭和二年六月二十九日生。

【主なる親戚】 甥廣瀬銓市氏 毛織物卸商愛知縣一ノ宮市。

廣瀬豊松氏

明治二十四年九月七日生

【營業又

は職名】 帝幅織物卸株式會社廣瀨商店代表取締役

【營業所又

は勤務先】 東京市日本橋區橋町二丁目二番地 電話(浪花)八〇

【住 所】 東京市日本橋區橋町二丁目二番地

【本籍地】 東京市芝區愛宕下町四丁目二十四番地

【略歴】 氏は新潟縣長岡市の人神田區宮本町三番地戸主廣瀬藤太郎氏の實弟なるが大正三年五月十五日分家一家を創立す夙に銀座廣中織物商會和商店に入り勤務二十ヶ年其間京都大阪店出張所に轉任獨特の手腕を振ひ主家に盡す處尠なからざりしが大正十一年三十二歳の時獨立本業を開始し翌年震災に會し相當の損失を喫したるも屈せず取引先の後援を受け大正十三年株式會社廣瀨商店を創立し自ら其代表取締役となり經營に力めつゝあり。

【趣味】 野球 【宗教】 門徒宗

【家庭】 妻とみ女 明治三十年二月二十五日生。靜岡縣駿東郡長泉村中狩八番地遠藤龜太郎氏の長女。長女一枝女 大正七年一月九日生。長男豊治氏 大正十一年六月二十一日生。二男博氏 大正十四年十一月十一日生。三男保之輔氏 昭和三年

十二月十日生。

【主なる親戚】 廣瀬藤太郎氏靴商(本郷)實兄。遠藤康夫氏靜岡縣中泉村義兄。

【主なる出身者】 木村長三郎絹織物商(神田)。

弘部幸次郎氏

明治二十九年十月七日生

【營業又

は職名】 白生地染吳服卸北村秀太郎東京支店支配人

【營業所又

は勤務先】 東京市日本橋區堺町八番地 電話(浪花)三三〇

【住 所】 同 所

【本籍地】 京都市上京區田雲路松ノ下町九番地

【略歴】 氏は弘部たか女の息にして大正六年弘部岩吉氏と養子縁組をなす。高等小學を卒業して同店京都本店に入店し大正七年一月東京支店の設置さるゝや主家の信認を得て同支店に赴任し爾來精勵今日に至る。

【宗教】 眞宗

【家庭】 妻き女 明治三十六年五月二十日生。埼玉縣北足立郡箕田村大字箕田野口徳次郎氏四女忍實科高等女學校卒業。

【主なる親戚】 野口徳次郎氏 農。(妻女里方)

〔ひ〕

姫川繁治氏

明治二十九年六月二十九日生

四郎氏 従弟福井縣足羽郡酒生村。

【營業】 吳服太物小賣辰己屋吳服店主
【營業所】 府下北豊島郡尾久町大字上尾久二千五百四十七番地
【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】 氏は福井縣人姫川繁藏氏の長男にして幼少の頃より東京市小石川區柳町所在叔父方に身を寄せ居たりしが大正三年一月父死歿せるに因り家督を相続す、同年四月妻帯後は柳町附近にて文房具店を開き同八年之を妻女に委せて繼吳服商となりたるが十一年文房具店權利を賣却して純然たる吳服小賣業に轉業して今日に至れり。

【所得稅】 一七五圓 【營業收益稅】 一二六圓

【家庭】 妻らく女 明治二十九年十月一日生。長男親氏 大正三年十二月六日生。長女きよ子女 大正六年一月八日生。二女あい子女 大正八年五月三日生。三女武子女 大正十年五月七日生。二男敬孝氏 大正十四年六月十一日生。五女敏女 昭和四年二月二十四日生。三男正氏 昭和五年十一月十七日生。

【主なる親戚】 堂下志す女 妻女姉小石川區西丸町。姫川榮

も の 部

森 五郎兵衛氏

明治十年五月七日生

【營業又職名】 關東吳服、綿、毛、麻織物問屋株式會社森五商店社長
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區本石町三丁目十三番地
電話(日本橋)七〇三・一〇六三・一〇六四・一〇六四

【住所】 滋賀縣蒲生郡八幡町 電話(六)
【本籍地】 滋賀縣蒲生郡八幡町大字新町二丁目六番地

【略歴】 氏は滋賀縣八幡町森專三郎氏の長男にして家督相続人なりしも本家筋たる森家の先代五郎兵衛氏歿後同家の相続者たるせつ女明治三十九年幼にして病歿せしかば入りて家督を相続し同時に前名俊次郎を改めて五郎兵衛を襲名せり家業は元祿年間の開業に係り代々土地の名望家として知られ最近資本金百萬圓(半額拂込)の株式會社となし東京大阪兩店を統轄す、夙に慶應義塾を卒業目下近江帆布株式會社々長、八幡銀行取締役、大阪製麻株式會社監査役等を兼任し實業界に重きをなせり。

【趣味】 謡曲(觀世)、運動 【宗教】 淨土宗
【所得稅】 一〇、五二五圓 【營業收益稅】 五二三圓
【家庭】 養母ため女 安政六年五月一日生。妻種女 明治十

八年四月九日生。長男悟一氏 明治四十三年七月七日生。二男郁二氏 明治四十五年三月七日生。長女綾子女 大正二年五月十六日生。三男俊三氏 大正三年六月十四日生。二女縫子女 大正四年六月二十四日生。三女休子女 大正七年十一月三十日生。五男慶四郎氏 大正九年十一月二十五日生。六男省吾氏 大正十二年五月十三日生。妹ひさ女 明治十八年四月九日生實妹にして同家養女となりたるも養子修造氏に嫁して共に分家す。

森 八郎助氏

明治十四年六月二十七日生

【營業又職名】 株式會社森五商店專務取締役
【營業所又勤務先】 東京市日本橋區本石町三丁目三番地電話(日本橋)七〇九
【住所】 滋賀縣蒲生郡八幡町大字新町二丁目十四番地
【本籍地】 同所

〔も〕

【略歴】氏は滋賀縣八幡町森專三郎氏の二男にして森五郎兵衛氏の實弟なり、五郎兵衛氏が本家の相續人となりたる爲め明治三十九年三月生家を相續す、明治三十八年慶應理財科卒業後森五商店の専務理事たりしが同店が最近株式會社となるに及び専務取締役に就任せり尙ほ大丸取締役、日本モスリン取締役、日華産業監査役等を兼任す、曩きに外遊して海外の實業を視察せり。

【趣味】 謠曲(觀世)、乗馬、水泳、庭球、ゴルフ

【宗教】 淨土宗 【所得税】 五七九圓

【家庭】 妻はる女 明治二十四年一月四日生。弟謙治氏 明治二十五年十月十二日生。婦玉家女 明治三十二年二月十五日生弟謙治氏妻。甥和一郎氏 大正十一年五月七日生謙治氏長男。姪富子女 昭和二年二月四日生同長女。甥徹夫氏 昭和三年二月十三日生同二男。姪裕子女 昭和五年一月二十七日生同二女。妹みね女 明治三十年五月二十一日生滋賀縣八幡町二丁目に分家す。

【主なる親戚】 森五郎兵衛氏欄参照。三上勘兵衛氏 妻里方京都府與謝郡宮津町酒造業。森修造氏 實妹ひさ女夫滋賀縣八幡町。梅原治郎兵衛氏 實妹のぶ女夫同上、素封家。高橋正信氏 實弟謙治氏妻里方芝區新堀町。

森 濱 三 郎 氏

明治十六年三月二十五日生

【營業名】 吳服太物雜貨小賣商合名會社 扇屋吳服店代表者

【營業所】 東京市深川區宮岡門前仲町二十七番地電話(本所)三〇三〇

【住所】 同所
【本籍地】 同所

【略歴】氏は愛知縣丹羽郡丹陽村大字吾鬘農森佐右衛門氏の二男にして實兄太一氏と共に機業を營みたる事あり明治三十五年上京して深川區本村町にコークス屋を開業したるが同三十七年淺草區須賀町に太物小賣商を開始し更らに深川區門前仲町二十二番地(不動前)に小店舗を借り受け移轉するに及び同店の業況著しく發展するに至り其の後現所に移りたるものにして震災後業容更らに進展し前東京吳服太物商同業組合長並に東京商業會議所議員として業界の爲めに努力したる事少からず。

【宗教】 眞言宗 【所得税】 二〇六圓

【家庭】 妻女勢ん女 明治十七年六月生東京市淺草區北富坂町平民龜井清三郎氏二女。長男肇氏 明治四十一年六月生早稻田實業學校卒業。

【主なる親戚】 右掲妻女里方の外に市内京橋區月島扇屋吳服店主森佐藏氏(從兄弟)、吉野藤一郎氏欄参照。

【主なる出身者】 深川區東森下町十五扇屋吳服店古田光伯氏本郷區駒込動坂町溝呂木嘉助氏。

森 京 治 郎 氏

明治十年二月二十日生

【營業】 毛斯綸小物加工卸

【營業所】 東京市日本橋區長谷川町三番地 電話(浪花)三〇三三〇

【住所】 同所
【本籍地】 滋賀縣愛知郡八木莊村大字沖四十四番屋敷

【略歴】氏は前戸主亡森伊三郎氏長男なり、年少時上京し日本橋區富澤町毛斯綸問屋西村商店に入店、勤続約三十年(内十年間同店支配人)の後大正八年三月現所に獨立す、而して大正九年暴落同十二年震災等に會ひ、結局相當打撃を蒙りたるも不屈不撓なる氏の努力は漸次業礎を鞏固にし、現時七名の店員を使用し年商約三十萬圓を遂行しつゝあり、性温厚着實なる紳士なり。

【趣味】 碁、將棋 【宗教】 眞宗 【所得税】 二七一圓

【營業收益税】 九八圓

【家庭】 實母きん女 嘉永五年十一月三日生明治十年四月二十五日滋賀縣愛知郡西菩提寺村布施常右衛門氏二女入籍。妻女ふさ女 明治三十八年二月二十二日生同縣同郡同村大字勝堂一〇八七番地吉岡與惣松氏長女昭和四年四月二十日婚姻入籍。三男市郎氏 大正六年一月五日生滋賀縣立神崎商業學校二年在學。二女とゑ女 大正九年三月二日生滋賀縣愛知郡八木莊小學校五學年在學。四男三郎氏 大正十一年一月三日生同上小學校三學年在學。五男芳郎氏 大正十二年四月十五日生同上小學校一學年在學。六男昭治郎氏 昭和二年一月二十日生。三女きよ子女 昭和四年五月十四日生。

【主なる親戚】 妻女實家義父吉岡與惣松氏 滋賀縣愛知郡西押立村大字勝堂一〇八七番地農業。亡妻實家義兄阪東竹次郎氏 滋賀縣犬上郡西甲良村大字下之郷一二二番地農業。實弟森利助氏 日本橋區高砂町織物卸。實弟森政吉氏 朝鮮京城市本町二丁目麻布麻糸卸。

森本源次郎氏

明治二十年十一月六日生

【職業名】 京吳服關東吳服卸合資會社升定商店無限代表社員
 【營業所又】 京吳服關東吳服卸合資會社升定商店無限代表社員
 【は勤務先】 東京市日本橋區高砂町九番地 電話(浪花)一三三・二四〇
 【住 所】 東京市麴町區平河町六丁目三十二番地電話(九段)五〇九
 【本籍地】 京都市上京區岡崎入江町四十一番地

【略歴】 氏は京都府伏見市新町戸主辻伊之助氏三男にして大正四年二十九歳の時森本新次郎氏婿養子となる。之より先明治三十二年十三歳の時京都市烏丸六角上る山田定兵衛商店に奉公し山田合名會社、株式會社山田商店に歴任、明治三十五年東京支店勤務となり昭和二年七月同店が合資會社升定商店となるや氏は無限責任社員に選任され、同時に東京店主任となり今日に至る。實直温厚なる人物にして大正十三年十月勤続二十七年の模範店員として東京織物問屋組合より金盃を贈與されたり。

【趣味】 スポーツ 【宗教】 眞宗
 【家庭】 妻女幸女 明治二十七年四月二十日生、京都府立第一高女卒業趣味生花茶の湯。長女八重子女 大正五年五月二十一日生京都府立第一高女二年在學。長男源藏氏 大正八年

一月二十六日生東京府立第六中學校生徒。二男和次氏 大正十年十二月十一日生小學校在學。二女信子女 大正十五年七月六日生。

【主なる親戚】 義兄山田嘉一郎氏 京都市御室織物問屋。義兄藤本又兵衛氏 伏見市大阪町漆器卸。

本木一郎氏

明治三十三年一月三日生

【營業】 吳服太物小賣商大黒屋吳服店主
 【營業所】 東京市京橋區岡崎町二丁目四番地 電話(京橋)五〇七
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は本木利平氏(大黒屋吳服店)の長男にして錦城商業學校を卒業後横濱市伊勢佐木町越前屋吳服店に入店二ケ年間實務を修得し後家業を手傳ひ震災後利平氏の隠居に因り同店營業名儀人となりて此を繼承す。

【趣味】 商 賈 【宗教】 淨土宗 【所得税】 七八圓
 【營業收益税】 一四四圓
 【家庭】 戸主父利平氏 明治二年十二月生にして茨城縣眞壁郡下館町の人。妻女ふく女に入夫同店の創業者なり。母ふく

女 慶應二年十二月生芝區露月町二十七番地戸主本木彌平次氏妹、妻たけ女 明治三十八年一月生日本橋區村松町四十一番地梅原助次郎氏二女紅葉川高等女學校卒業。長女勝代女 大正十二年三月生。次女鶴子女 大正十四年七月生。
 【主なる親戚】 本木榮次氏 實弟にして深川區西森下町大黒屋支店當主。日本橋區村松町梅原助次郎氏 妻女里方。

本木榮次氏

明治三十六年四月二日生

【營業】 吳服太物小賣大黒屋吳服店主
 【營業所】 東京市深川區西森下町三十二番地 電話(本所)三〇七・三〇九
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は京橋區岡崎町二ノ四戸主本木利平氏の次男なり大正十三年分家す當主は元氣澄澗たる氣鋭の士にして常に仕入販賣の第一線に活動しつゝあり。現在使用店員約廿名を擁し鋭意業容の進展に努めし區内有數の店舗として前途を期待する。

【趣味】 撞球 【宗教】 眞言宗 【所得税】 二九二圓
 【營業收益税】 一五四圓 【地租】 一七圓

元橋金三郎氏

明治二十一年九月二十八日生

【營業】 綿ネル、兒服地、雜綿布卸
 【營業所】 東京市日本橋區長谷川町二十番地 電話(浪花)八二四
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 奈良縣宇陀郡御杖村大字菅野二千三十八、九番地

【略歴】 氏は大阪明星商業學校卒業後同市東區南本町綿布綿ネル卸小川商店に入り約十年勤続の上大正六年現所に獨立し好況時代に相當利殖するところあり、震災時には相當の打撃を被りたるも復興して今日に至る。

【も】

【趣味】 讀書 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 七〇圓
 【營業收益税】 八五圓 【地租】 二〇〇圓
 【家庭】 母タツエ女(郷里)。妻ふさ女(明治卅三年九月十九日生) 〓京都市上京區新町通押小路下る中之町卅四番地澤田鹿太郎氏長女にして大正十一年七月婚姻届出。長女千鶴子女 〓大正十一年七月生。長男章好氏 〓大正十三年四月生。二男敏郎氏 〓昭和三年十二月生。姉モトエ女 〓明治十一年十二月生。
 【主なる親戚】 大阪市今橋株式仲買人小川平助氏。

茂木作太郎氏

明治五年九月十四日生

【營業名】 百貨店株式会社三越参事兼新宿支店長
 【職業所又】 東京市日本橋區駿河町七番地 電話(日本橋三三三)
 【勤務先】 東京市本郷區湯島新花町百四番地電話(小石川三三三)
 【住 所】 栃木縣足利市通五丁目三千百九十番地
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣足利市通五丁目亡茂木彌市氏の二男に生れ親戚に當る同縣安蘇郡旗川村亡茂木長平氏の養子となり大正五年分家一家をなす、夙に三越吳服店に入り恪勤する事多年漸次重用せられ同店参事に累進し新宿支店長に擢げられ現時其の職に在りて尙同店姉妹會社たる二幸商會取締役を兼任し

居れり。

【所得税】 一〇九〇圓
 【家庭】 妻サイ女 〓明治十年七月十二日生。長男幹夫氏 〓明治三十五年二月七日生。三女三枝子女 〓明治四十一年五月二十七日生。三男策三氏 〓明治四十三年七月三日生。四男四郎氏 〓明治四十四年八月二十三日生。五男彌五郎氏 〓大正元年九月二十一日生。四女壽枝女 〓大正三年五月十六日生。六男六郎氏 〓大正四年十一月七日生。八男男佐武氏 〓大正七年一月十七日生。九男嘉作氏 〓大正八年四月二十二日生。十男十四郎氏 〓大正十一年二月二十五日生。
 【主なる親戚】 妻女實家藤生隆吉氏 〓群馬縣山田郡大間々町桐原村。長女縁先木村欽一氏 〓静岡縣三島町三三九九。二男養家先茂木健二氏 〓栃木縣安蘇郡旗川村並木。二女縁先大友文吉氏 〓千葉縣匝瑳郡八日市場町。本家茂木長十郎氏 〓栃木縣安蘇郡旗川村。

茂木勝太郎氏

明治十五年九月二十八日生

【營業名】 吳服太物小賣合資會社大里屋吳服店代表社員

茂澤祐作氏

明治十四年九月二十九日生

【營業】 毛織物既製品卸小賣商
 【營業所】 東京市牛込區揚場町九番地
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡茂澤惣治郎氏の長男にして亡父は元麴町區飯田町五丁目にて古着洋服商を営みたるが大正元年現所に移り同六年新物を扱ふに至り八年惣治郎氏死亡せるに因りて家督を相続す。震災後潰屋専門となりたるが大正十一年には附近上宮町に支店を設けありて實弟源作氏をして小賣を擔當せしめ現在に及ぶ。

【所得税】 八圓 【營業收益税】 八四圓
 【家庭】 妻アイ女 〓明治十九年三月二十六日生。長女悦女 〓明治四十三年三月八日生。二女房女 〓大正二年三月十七日生。三女静女 〓大正四年十二月十九日生。四女澄女 〓大正七年八月二十一日生。長男正一氏 〓大正十年二月二十三日生。五女和女 〓大正十二年十二月四日生。
 【主なる親戚】 石坂タケ女 〓妻女里方、新潟縣長岡市西神田町。茂澤源作氏 〓實弟、同店小賣部擔當者。

【も】

【營業所又】 東京市神田區松富町十番地 電話(下谷三三三)
 【は勤務先】 同 所
 【住 所】 同 所
 【本籍地】 同 所
 【略歴】 氏は茨城縣西茨城郡笠間町亡猪瀬虎尾氏の長男なるが明治四十年七月茂木家に入りて同家を相続す、夙に日本橋區中形裏地兩毛物卸商坊野商店に奉公し大里屋先代市太郎氏に望まれて婿養子となりたる人にして常に町内其の他の公職に盡力しつゝありて營業は昭和六年六月資本金三萬圓の合資會社となし其代表社員たり。
 【宗教】 淨土宗 【所得税】 一六一圓
 【營業收益税】 一一二圓
 【家庭】 妻たい女 〓明治十九年二月二十八日生。長男一郎氏 〓明治四十三年四月三日生。京華商業修學。三男慎三郎氏 〓大正十四年五月二十六日生。
 【主なる親戚】 猪瀬大治郎氏 〓勝太郎氏二男にして大正九年茨城縣なる勝太郎氏實家の跡無きを繼ぐ。萩原恒二氏 〓長女智恵子女の夫栃木縣河内郡上三川町。茂木有造氏 〓先代市太郎氏長男同店にて業務擔當。

茂呂ギン女

明治二十年一月五日生

【營業】 吳服太物洋小賣

【營業所】 東京市淺草區北宮坂町十六番地 電話(淺草)一七

【住所】 同所

【本籍地】 群馬縣新田郡寶泉村大字由良甲千六百七十八番地

【略歴】 氏は群馬縣新田郡宅島町竹澤惣吉氏の三女にして亡
茂呂猶次郎氏の妻たりしが、大正三年十二月猶次郎氏死去
により、ギン女營業を繼承して今日に至る。

【宗教】 眞宗 【所得税】 一〇八圓

【營業收益税】 八四圓

【家庭】 戸主長男英一氏 明治四十二年七月二十日生現在大
阪市某織物商に奉公中。二男若雄氏 明治四十三年十一月八
日生、錦城中學卒業現在店務從事中。ギン女三男嘉一郎氏 大
正六年十一月十一日生。長女愛子女 大正十二年九月二十
五日生。四男秀幸氏 大正十四年四月二十七日生。

【主なる親戚】 群馬縣新田郡宅島町大字岩松七六竹澤惣吉氏

せの部

關 幸 重 氏

明治八年二月七日生

【營業又
は職名】 輸入毛織物卸植傳商店支配人

【營業所又
は勤務先】 東京市日本橋區金吹町四番地 電話(日本橋)六三〇

【住所】 東京市麻布區霞町十九番地 電話(青山)五七

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は岡山縣人西村留造氏實弟にして、明治二十七年
八月廢家關氏を再興す、夙に當店に入り忠勤を抽んづる處あ
り、先代傳助氏歿後は當店支配人として當主を補佐しつゝあ
りて舶來羅紗商の權威たる當店今日の存在は、氏の功績に負
ふ處少しとせず濃厚なる紳士なり。

【趣味】 讀書 【宗教】 日蓮宗 【所得税】 三九七圓

【家庭】 妻女テル女 明治二十年三月九日生、東京府人植村
傳助氏實妹、平沼高女卒才媛、明治四十年十二月二十四日婚
姻入籍。

【主なる親戚】 實兄西村留造氏 岡山縣御野郡鹿田村大字東
古松一六。義兄植村傳助氏 小石川區久堅町二四番地。

關 完 隆 氏

明治二十七年五月十五日生

【營業】 風呂敷中形卸

【營業所】 東京市日本橋區東萬河岸二十六七號 電話(浪花區)〇

【住所】 同所

【本籍地】 滋賀縣愛知郡豐椋村大字大清水五十一番屋敷

【略歴】 氏は滋賀縣愛知郡豐椋村亡川添豊仁氏の三男にして
明治四十二年上京日本橋區橋町舊丸市田商店に奉公し其の
在店中大正六年三月關市平氏に望まれて關家の養子となり大
正九年主家を退店して橋町三丁目三番地に本業を開始し大正
十二年現所に移轉せり。

【所得税】 一六五圓 【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 養父市平氏 安政六年十月七日生。養母すゑ女 明
治元年四月五日生。妻つぎ女 明治三十一年十二月八日生。
長女このゑ女 大正九年四月二十三日生。長男裏藏氏 大正
十二年五月一日生。二女壽恵子女 大正十四年十二月二十五
日生。

【主なる親戚】 川添豊僊氏 實兄滋賀縣愛知郡豐椋村。外村
喜一氏 妻實弟、滋賀縣愛知郡八木莊村。

關根守次氏

明治六年一月二十五日生

【營業又
は職名】 毛織物切賣業關根羅紗店主

【營業所】 東京市麴町區麴町五丁目十五番地電話 (九段三七七) (三六六九)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は茨城縣北相馬郡取手町大字取手二四〇番地平民戸主關根貞庵氏長男に生れ、明治二十四年四月十日家督相続と同時に戸主となる十九歳の時取手町に洋服商を以て獨立し漸次進展するに及びて同三十七年即ち日露戰爭の眞最中に東京支店を設置し、爾來財界の好況に恵まれ同支店の成績良好なるを觀て同四十年頃取手本店を支店に合併し關根洋服店として活躍する處あり其後關根商會と改め羅紗及洋服の二部制となし専ら内容の充實に力め、只管堅實なる營業方針を以て推移し、此頃より漸次羅紗生地に主力を注ぐに至れるが大正十二年九月關東大震災に依る打撃は可成り深甚なるものありしも、免燒商品約拾五萬圓ありたるを利用し直後バラツクに於いて相當有利に現金賣出をなせしかば當時品不足なる市内同業者陸續として殺到し傍ら阪神下關方面より現金仕入に依り迅速に補充販賣する等極めて機敏に目覺しき活躍を試み

一炬數萬の利益を擧げたるものにして、其後洋服部を麴町六丁目十六番地に分離し、アサヒ洋服店名義を以て當主養子欣三氏實弟小菅長四郎氏に擔當せしめ、曾て英米兩國に前後約六ヶ年間留學洋服裁縫技術を修得せる和田憲一郎氏(當店勤務二十四年)を主任として經營せしめある外、羅紗部は養子欣三氏に擔當せしめ田中公義氏(勤續二十六ヶ年)を支配人として補佐せしむ。斯くの如く當店陣容は正に堂々たる觀ありて今や年商約百三十萬圓を遂行する市内一流羅紗店たるに至れり。當主は濃厚篤實なる紳士にして嘗て東京洋服商同業組合副組長、同麴町區部長等の職にありたるが現今同組合顧問として多年業界の進展に努力す。

【趣味】 園藝 【宗教】 禪宗 【所得稅】 一九九二圓

【營業收益稅】 五〇四圓

【家庭】 妻女こま女 明治十一年十二月十八日生茨城縣北相馬郡取手町大字取手染野彌吉氏二女。長女はる女 明治廿九年四月六日生、大正元年三月日本女子商業卒業、特に生花、長唄、琴曲に趣味を有す、大正十四年一月婿養子欣三氏と婚姻。養子欣三氏 明治二十二年十二月一日生、長野縣小縣郡上田町七二三番地戸主小菅慶次郎氏三男、當店事實上の擔當者なり。孫幸子女 大正四年三月八日生、欣三氏長女、三輪

田高女四學年在學中。孫修氏 大正六年二月二十二日生、欣三氏長男、東京府立第一商業二學年在學中。孫猛氏 大正八年一月二十二日生麴町小學六年在學、欣三氏二男。孫宏氏 大正十年一月二十六日生、欣三氏三男。孫馨氏 大正十二年六月十四日生、麴町小學一年在學中。

【主なる親戚】 從兄谷口金次郎氏 東京市下谷區御徒町、内外農産器具商會主。

【主なる出身者】 洋服商木村勝次氏 麴町區麴町六丁目木村洋服店。洋服商小川寅三郎氏 麴町區麴町五丁目一四番地、小川洋服店洋服商鹽見普作氏 下谷區坂町、鹽見洋服店。洋服商富田親藏氏 茨城縣土浦町横町、富田洋服店。洋服商中村忠兵衛氏 千葉縣松戸町、關根洋服店。

關根繁藏氏

明治三十年六月五日生

【營業 業】 綿布卸商

【營業所】 東京市神田區元柳原町三十一番地 電話(浪花三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は芝區宇田川町二十一番地亡關根忠次郎氏の四男

にして大正十五年八月分家一家を成す。中學二年を卒へて神田土手綿布商加藤五兵衛商店に入店し兵役服務後一時プロカーとなり程無く日本橋區橋町三丁目齋藤楠太郎商店に入りたるが昭和二年五月同店が閉店なしたれば之を機として獨立現在に及ぶ。

【所得稅】 七〇圓

【家庭】 妻ツル女 明治三十六年六月九日生。二男清氏 大正十四年二月一日生。長女芳枝女 昭和二年九月三日生。

【主なる親戚】 平岡長次郎氏 妻女里方、栃木縣下都賀郡栃木町大字栃木。

關口新治氏

明治十七年五月七日生

【營業又
は職名】

吳服太物小賣株式會社中村屋吳服店取締役

【營業所又
は勤務先】

東京市深川區西森下町十番地 電話(本所) (四五)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は新潟縣人小林藤三郎氏實弟にして、郷里に於て小學校を卒へるや直ちに上京し市内日本橋區本石町織物問屋山本卯兵衛商店(現株式會社山卯商店)に奉公し勤續約十年に

【世】

及びたるが圓滿退店の上明治四十一年三月三十一日亡關口銀七氏二女貞女と婿養子縁組をなす。爾來義弟良作氏と協力店業に勤しむ處ありしも昭和四年八月十九日同店が株式會社に組織變更を見るや氏は擧げられて取締役に就任今日に至る能辯磊落の人なり。

【宗教】 眞言宗

【家庭】 二男二郎氏 大正三年二月十九日生私立中央商業學校三年在學。二女富巳女 大正五年二月二十九日生、市立第一高女二年在學中。妻女ハツ女 明治二十七年七月三日生、神奈川縣三浦郡三崎町六合亡三浦了一氏姉、新治氏前妻貞女病歿後大正十四年五月八日婚姻入籍。三男三郎氏 大正十一年十月三十日生、深川小學二年在學中。

【主なる親戚】 義弟關口文平氏 府下世田ヶ谷町、無職。

義弟關口良作氏 府下本田町立石、株式會社中村屋吳服店取締役。義兄關口太郎左右衛門氏 深川區西森下町九、洋酒罐詰卸。

【主なる出身者】 羅吳服商梅村秀一氏 深川區東扇橋町。吳服太物小賣商藤村昇氏 府下砂町中村屋藤村吳服店主。羅吳服商榎本勝二氏 市内本郷區田町三五。

關口忠助氏

明治十九年十月二日生

【營業】 吳服太物小賣武藏屋吳服店主

【營業所】 東京市麻布區坂下町三十六番地 電話(高輪三六)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は神奈川縣橋樹郡高津村の出身にして年少の頃より赤坂區遠洲屋吳服店(現存せず)に奉公し斯業を見習ひ居りしが明治四十年頃退店して古着類の露店商をなす事三年多少の利益を收めて現所に店舗を構へ吳服類の外綿布及新古既製品の前賣商を兼ねて糶子を利用し山の手方面の中流家庭に持出販賣をなさしめたり爾來相當の業績を擧げ大正五年には更らに同町十番地に分店を設け目下廢止後更らに網代町に帶袴店を開業したるものなり。

【所得稅】 六九圓 【營業收益稅】 七八圓

【家庭】 長男義雄氏 明治四十四年二月生。二男榮三氏 明治四十五年七月生。女ヒサ子 大正八年四月生。妻女トメ女は大正十五年八月死亡。

【主なる親戚】 神奈川縣橋樹郡高津村溝口四百四十九番地關口富士太郎氏 伯父。

關口莊之助氏

明治二十九年十月三日生

【營業】 吳服太物小賣商安田屋店主

【營業所】 府下南足立郡千住町本町三丁目四十一番地

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は東京府人亡關口賢次郎氏の長男にして大正十五年九月賢次郎氏死亡に因り家督相續す。年少時より亡父の許にありて斯業を見習ひ家業を繼承したるものにして目下附近同業者中にも有數の地位を占め居るものとす。

【所得稅】 二六二圓 【營業收益稅】 一六八圓

【地租】 五八圓

【家庭】 母とき女 明治九年十二月二十一日生。妻しづ女 明治三十四年一月五日生。妹勝子女 大正二年四月二十一日生。弟季男氏 大正七年二月十三日生。長男善清氏 昭和二年六月四日生。二男泰治氏 昭和四年五月十日生。

【主なる親戚】 篠田勘次郎氏 母の里方、千住町。上野幸太郎氏 妻女里方、埼玉縣南埼玉郡越ヶ谷町。

關口勘兵衛氏

明治十三年十月七日生

【營業】 染紉卸龍五商店代表者

【營業所】 東京市日本橋區堺町三番地 電話(浪花七七)

【住所】 同所

【本籍地】 府下南葛飾郡小松川町二丁目三十七番地

【略歴】 氏は關口浪吉氏の長男なり、明治二十五年上京して當時市内本石町に所在せし柿原萬藏商店東京支店に入店し勤績三十三年に及び同店理事として斯業の經驗深かりしが震災後同店を退き同志數氏と匿名組合現龍五商店を組織し大正十三年六月現所に開業するに至りしものなり。

【趣味】 義太夫 【宗教】 淨土宗

【所得稅】 一二〇圓 【營業收益稅】 一一二圓

【家庭】 父浪吉氏 文久元年七月二十二日生關口喜十郎氏次男。妻てつ女 明治七年三月六日生南葛飾郡瑞江村石井忠一氏叔母。長男寅之助氏 明治三十五年九月廿三日生現在訪問吳服を商ひつゝあり。寅之助氏妻ふみ女 明治四十年一月二十五日生千葉縣東葛飾郡松戸町吉田半四郎氏長女。二女恵子女 明治四十三年八月二十七日生府立第七高女卒業。二男萬之助氏 大正三年七月二十七日生店務從事。孫重太郎氏 大

【世】

〔世〕 正十五年八月三十日生。孫豊次郎氏。昭和四年九月十一日生
【主なる親戚】 南葛飾郡瑞江村農石井忠一氏。

瀬川雅次郎氏

明治三十二年七月六日生

【營業所】 風呂敷、敷布、中形卸商
【營業所】 東京市日本橋區橋町二丁目五番地 電話(浪花二〇〇)

【住 所】 府下豊多摩郡杉並町高圓寺六百十四番地

【本籍地】 東京市日本橋區橋町二丁目五番地

【略歴】 氏は先代雅次郎氏の長男にして大正十五年十二月二十二日先代病歿により家督を相続し昭和六年三月前名孝太郎を改めて雅次郎を襲名す十六歳の時父の舊主京都丸栴市田商店に奉公し兵役に服務迄在店して除隊後父業を扶け以て今日に及ぶ。資性温厚着實にして營業に熱心なり。

【趣味】 諷 〔宗教〕 眞宗 〔所得税〕 一一七圓

【營業收益税】 七〇圓

【家庭】 母ジュウ女。明治十二年十二月生。妻久子女。明治卅八年二月五日生。長女富久子女。大正十五年一月十四日生。長男雅一氏。昭和二年六月六日生。二女千枝子女。昭和四年二月五日生。弟雅男氏。明治三十五年六月二日生。丸栴市田

大阪店員。妹壽満子女。明治四十三年九月二十日生。東洋家政女學校卒業。妹八重子女。大正三年一月二十五日生。日本橋高等女學校卒業。妹壽美子女。大正七年三月十一日生。武藏野高等女學校生徒。妹美代女。大正十年七月二十日生。杉並小學校生徒。妹ツタ女。明治三十八年十二月十八日生。昭和二年五月三十日同店員武次氏を婿養子に迎えて府下杉並町大字高圓寺六百十四番地に分家し目下同店々舗内に居住す。

瀬田貞吉氏

明治十七年九月二十日生

【營業所】 吳服太物小賣かめや吳服店主

【營業所】 東京市芝區三島町十番地 電話(芝三〇〇)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は東京府人亡中島茂吉氏の長男にして元日本橋區長谷川町綿布卸商下田商店に奉公し居たるが亡瀬田孫助に望

まれて明治四十五年六月同店の養子となり養母奈良枝女が好める儘に吳服商となり今日に及ぶ芝區吳服組合副組長其の他公職に携はる等信望厚く大正五年八月飯田ヨシ女と結婚し長男圭之助氏を擧げたるも同女は七年五月不幸病死せり。

【所得税】 七四圓 〔營業收益税〕 七六圓

【家庭】 妻テル女。明治十九年七月九日生。長男圭之助氏。大正七年五月十九日生。長女育子女。大正十一年十二月八日生。二女九子女。昭和四年二月二十六日生。

【主なる親戚】 八木榮助氏。妻女實兄大阪府中河内郡西六郷村。

すの部

杉村甚兵衛氏

明治十年四月十四日生

【營業又】 毛斯綸洋反物卸商株式會社杉村商店取締役杉村合名會社代表社員

【營業所又】 東京市日本橋區新材木町一番地 電話(浪花)二三・一六・三〇〇〇

【住】 東京市小石川區水道町五十六番地 電話(小石川)八三三〇

【本籍地】 東京市日本橋區新材木町一番地

【略歴】 氏は先代故甚兵衛氏の長男として生れ明治三十年幼名米次郎を甚三郎と改め大正十五年先代病歿に依り相續襲名せり、同店は弘化年間の開業にして創主たる初代甚兵衛氏は丁吟商店より出で當時既に長崎市の外船との取引をなしたりと云はれ同店々格は夙に東西の業界に於て重きをなし居れり。明治四十一年創立の資本金百萬圓杉村合名を先代の後を享けて代表となり更に大正七年店業限定の意味にて洋反物卸部を株式組織に改め實弟友次郎氏をして之が中心ならしめ氏は現在單に取締役に就任奥向にありて監督し居れり濃厚にして且つ篤實なる氏の風格は背景に有する資産と共に現在各方面に於て絶大の信用を博し居るものなり。

【趣味】 旅行、讀書、書畫、植物採集、其の他

【宗教】 天台宗 【所得稅】 一一、九〇六圓

【家庭】 繼母きし女 慶應二年五月十三日生。妻津る女 當時日本橋區蠟燭町二丁目八番地先代故杉村彦右衛門氏養子明治十三年一月二十八日生。長男友三郎氏 明治四十年一月二十五日生。二男米三郎氏 明治四十二年三月七日生。三男宇三郎氏 明治四十三年七月卅一日生。四男勘三郎氏 大正元年九月八日生。五男榮三郎氏 大正八年五月十五日生。次弟友次郎氏 明治十八年六月廿二日生。友次郎氏妻トラ女 明治二十三年八月二十三日生。友次郎氏長男文一郎氏 明治四十二年十月六日生。同次男信二郎氏 明治四十四年十月二十七日生。同三女和子女 大正六年二月廿四日生。同三男勇吉氏 大正七年五月二十一日生。同四男純吉氏 大正八年十二月十七日生。同四女葉女 大正十年九月七日生。同五女小枝子女 大正十一年十月十四日生。三弟米次郎氏 明治二十一年一月二十六日生。米次郎氏妻カウ女 明治二十八年三月四日生。同長男敬一郎氏 大正十三年五月十八日生。四弟庸四郎氏 明治二十三年三月二十八日生。庸四郎氏妻鄰子女 明治三十二年十月二十九日生。同長男壯一郎氏 大正八年九月五日生。同長女裕子女 大正十年八月七日生。同二女直子女

大正十一年十二月二十日生。同三女素子女 大正十三年十一月二十八日生。同弘二郎氏 昭和三年十二月二十八日生。

【主なる親戚】 長女婚家中村茂吉氏 東京市日本橋區小網町(中村茂八氏長男)。米次郎氏妻女實家服部金太郎氏 東京市芝區白金三光町貴族院議員。庸四郎氏妻女實家八十島親義氏 東京市芝區白金臺町一ノ七一資産家。友二郎氏長女縁先田中陽太郎氏 東京市赤坂區青山南町六丁目田中商會社代表取締役。妹縁家先薩摩治兵衛氏 株式會社丸丁子商店大株主資産家。白石甚兵衛氏、白石徳三郎氏欄參照

【主なる出身者】 濱村理三郎氏 東京市日本橋區高砂町一五毛斯綸、風呂敷加工卸伊勢屋秀三郎氏 東京市日本橋區通旅籠町十六毛斯綸富士絹仲次商。

杉村友次郎氏

明治十八年六月二十二日生

【營業又】 毛斯綸洋反物卸商株式會社杉村商店代表取締役

【營業所又】 東京市日本橋區新材木町一番地 電話(浪花)二三・一六・三〇〇〇

【住】 東京市麴町區麴町七丁目二十番地 電話(九段)四〇〇〇

【本籍地】 東京市日本橋區新材木町一番地

【略歴】 氏は先代杉村甚兵衛氏の二男にして東京高等師範附

屬中學校を経て明治三十七年東京市京橋區工手學校を卒業後父業に就き精勵したるが大正七年店業を株式組織に改むるや常務取締役に就任現時同社代表重役として事實上店務一切を擔當し居れり、同店は其の歴史店格並に商勢に於て東西織物界の重鎮として古くより定評あるものにて氏の温容なる態度と着實なる手腕は益々同店の面目を擧げつゝあり曩きに同店代表取締役に就任して東京織物問屋組合副組合長に就任せるは畢竟氏の徳望あるが爲めなり。

【趣味】 散歩旅行 【宗教】 天台宗 【所得稅】 四八四圓

【家庭】 妻トラ女 當時日本橋區蠟燭町二丁目八番地先代故杉村彦右衛門氏四女明治三十九年二月二十七日婚姻届明治二十三年八月二十三日生。長男文一郎氏 明治四十二年十月六日生。二男信二郎氏 明治四十四年十月二十七日生。三女和子女 大正六年二月二十四日生。三男勇吉氏 大正七年五月二十一日生。四男純吉氏 大正八年十二月十七日生。四女葉女 大正十年九月二十七日生。五女小枝女 大正十一年十月十四日生。

【主なる親戚】 杉村甚兵衛氏欄參照

〔す〕 杉山貞助氏

明治十一年二月二十八日生

【營業】各種繙織物
【營業所】東京市日本橋區通油町十三番地 電話(浪花二吳)
【住 所】府下北豊島郡西巢鴨町池袋八百九十番地 電話(大塚 支三)
【本籍地】神奈川県足柄下郡小田原町新玉三丁目四百四十七番地
【略歴】氏は神奈川縣小田原町亡杉山榮三郎氏の長男にして明治三十九年十二月榮三郎氏死亡に因り家督相續す、十三歳の頃日本橋區富澤町鈴木貞之助商店に入り勤続十八九年に及びて大正元年退店し現所に本業を開業せり、目下市外池袋に杉山吳服店として小賣業を営み長男榮之助氏之が經營の衝に當り居れり。

【趣味】將棋 【宗教】神道 【所得税】一一四圓
【營業收益税】八六圓

【家庭】母タイ女 安政四年七月二十六日生。妻マツ女 明治十五年十月十五日生。長男榮之助氏 明治四十年六月二十二日生中央商業卒。長女ふじ女 明治四十二年六月十一日生。二男豊氏 明治四十四年六月二十五日生、府立第一商業卒。横濱尾張屋吳服店勤務中。三男泰助氏 大正三年四月四日生、府立第一商業在學中。四女梅子女 大正七年三月三十日生、

川村女學院在學中。五女文子女 大正九年三月三十日生、府立第五高女在學中。六女治子女 大正十一年二月三日生。
【主なる親戚】内田清太郎氏 妻里方神奈川縣足柄上郡岡本村。杉山ケイ女 實妹神奈川縣小田原町新玉に分家。關口常太郎氏 實妹コマ女 夫神奈川縣小田原町。
【主なる出身者】久保谷元吉氏 日本橋區岩代町綿布卸。小河原理一氏 市外龜青村龜有吳服小賣。

杉山徹氏

明治二十三年三月一日生

【營業】毛織物既製品卸商合資會社島村商店社員
【職業】
【營業所】東京市神田區岩本町六番地 電話(浪花三三〇)
【住 所】東京市神田區柳町三番地
【本籍地】同 所

【略歴】氏は先代半十郎氏の六男なり、岐阜縣稻葉郡厚見村下川手二千二百七十七番地に生れ十三歳の時上京して神田區東龍閑町九番地島村友三郎商店に入り恪勤二十八年間主家のために精勵し今日に至りたるものなり同店今日の隆盛を築きしは小林氏と共に氏の奮闘に依る處多し。

【趣味】歌舞音曲 【宗教】眞宗 【所得税】五〇圓

【家庭】妻てる女 明治三十年六月七日生、神田區東龍閑町九番地毛織物既製品卸商島村友三郎氏妹。二男得二氏 大正十一年六月二日生。三男善雄氏 大正十四年八月二十三日生。長女昭子女 昭和二年十二月十八日生。
【主なる親戚】義兄島村友三郎氏 神田區東龍閑町九番地。

杉山治兵衛氏

明治三十七年三月二十四日生

【營業】羅紗繙布既製品卸商
【營業所】東京市神田區柳原河岸七號 電話(浪花三三九)
【住 所】同 所
【本籍地】東京市神田區柳原町四番地

【略歴】氏は亡杉山治兵衛氏の三男なり、本業は明治元年の創業にして氏を以て三代となす、昭和三年五月先代治兵衛氏死亡に因りて家督を相續し今年六月舊名喜三郎を改めて治兵衛を襲名せり、營業の他に奥向資産擁護の目的を以て大正十一年七月資本金三萬九千圓の合名會社を組織しあるが治兵衛氏は其の代表社員たり。

【所得税】一九二圓 【營業收益税】八〇圓
【家庭】母よね女 明治十年六月二十二日生。妹なつ女 明

治四十年七月二十一日生。弟正之助氏 明治四十二年十二月十四日生。弟元三郎氏 大正元年八月二十一日生。妹和子女 大正七年一月一日生。
【主なる親戚】瀧波吉郎兵衛氏 母里方、本所區松井町一丁目二十四番地。

菅 榮 一 氏

明治二十二年八月二十日生

【營業】毛織物問屋株式會社芝川商店東京支店支配人
【職業】
【營業所】東京市日本橋區江戸橋二丁目二番地 電話(日本橋自三三三至三三七)
【住 所】東京市牛込區辨天町三十三番地 電話(牛込三三五)
【本籍地】同 所

【略歴】氏は香川縣人菅終吉氏の長男にして、明治三十七年四月二日叔父菅欽次郎氏の養子となれり、明治四十三年大阪高等商業學校を卒業し、大阪市東區高麗橋三の一〇直輸出商芝川商店に入店し、其後獨逸ハンブルグ支店詰となり歐戰勃發と同時に英京倫敦に逃れ、大正五年同支店支配人となり、同七年歸朝本店副支配人を経て翌々大正九年東京支店支配人に轉任今日に至る、現今京濱羅紗同盟會長、東京織物株式會社専務取締役たる外工業俱樂部會員にして温厚なる紳士なり。

〔す〕

【趣味】 スポーツ 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 一二四圓

【家庭】 繼母マツ女 慶應二年九月十日生。妻美都女 明治三十二年八月二十五日生。京都府立第一高女卒、大正八年二月婚姻入籍。長男英久氏 大正八年十二月十四日生。長女榮美子女 大正十二年一月八日生。

【主なる親戚】 義従兄瀧川定次氏 神戸市東須磨鐘紡參與。義兄中尾景治氏 兵庫縣芦屋、川北電氣重役。義兄下野十郎氏 福島縣石城郡好間村古河好間鑛業所長。大味久五郎氏 東京市外西大久保元沖繩縣知事。

菅 元次郎氏

明治十六年七月二十八日生

【營業】 毛斯綸小物加工卸

【營業所】 東京市日本橋區元濱町二番地 電話(浪花三〇〇〇)

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は亡菅小七氏二男にして明治四十五年六月二十九日現所に分家せり、廣島縣尾道出身にして年少の頃大阪某モスリン店に奉公し中年上京舊牧田源太郎商店に入り二年の後

日本橋區龜井町に獨立旁らブローカーを営み後毛斯綸洋反物卸をなしたるが先年來小物加工卸として今日に至る。

【趣味】 書畫骨董 【宗教】 眞宗 【所得税】 一〇圓

【營業收益税】 三三圓

【家庭】 妻ヤマ女 明治二十三年六月十五日生。長男秀太郎氏 明治四十三年十一月三日生、府立第一商業學校五年終了長女千代女 明治四十五年一月二日生、山脇高等女學校卒業二女淑子女 大正三年二月二十一日生、大妻高等女學校卒業二男益次郎氏 大正四年九月十日生、東京商工學校卒業。三女八重女 大正七年八月二十日生、久松小學校。四女淳子女 大正十四年三月七日生、久松小學校。

【主なる親戚】 京都市烏丸錦毛斯綸卸菅昌之助氏 實兄。日本橋區馬喰町三丁目小間物問屋小山平藏氏妻女里方。

鈴木安之助氏

明治七年四月四日生

【營業】 毛織物既製品及洋傘卸合資會社鈴木安商店無限代表社員

【營業所】 東京市日本橋區元濱町十二番地 電話(浪花三〇〇〇)

【職務先】 是勤務先

鈴木徳次郎氏

明治十年三月十五日生

【營業】 毛織物既製品卸商

【營業所】 東京市神田區黑門町一番地 電話(神田三五〇)

【住所】 東京市芝區新錢座町十四番地 電話(芝三〇〇)

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は先代徳次郎氏の長男なり、東京市四谷區に生れ年少の頃より實父に従つて家業に精勵す幼名茂三郎と稱したるが明治三十七年先代病歿後家督相續襲名をなす。爾來地味堅實なる營業方針を辿りたれば業容漸次伸展して今日の産を爲し斯界に於ける重鎮と目されるに至れり、資性着實にして商才に富み堅實なる人物との評あり。

【趣味】 讀書 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 三三二八圓

【營業收益税】 七八四圓

【家庭】 妻あい女 明治十四年五月五日生、芝區三田豊岡町六十番地無職渡邊新三郎氏妹。三男誠吉郎氏 明治四十一年九月十日生。四男實氏 大正二年十二月二十七日生。長女淑代女 大正六年五月九日生、山脇高等女學校卒業。二女章代女 大正八年六月十八日生。五男眞五郎氏 大正十一年七月二十二日生。

【住所】 同所

【本籍地】 同所

【略歴】 氏は茨城縣猿島郡幸島村大字仁連亡鈴木五兵衛氏の三男にして明治四十三年一月實兄利助氏より分家す是より先氏は十三歳の頃上京して日本橋區彌生町毛織物商大利島田利右衛門商店に奉公し明治三十五年獨立開業するに際し同店第一番目の出身者の故をもつて大一の暖簾を授けられ爾來熱心努力怠りなかりしより漸次産をなすと共に營業は同業皆川 金子商店等の廢業するに連れ其内の好得意が何時とはなしに付隨し現在に於ては對人對物共に同業間の中堅店として名あり。

【趣味】 圍碁 【宗教】 淨土眞宗 【所得税】 四三八圓

【家庭】 妻きく女 明治二十二年五月十一日生。長女家壽子女 明治四十五年一月十日生大妻高女出身。長男精一氏 大正四年九月九日生府立第三中學校在學中。

【主なる親戚】 鈴木利助氏(實兄) 茨城縣幸島村生家相續人。浦野百巳千氏(妻女實弟) 淺草區永住町一九九貴金屬商。

【主なる出身者】 森村玉藏氏(毛織物洋傘小賣) 在京橋區八丁堀長澤町。田中敬三氏(毛織洋傘小賣) 在横須賀。

〔す〕

【主なる親戚】

鈴木長吉氏 毛織物既製品卸商芝區巴町。渡邊新三郎氏 無職、芝區三田豐岡町六〇。
【主なる出身者】 石野修一氏 洋服既製品商、深川區東森下町。土屋千治氏 同、本所區業平町鎌形千代壽氏 同、牛込區通寺町。久保田宗次郎氏 同、下谷區竹町。岡田光秋氏 同、牛込區早稲田鶴卷町。向山昌臣氏 同、府下大崎町桐ヶ谷。井上福三氏 同、市外巢鴨町四丁目。

須田鐵次郎氏

明治十八年四月八日生

【營業】 毛斯綸洋反物現金卸問屋
【營業所】 東京市日本橋區堀留町二丁目十九番地 電話(浪花區)一〇三〇
【住所】 東京市下谷區池ノ端七軒町十六番地 電話(下谷區)一〇三〇
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は先代須田鐵次郎氏の長男大正七年十月二十四日先代歿後家督を相続し幼名富次郎氏を改め先代鐵次郎を襲名す而して大正九年の暴落後當主は從來の貸賣卸を改めて洋反物専門の現金卸を開始し大正十二年の關東震災後一層實績を収めて異數の進展をなすに至れり資性宏量業務の大體を統轄し多くは店員に委ねあるの狀態なるも克く店員の献策を容れて其撰擇を誤らず業務を更振せしめつゝあるは要するに其徳

の齎らす結果なるべし。

【趣味】 書畫 【宗教】 眞宗 【所得税】 九三五圓
【營業收益稅】 三七八圓
【家庭】 亡妻なる女 明治十九年四月八日生東京市人村田元太郎氏姉昭和六年七月死亡。伯母キン女 嘉永五年二月六日生須田源藏氏長女。

【主なる親戚】 石井源次郎氏(洋反物卸商)堀留町二丁目(伯父)伴野清之助(新乗物町)織物問屋(伯父)。中井永一氏(中野銀行取締役)實妹ひさ子女の縁嫁先。

須田武松氏

明治十九年十一月十三日生

【營業】 各種毛織物卸
【營業所】 東京市日本橋區通油町二十番地 電話(浪花區)一〇三〇
【住所】 同 所
【本籍地】 東京市日本橋區久松町一番地

【略歴】 氏は群馬縣邑樂郡佐貫村大字川俣六十八戸主藤野十郎氏二男にして明治四十五年一月須田國八氏婿養子となり大正八年二月前戸主國八氏死亡により家督を相続す、年少時より市内日本橋區小舟町三丁目米倉嘉兵衛商店に奉公し二十二

年間勤務の後圓滿退店同區濱町二丁目目獨立現在に至る。

【營業收益稅】 八九圓

【家庭】 養母多美女 慶應三年十二月生。妻夏女 大正十一年二月先妻靜女死亡の爲め下谷區下根岸六十六番地戸主田矢之助氏妹後妻として大正十五年四月届出明治三十二年九月生。二女國子女 大正四年十月生先妻の子なり。長男八郎氏 昭和三年二月生。四女幸子女 昭和五年三月生。
【主なる親戚】 妻女里方 上掲平田矢之助氏。

須關重平氏

明治二十年一月十四日生

【營業】 高等中形生地製織卸
【營業所】 東京市日本橋區久松町二十九番地 電話(浪花區)一〇三〇
【住所】 東京市日本橋區久松町二十九番地
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は栃木縣下都賀郡三鴨村山中仁重氏の二男にして後その勤務店たる日本橋區長谷川町太物卸須關重平氏の養子となる。養家の歿落後は一時區内箱崎町に住せしが明治四十五年三月現所に移轉し來り現業を開始し爾來順調に經過して今日に及びたるものなり。資性溫和にして着實、圓滿の士な

り。

【趣味】 書畫 【宗教】 日蓮宗

【家庭】 妻由女 明治三十四年一月一日生桐生高等女學校卒業、天海喜太郎氏養子。二女房江女 大正十二年一月五日生三女重子女 大正十四年十月六日生。

【主なる親戚】 栃木縣下都賀郡三鴨村山中仁重氏 機業。同所加藤兵四郎氏 機業。栃木縣佐野町山中儀重氏 機業。足利市外山川天海喜太郎氏 機業。茨城縣結城町大町須關重平氏 紬買機業。

須山岩松氏

明治四十三年四月三十日生

【營業】 吳服太物小賣須山吳服店主
【營業所】 府下豊多摩郡澁谷町下通り四丁目二十三番地 電話(高輪)一〇〇・三三三
【住所】 同 所
【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は須山鈴太郎氏の五男にして、昭和四年十二月二十六日鈴太郎氏死去に因り家督を相続せしものなり、府立第一商業學校の出身にして現在店務に従事しつゝあり、而し未だ若年にして斯業の經驗乏しく、爲めに店務一切は山口新三

〔す〕

郎氏によつて擔當せられ居るものなり。山口氏は年少時より同店に奉公し精勤多年に及び、後先代の次女を配せらる、されば當主岩松氏には義兄に當るものなり。温厚の士にして孜孜として業勢の伸展に努力しつゝあり。

【趣味】 運動 【宗教】 曹洞宗 【所得税】 三一五九圓
【營業收益税】 七〇〇圓

【家庭】 實母チヨ女 明治三年三月二十八日生豊多摩郡大久保町中村萬之助氏三女。弟嘉夫氏 大正三年二月十六日生府立第一商業學校在學中。

山口新三郎氏 明治二十二年十二月十一日生埼玉縣大宮町山口駒吉氏長男。同妻女ナカ女 明治二十九年九月生先代鈴木太郎氏次女實踐女學校卒業。晴一郎氏、章二氏、裕康氏の三男あり。

【主なる親戚】 前記山口新三郎氏。澁谷町東光園田丸某氏 植木栽培及び庭園請負業。
【主なる出身者】 府下阿佐ヶ谷笹川正太郎氏 吳服商。

須崎長造氏

明治二十年三月二十日生

【營業又
は職名】 合資會社武藏屋吳服店無限代表社員

【營業所又
は勤務先】 東京市小石川區小日向水道町二十二番地 電話(小石川三三三)

【住 所】 同 所
【本籍地】 府下北多摩郡砂川村百二十三番地

【略歴】 氏は四谷武藏屋吳服店に奉公中實兄にして同じく武藏屋に奉公後明治三十三年現所に獨立し居たる平吉氏が明治四十年死歿したる爲め寡婦となれる兄嫁と結婚し幼少なりし兄の嗣子久平氏を養育すると共に營業一切を繼承したるものなり、昭和三年主家たる四谷武藏屋の株式會社に端を發し整理破綻するや氏は發起人たる關係上同年九月合資組織に變更し營業の安全を計りて今日に至る。

【所得税】 五〇圓

【家庭】 妻ミネ女 明治十五年十二月生。長女素枝女 大正八年九月生。

鈴木岩次郎氏

明治二十六年九月二十八日生

【營業又
は職名】 毛織物仕立物卸商大七商店主

【營業所】 東京市日本橋區久松町十四番地 電話(浪花 萬)

【住 所】 神奈川県鎌倉郡鎌倉町大字長谷海岸通千一番地

【本籍地】 東京市深川區千田町三百七十二番地

【略歴】 氏は深川區千田町細川榮太郎氏の四男に生る大正五

鈴木五市氏

明治十四年十月二十一日生

【營業又
は職名】 毛織物切賣巴屋店主

【營業所又
は勤務先】 東京市麴町區麴町十丁目十四番地 電話(九段 三三)

【住 所】 同 所

【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は愛知縣知多郡大高町鈴木庄太郎氏の弟にして年少時上京麴町區山元町太田屋羅紗店に奉公し居たるが明治四十四年四谷に店舗を構へ専ら軍服の裁縫販賣を營む傍ら羅紗切賣を爲し漸次好績を治めたれば遂に大正六年現所を買收せり。而して羅紗切賣の外更に綿布の扱ひをも始め漸進して今日に至りしものなり、氏は政治運動にも關係し現在實業同志會東京支部長となり此の方面にも相當活躍し居れり。

【所得税】 一八〇圓 【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 妻こう女 明治廿五年三月二十四日生。長女登喜子 大正二年十二月十日生。二男省吾氏 大正四年二月十六日生。二女嘉代子女 大正五年七月廿二日生。三女滿枝子女 大正六年十月一日生。四女多惠子女 昭和四年一月二十九日生。母。【主なる親戚】 市内神田區東龍閑町一九石毛たけ女 妻女實

〔す〕

年九月三十日叔父なる鈴木啓次郎氏の養子となり後ち日本橋區彌生町島田利右衛門商店に勤務したるが大正十二年十一月主家より現業及得意先地盤を譲り受け大七商店を興しデパートの外呉服屋系統の前賣商を販路となし爾後順調に經營今日に至る、資性着實にして現に舊主家の事業たる株式會社大利商店の常務取締役及株式會社島田商店監査役の任にあり。尙氏の生家たる細川氏は目下本郷區上富士前に住しあるが大地主をもつて知らる。

【趣味】 旅行、野球 【宗教】 日蓮宗

【所得税】 四一四圓 【營業收益税】 一四〇圓

【家庭】 養父鈴木啓次郎氏 慶應二年六月十五日生。養母かつ女 明治八年六月六日生。妻八重女 明治三十七年十一月二十八日生島田利右衛門氏二女にして跡見女學校の出身。長男榮一氏 大正十二年四月十四日生川南小學校通學中。長女湘子女 昭和三年八月十五日生嫡出子なり。

【主なる親戚】 島田利右衛門氏(彌生町島利商店取締役)。細川壽一郎氏(本郷區上富士前町大和村)。今井九左衛門氏(富澤町織物問屋)。

(才)

鈴木康輔氏

明治九年十月四日生

【營業】 吳服太物小賣金松屋吳服店主
 【營業所】 東京市神田區錦町一丁目十二番地 電話(神田三〇九)
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は千葉縣君津郡木更津町亡松谷金藏氏の二男にして明治三十六年十二月亡鈴木たい女の養子となり翌三十七年十月たい女隠居に因り家督相續し大正二年前名豊吉を改めて康輔とす夙に神田區今川橋松屋吳服店に入り二十七歳にして鈴木家養子となるまで在店し三十七年現所に獨立開業せり。

【宗教】 日蓮宗 【所得税】 一二〇圓
 【營業收益税】 一一〇圓

【家庭】 妻コウ女 明治十五年九月十五日生。三男光次郎氏 明治四十二年一月一日生。四男善治氏 大正元年十二月二十二日生。六男敏夫氏 大正五年三月十六日生。七男基介氏 大正八年十月十二日生。五女安子女 昭和二年五月三十一日生。

【主なる親戚】 有竹嘉七氏 妻女實兄、府下府中町。
 白倉久良之助氏 九男弘一氏 縁家市外西大久保二六二。

鈴木幸夫氏

明治二十年三月二十三日生

【職業又】 婦人子供服卸株式会社 コー商店取締役
 【營業所又】 東京市京橋區銀座三丁目一番地 電話(京橋六六六)
 【勤務先】 同 所
 【住所】 同 所
 【本籍地】 同 所

【略歴】 氏は静岡縣志太郡靜濱村亡池谷早太氏の五男に生れ明治四十四年四月同縣同郡高州村鈴木卯吉氏の婿養子となり大正三年八月分家して一家をなす初め小規模にて洋品雜貨商を營み大正七年銀座二丁目を卜して店舗を構へ婦人子供服店として業界に認められたるが昭和六年四月二十六日資本金三萬圓の株式會社を設立其の代表取締役となりて今日に及ぶ。

【趣味】 義太夫 【宗教】 神道 【所得税】 一〇八圓

【家庭】 妻せい女 明治二十三年八月七日生、静岡高女卒業 長男一夫氏 明治四十四年八月二十日生武藏野高校卒。長女 靜枝女 大正二年三月十八日生、三輪田高女卒。二男鎌夫氏 大正四年一月六日生。三男龍夫氏 大正五年十二月二十八日生。二女千里女 大正八年二月二日生。四男信夫氏 大正九年十一月二十三日生。五男孝夫氏 大正十一年十一月十三日生。三女壽美子女 大正十四年六月一日生。

【主なる親戚】 池谷若太郎氏 實家、静岡縣志太郡靜濱村。

昭昭六年十月五日印刷
 昭和六年十月十日發行

東京織物人事要鑑
 定價金參拾圓



編輯兼 發行者 東京市日本橋區長谷川町二十三番地 東京信用交換所
 右代表者 西川 浩世 東京市日本橋區長谷川町二十三番地
 印刷所 文雅堂印刷所 東京市麴町區飯田町二丁目六十七番地
 印刷者 山本三郎 東京市麴町區飯田町二丁目六十七番地

東京市日本橋區長谷川町二十三番地

發行所

東京信用交換所

電話浪花 一三九六六番
 振替口座東京 一八〇四六番

終